3. 2002 No.960 Architecture and Society

建築と社会

特集●東海支部会員作品
●愛知・名古屋—21世紀・大都市の再生と活性化の動き

日本建築協会





INAX

健・康・建・材
エコカラット
インテリアセラミックス

呼吸する壁材「エコカラット」、誕生。

呼吸する壁材

エコカラットには、珪藻土壁の2〜3倍もの調湿機能があります。土のもつ自然の力で室内湿度をコントロールするので、カビ・ダニ結露を抑えて、快適な環境を保ちます。

優れた耐久性

セラミックならではの、高耐久安定品質。
強度・耐震性能はもちろん、施工後のひび割れや直射日光・熱などによる褪色劣化もなく、カビ・コケの発生もありません。

簡易施工

目地なし突き付け施工。優れた切断性の実現で、施工能力が大幅にアップします。

人にやさしい環境素材

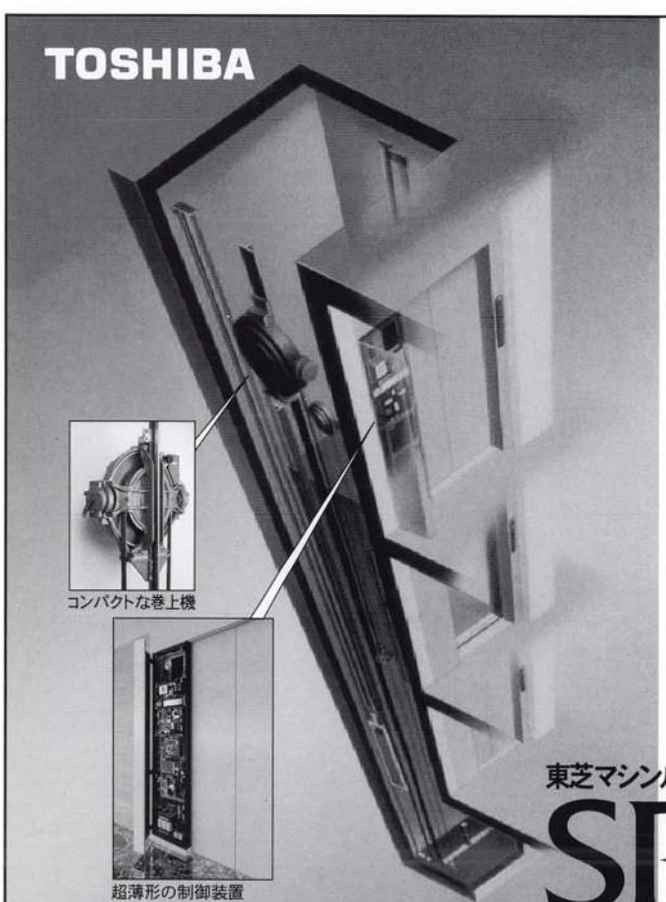
ホルムアルデヒトやVOC、環境ホルモンを一切含まない自然素材。使用時にも廃棄時にも、人や地球に有害な環境汚染物質を出さない素材です。

温もりある自然な表情

これまでにないオリジナルな質感で、新感覚のインテリア空間が実現します。

株式会社INAX　中部統括支社　〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目16-20
TEL 052-201-1717
INAXホームページ　http://www.inax.co.jp/

TOSHIBA



コンパクトな巻上機

超薄形の制御装置

エレベーターから機械室が消えた！

「エレベーターから機械室をなくした」
画期的なエレベーター
東芝マシンルームレスエレベーター〈スペーセル〉。
マシンルームレス以外にも、
数々の優れた特長があります。
まず、その豊富なバリエーション。
〈スペーセル〉は、マンションなどの住宅用だけでなく、
オフィスやテナントビルなどの乗用、
病院など医療施設の寝台用と充実しています。
さらに、最大昇降行程は75m。
32階建ての建築物にも対応するなど、
設計・デザインの可能性をいちだんと拡大。
まさに時代が求めた新世紀のエレベーターです。

東芝マシンルームレスエレベーター スペーセル
SPACEL



●お問い合わせは——東芝エレベータ株式会社 中部支社　〒450-6043 名古屋市中村区名駅1-1-4（JRセントラルタワーズ43階）
TEL（052）564-1055　FAX（052）564-1068

平成13年度
第2回通常総会開催

平成13年度第２回通常総会を右記のとおり開催いたしますので、ご出席頂きますようお願いします。

＊

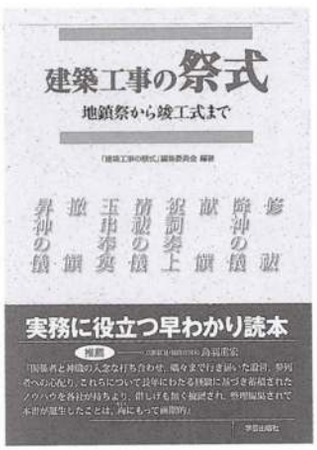
と　き　平成14年3月27日（水）
午後5時から

ところ　社団法人 日本建築協会 大会議室
大阪市北区梅田1-1-3-2100

議　案　・第1号議案
平成14年度事業計画（案）の件
・第2号議案
平成14年度予算（案）の件

開催通知は個人正会員、団体正会員あて別途送付しております。なお、ご欠席の場合は、開催通知に同封した返信用ハガキにて必ず委任状の送付をお願いします。
お問い合わせ先：（社）日本建築協会
総務課 TEL.06-6348-0635

出版委員会企画
第25回＜プロのノウハウ＞講座
建築工事の祭式
－地鎮祭から竣工式まで－



企　画　（社）日本建築協会
編著者　「建築工事の祭式」編集委員会
発行所　（株）学芸出版社
発行日　2001年12月20日
体　裁　A5判184頁
定　価　本体1,800円+税

日　時　2002年4月19日（金）
18:00―20:00
会　場　日本建築協会サロン
＊大阪駅前第３ビル21階
講　師　松尾純二氏
「建築工事の祭式」編集委員
（株）竹中工務店／作業所工事課長（施工図担当）
定　員　30人
受講料　会員1,800円、一般2,000円
＊税込
テキスト『建築工事の祭式』
テキスト代　特価1,700円＊税込
＊当日ご持参の方は不要。
申　込　本会事業課へ、ハガキかFAXまたは電話でお申込み下さい。
①催し名：（「プロのノウハウ講座25」）
②氏名
③個人or団体会員・一般の別
④職場名or学校名
⑤受講票の送付先・電話番号
をお知らせ下さい。
先着順で受講票を送付します。
申込先　〒530-0001
大阪市北区梅田1-1-3-2100
大阪駅前第3ビル21階
（社）日本建築協会事業課
TEL.06-6348-0633
FAX.06-6348-0634

建築工事の祭式について、分かりやすい本が少ないということから、本書が企画されました。実務上必要最低限の知識を系統立てて整理し、理解しやすくしました。建築工事の祭式と人々の生活は、一見無関係のように見えますが、日本の伝統文化や習俗の底流でしっかりとつながっていることが、この本を読んで分かって頂けると思います。
人の一生には人生の節目に、古くから伝承されてきた宮参りや七五三、結婚式、還暦、米寿などがあるように、建築工事にも地鎮祭、上棟式、竣工式などの儀式があるわけです。
本書では神式の祭式を取り上げ、まず第一に、その組み立てが単純化されていて理解しやすいこと、所作もその意味は単純明快であることが、読者に伝わるように編集しました。
本書出版を記念して、代表的な特徴となる部分を少し掘り下げてお伝えしたいと考えています。日頃ご多忙な皆様方に編集時の裏話を交えながら、建築工事の祭式をもっと身近に感じて頂き、伝統文化の持つ奥行きに皆様の思いを巡らせて頂けたらと思っています。
祭式の実務にご関係される営業の方、総務部門や現場の方など、多数の方のご参加をお待ちします。
出版小委員会委員／松尾純二（竹中工務店）



松尾純二（まつお　じゅんじ）

●1946年福岡県生まれ
●1969年北海道大学工学部建築工学科卒業
同年（株）竹中工務店に入社
大阪本店設計部を経て、現在、阪神西梅田開発第2期計画新築工事JV作業所工事課長（施工図担当）
●主要業務
竹中研修所・るり渓ゴルフクラブハウス（新建築'75.）・ベルエール芦屋（新建築'78.）・ホテル日航大阪（日経アーキテクチュア'83.）・ワールド記念ホール（日経アーキテクチュア'83.）・梅田スカイビル（新建築、建築文化'93./大阪施設緑化賞最優秀賞、大阪まちなみ賞知事賞、BCS賞）・美里町天文台（新建築'96.）・市立豊中病院（'99医療福祉建築賞）・大塚国際美術館（日経アーキテクチュア'98.）等の建築設計、設計監理、工事管理。
●エンジニアリングサポートチーム・HACCP技術担当のチーフエンジニア。
'00.L.M.J.JAPAN食品安全審査員コースの合格証明書取得。

茶室講演会
第2回
予告

日　時　2002年 5 月7日（火）
18:15―20:45
会　場　グランキューブ大阪
（大阪国際会議場）
＊地下鉄「阿波座」駅、JR東西線「新福島」駅より徒歩10分
講　師　中村昌生
京都工芸繊維大学名誉教授
定　員　100人
＊申込者多数の場合は抽選
参加費　会員 1,000円、一般 2,000円
学生は半額　＊税込
申　込　4月22日（月）までに、ハガキ、FAX、電話でお申込み下さい。
①催し名：茶室講演会
②氏名
③個人会員・団体会員・一般の別
④職場・学校名
⑤参加証郵送先
⑥連絡先電話番号
をお知らせ願います。
＊参加証を4月23日（火）に発送します。
申込先　（社）日本建築協会事業課
大阪市北区梅田1-1-3-2100
TEL.06-6348-0633
FAX.06-6348-0634
〒530-0001
主　催　（社）日本建築協会
事業委員会見学会小委員会

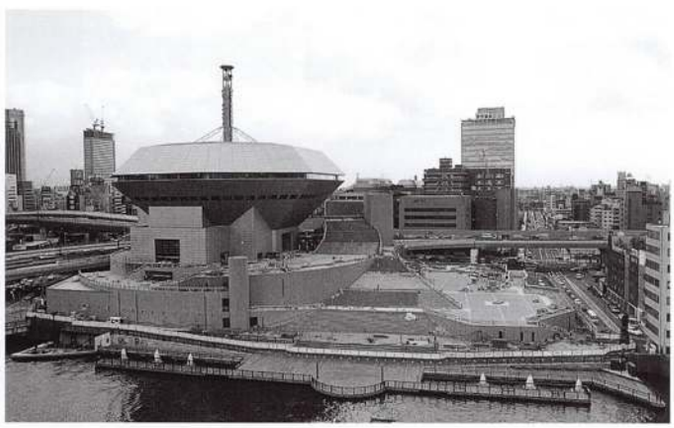
利休、千家の茶室から目を転じて、今回はおもに武家茶人と呼ばれる人々の茶室について中村先生よりお話ししていただく予定です。
また前回同様、講演会開催後なるべく早い時期に、その内容にふさわしい茶室の見学会を立案させていただく所存です。会員の皆様方を始め、興味をお持ちの方々多数のご参加を期待しています。　（森田芳次）

担当主査　森田芳次／安井建築設計事務所
杢谷通夫／大成建設設計部

湊町リバープレイス見学会（再掲）

大阪・難波（ミナミ）の賑わいを活性化し、道頓堀川の水辺を生かしながら湊町地区まで拡大させる、という狙いのもとに湊町再開発地区計画が始動した。

湊町エリア全体の計画の中でも最北端にあり道頓堀川に面した、この“湊町リバープレイス”の敷地内には、既存の施設で、地下にJRの引き込み線があり、また地上には阪神高速道路が走っている。その中で、新設部では、阪神高速道路工事のパーキングエリア、ON・OFFランプ等を内包しながら、集客施設機能を実現させる、建築土木融合を意図した計画である。



建物の施設内容は、約1500人収容のスタンディングホールと、オフィス、店舗、パーキングエリア休憩所、そして水辺に広がる立体的な広場等があり、新たな都市の賑わいを創出する機能を持たせた。

また、隣接工事として、なんばウォークやOCATからつながる東西地下通路工事、河川整備工事、周辺道路整備工事等がある中、総合的な都市形成にも提案を行っている。

外観のデザインは、多数の阻害条件から必然性を整理した上、正八角錘のダイヤモンド型をしたユニークな建物形態を採用することにより、ミナミの新しい文化拠点を強く印象付け、ランドマークとなることを狙っている。（渡辺一郎）

●建築概要

所在地	大阪市浪速区湊町1-4
用途	音楽ホール、立体広場ほか
発注者	大阪市
設計監理	大阪市住宅局 安井建築設計事務所
施工	鹿島・前田・中林JV
敷地面積	約16,200㎡
建築面積	約10,900㎡
延床面積	約21,000㎡
構造規模	SRC・一部S、B2・7F
工期	1999年3月～2002年3月（予定）

日時　2002年**3**月**25**日（月）
14:00―16:30

講師　寺井良博／大阪市住宅局営繕部企画主幹
渡辺一郎／安井建築設計事務所統括主任
後藤幸満／鹿島・前田・中林JV所長

集合　現地　現場事務所
大阪市浪速区桜川1-2-3
＊地下鉄・JR・近鉄「なんば」駅より徒歩約5分

定員　50人
＊申込者多数の場合は抽選

参加費　会員500円、一般1,000円＊税込

申込　3月15日（金）までに、ハガキ、FAX、電話でお申込み下さい。
①催し名：湊町リバープレイス見学会
②氏名
③個人会員・団体会員・一般の別
④職場・学校名
⑤参加証郵送先
⑥連絡先電話番号
をお知らせ願います。
＊参加証を3月18日（月）に発送します。

申込先　（社）日本建築協会事業課
大阪市北区梅田1-1-3-2100
TEL.06-6348-0633
FAX.06-6348-0634
〒530-0001

主催　（社）日本建築協会
事業委員会見学会小委員会

担当主査　熊野健司／大阪市住宅局企画部

これからの建築と社会 第3回講演会
古都に新しい風を起こした「新風館」





日時　2002年**4**月**13**日（土）
14:00―16:00

会場　新風館３Ｆ
＊地下鉄「烏丸御池」駅すぐ

講師　岡田充弘
NTT都市開発（株）開発部長

定員　50人
＊申込者多数の場合は抽選

参加費　会員1,000円、一般2,000円
学生は半額　＊税込

申込　4月5日（金）までに、ハガキ、FAX、電話でお申込み下さい。
①催し名：「新風館」
②氏名
③個人会員・団体会員・一般の別
④職場・学校名
⑤参加証郵送先
⑥連絡先電話番号
をお知らせ願います。
＊参加証を4月8日（月）に発送します。

申込先　（社）日本建築協会事業課
大阪市北区梅田1-1-3-2100
TEL.06-6348-0633
FAX.06-6348-0634
〒530-0001

主催　（社）日本建築協会
事業委員会情報小委員会

担当主査　瀬戸川葆／関西住宅品質保証
小笹光彦／ランテック計画事務所

「新風館」は、大正末期に完成した旧京都中央電話局（設計者：吉田鉄郎・現在京都市登録有形文化財）を21世紀の情報発信型商業施設として再生したものです。この計画の経緯、概要等をデベロッパーの視点から紹介したいと考えます。

当敷地周辺は、京都市の中心部、オフィス街の一角で、老舗や伝統的な町屋が集積し、京都らしさや風情が残されています。この開発に際して、我々は大型開発も視野にありましたが、それよりも周囲の環境や地域との対話を考え、将来的に地域のポテンシャルを高めることを意図しました。言いかえれば、このロケーションに相応しい開発のあり方を段階的に探るのが「伝統文化が息づく京都の街」に相応しい開発手法ではないかと考えました。その第1段階として、多くの人の流れが発生し、街が活気づく商業施設を企画することとしました。

設計は、オフィスから商業ビルまで幅広く設計しているNTTファシリティーズと欧州で古い伝統様式の中で新しい町並みを作っているリチャード・ロジャースとの共同によります。このプロジェクトでは、いくつかの新しい試みに挑戦しています。その中でも当初から建築計画をはじめ、商業企画、運営企画、演出企画といった多領域にわたる多くの人々のコラボレーションに基づいて成立していることが、大きな特徴であると考えます。それらにより、これまでの商業施設ではトライできなかった様々な「タブーへの挑戦」が可能となり、「新風館」が誕生しました。講演会の前後を利用して、周辺界隈を含めてご自由に見学していただければ幸いです。（岡田充弘）

おかだ　みつひろ
1953年兵庫県生まれ
1977年大阪大学工学部建築工学科卒業
1979年同大学院修士課程修了（建築工学専攻）
同年日本電信電話公社入社、NTT建築部、NTT都市開発（株）、（株）NTTファシリティーズを異動後
1999年NTT都市開発（株）関西支店開発部長
現在に至る

●建築概要

事業主体	NTT都市開発（株）
所在地	京都市中京区烏丸通姉小路下ル場之町586-2
総合監修	NTT都市開発（株）
設計	NTTファシリティーズ＋リチャード・ロジャース パートナーシップ ジャパン
敷地面積	6,385㎡
延床面積	8,233㎡
設計期間	1999年9月～2000年2月
施工期間	2000年3月～2001年1月
オープン	2001年1月

建築と社会 3 2002
ARCHITECTURE AND SOCIETY
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN
1917年創刊　第83集／通巻960号

今月の表紙

表紙デザイン／田村昭彦
企画／倉渕奈千子
建築写真／河合止揚

●小原流芸術参考館（豊雲記念館）
設　計／清家　清
施　工／明和工務店
竣　工／昭和45年
所在地／神戸市東灘区住吉山手

●六甲前山の斜面に、嵌め込まれたかのように建物は建てられています。竣工から30年以上たった今では、樹木が建物を覆い尽くし、その一部になったかのようです。ミニマムな住宅の作風とは趣の異なる、屋根の連続する曲線や、装飾的な陶器ブロックのスクリーン、量感溢れる御影石の外壁は、そのまま展示室の内部にあらわれ、アンデスのプリミティブなものたちの放つ根源的なエネルギーと溶け合い、幻想的な空気が生まれています。（倉渕奈千子）

■特集予告
4月号／生活環境の安全・安心 —part 2 —
5月号／塗装のいろいろ
6月号／都市再生に向けた建築基準法集団規定のあり方

編集委員会（平成13年度）
■副会長
佐野　吉彦
奥謝野　久
■編集理事
井上　豊
内田　直樹
岡田　聿之
小島　雄
竹中　統一
畠山　祐治
広原　盛明
松村　慶三
◎宮田　照久
山田　修
■特集小委員会
□計画分科会
★計画系
伊縫　憲幸
梅田　善愛
小浦　久子
鈴木　克彦
田中　直人
紅谷　昇平
細田　浩史
松田奈緒子
松本　正行
吉村　英祐
★建築計画系
江副　敏史
※菅野　忠司
小林　優子
児玉　敬志
佐藤不二男
迫　淳海
桜井　則雄
笹村　欽也
塚本　史郎
所　千夏
野田　隆史
服部　光宏
★インテリア・住宅系
石川　佳子
加藤　力
北浦かほる
小梶　吉隆
佐藤　勝紀
田中　浩介
高野　直樹
※西田　和子
ペリー史子
本山　仁
□構造分科会
大氏　正嗣
大住　和正
尾上　清治
金田　興熙
※木下　隆嗣
白沢　吉衛
住田　隆二
田中　剛
田渕　勝道
松村　和夫
向井　洋一
吉川　真次
□設備分科会
梶井　宏修
河井　康人
河津　隆之
※近藤　国夫
近藤　正一
田ノ畑好幸
西岡　道雄
桝井　貴廣
村上幸三郎
谷津　和久
山根　敏和
□施工材料分科会
植田　実
小椎八重猛
竹中　秀文
※太刀川丈爾
能美　敏男
増田　信久
吉田　正友
□法令分科会
伊勢　照男
薄木　三男
衣笠　春幸
黒木　省二
※中島　和也
森下　嘉弘
■作品作風小委員会
△赤木　隆
淺尾　宏
朝倉　一晃
居内　章夫
井上　雅祐
川上比奈子
倉渕奈千子
寺岡　宏治
中村　文紀
林　孝司
前川　治彦
増田　敬彦
増田　俊哉
山田　俊紀
■会員企画小委員会
稲木　裕子
大谷由紀子
河崎　敦子
清水　麗子
△髙岡　伸一
髙田　光雄
辰巳　清一
塚口　明洋
辻川ひとみ
福田　瑞穂
■広告企画小委員会
大迎　敏樹
小幡　義明
小山　昭
斉藤　治久
田渕　博昭
千葉　耕作
△林　一彦
平松　勉
古畑　健一
前田　衛
渡邊　浩文
◎委員長　△副委員長　※幹事

印　刷　2002年2月25日
発　行　2002年3月1日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　話　06-6348-0635
振替口座　00910-9-39975
印刷所　青葉印刷株式会社
日本データネット株式会社
定　価　1200円〔本体価格1143円〕

CONTENTS

特集●　東海支部会員作品2002
河芸町庁舎・防災センター — 14
名古屋商科大学大学院伏見キャンパス — 16
国家公務員共済組合連合会名城病院 — 18
みなと医療生活協同組合協立総合病院 — 20
掛川市立中央図書館 — 22
エコハウス138 — 24
桑名市立桑陽保育所地域子育て支援センター — 26
鈴渓南山美術館 — 28
中部電力岐阜ビル — 30
三菱電機㈱名古屋製作所FA開発センタ — 32
名古屋市交通局健康保険組合下呂温泉保養所清風荘 — 34
ノリタケの森 — 36
サン・ドミニーク — 38
Tokai Sketch Book（作品5点） — 40

特集●　愛知・名古屋—21世紀・大都市の再生と活性化の動き
【愛知県の動き】
世界的な交流・創造の拠点となる愛知づくり●愛知県企画振興部 — 42
自然の叡知—愛知万博●浦　義明 — 44
中部国際空港—セントレア●愛知県企画振興部 — 50
中部国際空港旅客ターミナルビル計画●赤司博之 — 52
【名古屋市の動き】
名古屋市における市街地再開発事業●名古屋市都市計画課 — 56
名古屋市の中心市街地活性化推進について●名古屋市地域商業課 — 58
栄公園地区広場ゾーン（オアシス 21）の整備について●名古屋市拠点開発推進室 — 60
【民間の動き】
民間による都心活性化の動き●牛島市街地再開発組合・日建設計名古屋 — 62
都市公団による都心活性化の試み—納屋橋西再開発構想●都市基盤整備公団中部支社 — 64
都市公団による都心活性化の動き—千種二丁目地区●都市基盤整備公団中部支社 — 66
【居住環境整備の試み】
あいち健康の森●愛知県健康福祉部 — 68
千種台ふれあいタウン●名古屋市住宅整備課 — 70

会告
平成13年度第2回通常総会開催．〈プロのノウハウ〉講座㉕建築工事の祭式—地鎮祭から竣工式まで—．茶室講演会②—予告—．湊町リバープレイス見学会．これからの建築と社会③古都に新しい風を起こした「新風館」 — 1

作品作風
中央復建コンサルタンツ本社ビル — 4
TORビル新築工事 — 6
難波センタービル — 8

gallery
八女市多世代交流館　共生の森●青木　茂（作品作風小委員会） — 10

建築の眼
イメージ戦略●亀谷義浩　都心居住等の住宅について●阪倉嘉一
雑感・ものづくりと素材—3●八杉政一　リノベーション●門川清行 — 12

法令コーナー
神戸市違反対策室—この1年の動き—●南出和延 — 72

構造の頁
CFRP板による構造物の補修・補強工法●木村耕三 — 74

設備の頁
駅用ピットレスエレベータの開発●井澤泰之 — 75

くでん一口伝一を活かす
掃除のこと●上原正行 — 77

研究最前線を追う
環境情報を都市づくりに●神戸大学都市環境・設備計画研究室 — 78

information
ATC関西学生卒業作品展Vol.7.京都建築学生之会合同卒業設計展.点線～東京デザインセンター新人賞の進行形展～．32人の現代作家が競う「東日本の美一山」．TO BE OR NOT TO BE.神戸東灘、豊雲記念館の春期一般公開.「素材とかたちの科学＝建築とE.トロハ展」.「芸術の館」（兵庫県立美術館）4月に開館記念展.「向井潤吉の絵画と写真」展.そごうのファサード保存の要望.くらしの中のペイントをみつけようーPAINT SHOW 2002ー.西日本トータルリビングショー — 79

月間の動き
平成14年1月分 — 81



作品
作風

設計・監理■
中央復建コンサルタンツ、鹿島建設 関西支店

施工■
鹿島建設 関西支店

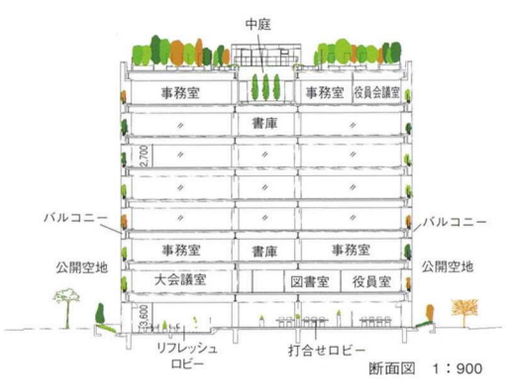
中央復建コンサルタンツ本社ビル

中央復建コンサルタンツは土木設計コンサルティングを主たる生業とする企業であり、その新社屋建設はJR新大阪駅より南東へ徒歩３分という利便性の高い敷地に計画されました。

新社屋には土木設計界を牽引するリーダーとしての思想の表現が求められました。打合せの中でまとまったテーマは、「自然と科学技術の融合」です。これまで建築界で培われた高い技術のインテリジェント・オフィスにどのように自然を溶け込ませるのか？　本ビルでは建物の空いたところに「植栽を付け足す」のではなく、植物を植えることでどのような空間を生み出せるのかが課題でした。まず都市的なスケールとして、そそり立つ崖（＝北面ファサード）の上に大きな森をつくることを意図しました。樹木は現在まだ子供ですが将来、本ビルの上にこんもりとした鎮守の森ができ上がる姿を眺められるでしょう。次に東西面はバルコニー化し、外部に植栽プランターを作りこみました。植えられた花草木がグリーン・シェードとなり、都市の喧騒からワーカーを隔て、やさしく包みこんでくれます。さらに地上１階では、外構も含め植栽を茶畑のような帯状に配置しています。その隙間をねらって、リフレッシュ・打合せのスペースを確保しました。段々畑のように床と家具、植栽に高低差を設け、人の視線を通したり遮ったりしています。

地球環境保全が叫ばれるなか、このオフィスに関係する人々が自然や生き物に対し、何かしらの意識を持ち続けられれば幸いです。

（山田　元、塚田豊男／鹿島建設）



断面図　1：900

所 在 地 ――大阪市東淀川区東中島4-11-10
敷地面積 ――1,775.15㎡
建築面積 ――1,118.62㎡
延床面積 ――8,495.17㎡（大阪市総合設計制度適用）
構造規模 ――S、8F、PH1F
工　　期 ――2001年3月～2001年12月
最 寄 駅 ――JR新大阪駅　東出口
撮　　影 ――松村芳治

左頁：西面ファサード
右頁上より：屋上庭園より大阪北側を望む、1階リフレッシュ・打合せロビー、全景、玄関夕景










消火栓
kamine
BAG TOR

作品
作風

設計・監理■
大林組

施工■
大林組

TORビル新築工事

当敷地は神戸・元町の交差点に位置しており、トアロードから旧居留地へとアプローチする際のゲートとなる地点にあります。今回、隣接する３敷地を１つに統合し、新しい商業店舗ビルが震災復興のひとつとして再生されました。

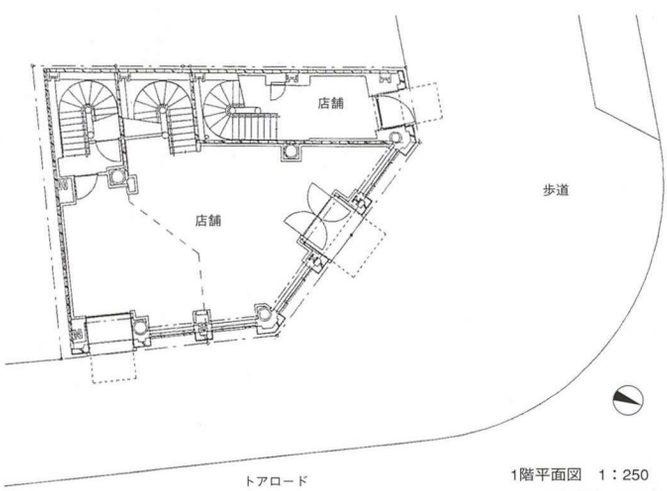
施主から示された建物イメージは「旧居留地らしいクラシックさ」でした。施主にとって「居留地らしさ」へのこだわりとは、この地で長く商売を続けてきた証であり、これからもここで商売を続けていくという決意のあらわれと受け取り、それを建物をデザインする際のひとつの拠り所としています。

外観は、明るい色の花崗岩の柱列と、垂直を強調したサッシュによる陰影の深い３層構成とし、現代的な居留地らしさを表現しています。また、小規模ながら３者の縦割区分所有ビルのため、平面は３区画されていますが、統一した外観としています。

今では夜間のライトアップによる効果的な演出もおこない、旧居留地を訪れる人々へのランドマークとして、その役割を担い始めています。

（片木龍太・浜田隆弘／大林組）

所 在 地 ―― 神戸市中央区三宮町3-1-26、1-27外4筆
敷地面積 ―― 98.84㎡
建築面積 ―― 86.99㎡
延床面積 ――364.48㎡
構造規模 ――S、5F
工　　期 ――2001年7月～2001年12月
最 寄 駅 ――JR元町駅、阪神元町駅
撮　　影 ――中塚一行

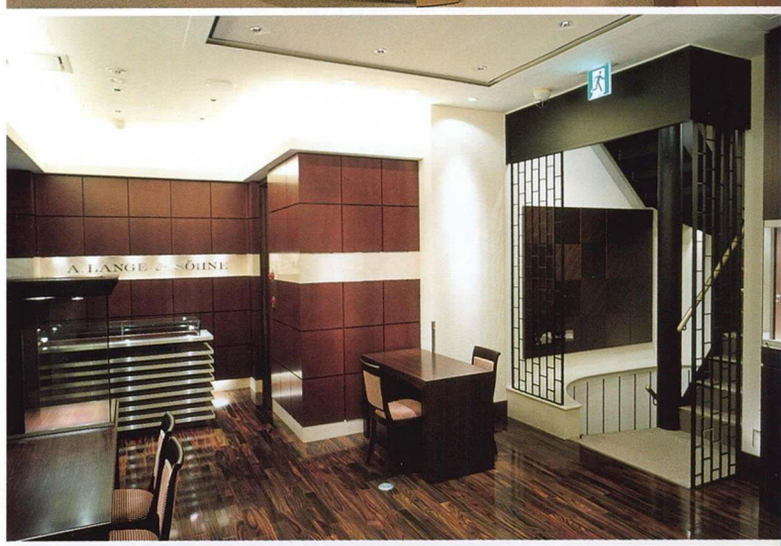


1階平面図　1：250

左頁：北西側外観夜景
右頁上より：三宮神社越し遠景／１階店舗／２階店舗／北東からの鳥瞰











作品風作

設計・監理■
竹中工務店

施工■
竹中工務店

難波センタービル

都市の風景に「動」と「静」、「原色」と「中間色」があるとすれば、御堂筋の南端に位置する難波は「動」を代表するエネルギッシュな「原色」の街であろう。この街の鼓動を是としつつも、相反するリズム（シンプルかつモノトーン）を奏でることにより、街を新しく活性化することを試みた。しかも、建設という行為がいきいきとした街の活動を中断することのないよう細心の注意を払いながら。

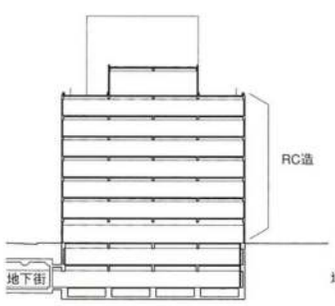
周辺環境とファサードデザイン

当敷地は、御堂筋から日本橋電気屋筋にいたる大阪でも最も人・車の交通量が多くおびただしい看板が立ち並ぶ「なんさん通り」に面し、鉄道ターミナルと難波の大規模商業集積地を結ぶ結節点に位置している。雑多な街並みの中に、「無印良品」をテナントとする商業ビルとして、アルミルーバーのダブルスキンによるシンプルではあるが奥行を感じさせるグラフィカルな壁面を演出した。昼にはルーバーのアルマイトの柔らかい反射光と影のリズムを、夜にはルーバー内側に設置した照明から流れ出す灯りを楽しめるファサードとし、１・２階は大きくガラスで開いて商品ディスプレイ、来店客やエスカレーターの動きを楽しめるよう配慮した。

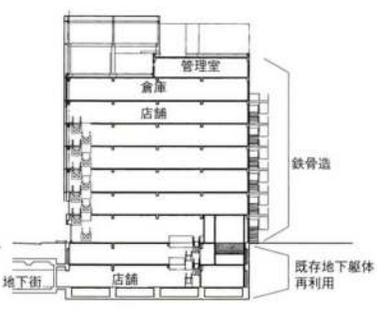
既存地下躯体の利用と地下街設備の機能維持

当建物は、築後約30年を経た建物（1974年竣工）の建替であり、解体によって発生する建設副産物の低減と工事量の圧縮による周辺環境への影響低減のため、既存地下躯体の全面再利用を計った。また旧建物は大阪地下街「なんなんタウン」と地下２階で接続しその階段・諸設備を内部に取り込んだ特殊な建物であり、工事中も建替後も地下街設備の機能維持を必要とされたため、設計段階から細やかな施工計画の検討を行った。

（伊藤真一／竹中工務店）



旧建物断面図　1：1200



断面図　1：1200

所 在 地 ——大阪市中央区難波千日前12-22
敷地面積 —— 1,662.52㎡
建築面積 —— 1,177.79㎡
延床面積 ——10,356.57㎡
構造規模 ——RC・S、B2F、8F、PH1F
工　　期 ——2000年8月～2001年11月
最 寄 駅 ——南海電鉄・難波駅、大阪市営地下鉄御堂筋線・難波駅
撮　　影 ——野竹　満









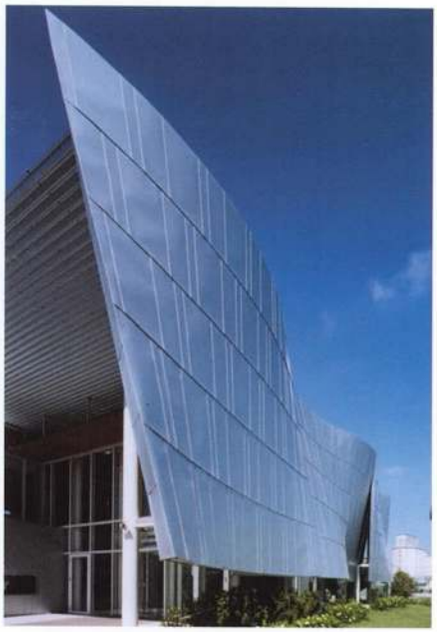
gallery

八女市多世代交流館

共生の森

設計

青木　茂









本施設は全国的にも有名な八女のお茶を意識し「和風」をコンセプトとして建物を再生（リファイン）した。北側ファサードは「屏風」を、南側にはお茶の野点ができるような「ぬれ縁」を表現した。

リファインとは築30～50年の骨格部分など継続使用が可能な部分を残して耐震補強しさらに増築などによって全く新しいイメージと用途をもった建物に生まれ変わらせる工法である。その工法により八女老人福祉センターを八女多世代交流館に生まれ変わらせる事となった。リファイン建築の５つの定義を以下に示す。

1．躯体利用で廃材は全解体の1／5
2．現行の新耐震設計基準のレベルまで耐震性能を向上
3．用途・機能の変更が可能
4．新築を上回るほどにデザイン
5．新築に比べて予算が約半分

リファイン対象となったのは1973年築で、RC造２階建の老人福祉センターである。八女市からは本施設の補強を行い、介護予防・老人と子供達等のふれあいの場として再生する目的で設計競技の指名を受け、そして我々の提案が最優秀賞に選ばれた。

コストは既存45.7万円/坪、増築屋内63.8万円/坪、増築屋外29.8万円/坪、トータルして48.2万円/坪である。それは過去のリファインでの積上げてきたディテールを基本とし、屋根の２重折板の外断熱、鉄骨カーテンウォール、照明計画、設備計画等、機能を保ちながらコストのかからないデザインとした結果である。北側外壁は全面金属板だが、対照的に内部は八女の杉で仕上げ、北側に面したホールでも明るく暖かい木漏れ日が落ちるような空間をつくった。

特に今回、解体工事において発生したコンクリート殻、約300㎥の廃材は役所との協議のもと、砕石処理を施し敷地内に敷詰め駐車場の路盤とした。つまりこのリファイン工事ではコンクリートの廃材がゼロになりまさに環境を考えた建築となった。施設もオープンし、愛称も「共生の森」と決まり、今後、名前の通り環境と共存する施設として生き続ける事を望む。

青木（あおき）　茂（しげる）
1948　大分県生まれ
1971　近畿大学九州工学部建築学科卒業
1971　鉄建建設株式会社入社
1977　アオキ建築設計事務所設立
1990　株式会社青木茂建築工房設立

撮　　影―松岡満男、青木茂建築工房
企画編集―作品作風小委員会













既存建物

1973年築RC2階建の老人福祉センターで、工事着工1ヶ月前まで常に人が溢れる位の使用頻度の高いものであった。躯体調査では基準値を全てクリアし一般的な補強で現行法規に適合させることが可能と判断された。

解体・補強

構造上不要なRC庇、RC雑壁、シンダーコンクリート等を撤去し、約33%の軽量化を計った。ここで前施工の不備が多数確認され、市役所担当者と協議の上、再度補修・補強計画とコストの調整を行った。

鉄骨建方

北側に既存建物と切り離して増築。一部ドライエリアを設けトイレの臭気抜き、ホールの採光を考えた。楕円状の2階図書室床は上から吊り1階に柱をおとさない。シルバーの部分は外気に触れる部分なので亜鉛メッキ処理を施している。

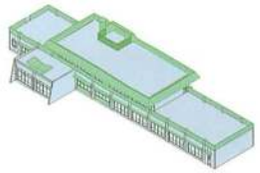
屏風建方

北側ファサードの屏風は下地の曲げ加工を上弦材と下弦材のみとしその他は全て直線部材で構成。そして柱より片もちで支持し浮いているように表現した。1スパン1ユニットとし地盤面で組立てクレーンで吊り本体に取付けていった。

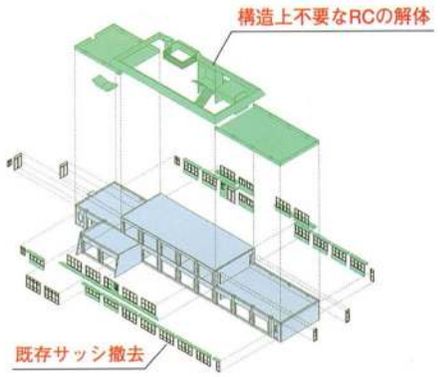
リファイン完了

既存建物の外壁は将来の躯体の経年変化を考え、風雨にさらさないようにカーテンウォール、金属板で既存建物をほぼ全て覆った。

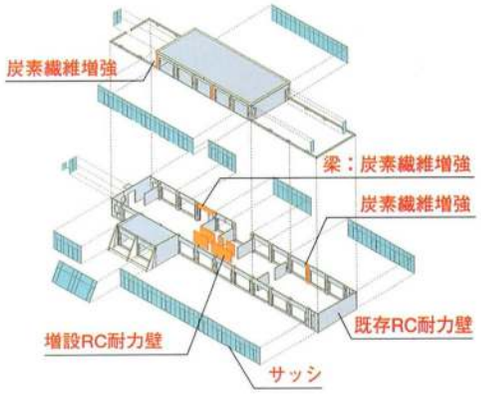
1. 現況既存建物



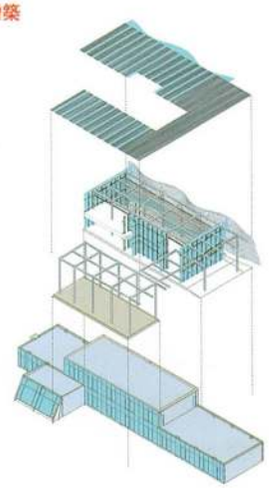
2. 解体・撤去



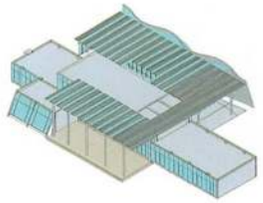
3. 外装



4. 増築



5. リファイン完了



イメージ戦略

亀谷　義浩

最近、テレビCMで、ハウスメーカーのCMを見ることが多くなった。あの手この手と考えているなと思わされるのであるが、やはり戦略があるようだ。アイドル、人気タレント、有名人、キャラクターを使い、イメージづくりをしている。この場合、タレント等は、広告情報の媒介者というより、タレント等がもつイメージを商品にオーバーラップさせる役割を担っているようだ。つまり、信頼感を得るには、社会的に信頼をもつタレントが使われ、安らぎ感を得るには、安らぎ感をもつタレントが使われる。ごく最近のCMでは、グラフィック技術やアニメーション技術の発展にともない、バーチャルタレント、バーチャルアイドルといったものも出現している。また、色彩やデザインによってもイメージを形成することがあり、思いのままのイメージを創り出すことができるようになった。このようにCMは、企業の理念を表したり、目標を達することができるよう意図されていて、戦略的にイメージが生み出されているのである。また、タレント自体の違いで、商品の売れ行きがかなり違うという。消費者のタレントに対する嗜好がそのまま商品に対する嗜好となって強く働いているのである。これは、タレントマーケティング的イメージ戦略といえる。なかには、建築家と呼ばれる人々がタレント化して、テレビCMのイメージ戦略に乗っかっているようである。

関西大学工学部建築学科助手

21世紀、都市のどこに住むのか(3)
都心居住等の住宅について

阪倉　嘉一

前回、都心居住等のメリットについて述べた。今回と次回は都心居住では、どんな住宅に住むのかといった視点で考えてみたい。

まず、最初に思い浮かぶ居住形式は、なんと言っても中高層共同住宅であろう。大阪府域では住宅の半分を占める。昨今、都市の工場跡地などに計画される超高層マンションなど、新しい都市生活の舞台として、又、都市を活性化するものとして期待されている。

このうち分譲マンションは約33万戸と全世帯の約1割が住む居住形式になっており、今後とも都市の居住形態として普及していくと考えられる。しかし、個人の持家でありながら共同で住むという所有と利用が一致しない。このため住宅管理の問題、先の震災で顕在化した建替え問題など、賃貸マンションや戸建住宅とは異なる難しい課題を抱えている。

今後、マンションを都市の居住形態として定着させていくためには、これらの課題を解決するスキームが重要である。平成12年に「マンション管理の適正化の推進に関する法律」が制定され、昨年には、マンション管理士の資格の創設やマンション管理業者の登録制度が実施されるなどの取り組みがなされた。又、大阪府でのマンション相談窓口の設置やマンション管理の専門団体である、(財)マンション管理センター大阪支部の開設等、マンション居住への支援体制が一歩ずつではあるが進んでいる。

大阪府建築都市部副理事

雑感・ものづくりと素材—3

八杉　政一

ものづくりと「石」の歴史は古代メソポタミア・エジプトの王墓や王宮に始まり、古代ギリシャ建築へと続いていく。日乾煉瓦が住宅に用いられたが、モニュメンタルな建築は石を積み上げ造られた。日本においては石室や城郭の石垣以外には石造の歴史は見当たらないようである。

文明開化と共に明治期に様式建築の外装材として用いられたのが、日本におけるものづくりの素材としての本格的な始まりであろうか。しかし現在と比較しても随分贅沢な使い方であったように思う。そこには本来のディテールと呼べる肌理細かな納まりや加工があった。残念ながら私が素材として「石」と出会った頃には既に厚さが30mmの板材であった。しかし現在でも建築材料としては最高級の素材であり、その材種選定やディテールの決定には遠い昔の名建築家を想い、施工図を前に神経を使いながらも楽しい一時である。そこには数少なくなってしまった匠の世界がまだあるような気がする。工業化が進み板材はさらに薄く加工され、最近ではタイル材と同様な使われ方である。大切な地球資源であることを考えれば致し方ないが、原石を吟味し、石工の話に触れ、ディテールに没頭する、ものづくりを楽しめる素材として貴重である。

東畑建築事務所設計部長

リノベーション

門川　清行

建築市場の縮小は予想を超える勢いで進みつつありますが、その中でリニューアル、ストックビジネスなどと呼ばれる“改修工事”が相対的に増加しつつあります。2010年には28兆円の市場となり、新築市場を上回るという予測がされています。まさに欧州型の建設市場が到来することになります。この市場に最近はゼネコンだけでなく大手、アトリエを問わず設計事務所も参入しつつあり、賑やかになってきました。しかし、現在行われている改修工事は外装、空調など衰えた機能を新築時のそれまで引き上げるという、いわゆる更新工事がほとんどです。都市のストックを有効に使っていこうというコンセプトから言うとこれでは不十分だと思われます。既存のストックの価値を変換して再生させるような高次元のリノベーションが必要になります。

2000年に開館したロンドンの「テート・モダン」は発電所という建物が持っていた力強さを正確に読み取り、現代の素材やディテールを付加することによりその価値を見事に転換し再生させた例です。リノベーションの大先輩、欧州には古くから学ぶべき好例が数限りなくあります。

単なる維持保全、機能更新ではない、時代が求める、価値の変換を伴うリノベーションを追求していきたいものです。

(株)竹中工務店役員補佐

東海支部会員作品2002

河芸町庁舎・防災センター

名古屋商科大学大学院伏見キャンパス

国家公務員共済組合連合会名城病院

みなと医療生活協同組合協立総合病院

掛川市立中央図書館

エコハウス138

桑名市立桑陽保育所地域子育て支援センター

鈴渓南山美術館

中部電力岐阜ビル

三菱電機（株）名古屋製作所FA開発センタ

名古屋市交通局健康保険組合下呂温泉保養所清風荘

ノリタケの森

サン・ドミニーク

Tokai Sketch Book

本特集企画・日本建築協会東海支部特別編集委員会
委員長　小宮三辰
特集記事担当副委員長　松本壮一郎
作品作風担当副委員長　植田　明
デザイン広告担当副委員長　佐藤達雄
特集記事担当委員　林　金之
作品作風担当委員　和宇慶朝武
委員　今津芳清　尾崎武寛　後藤利秋　篠原佳則　鈴木慶智　仙田　篤　田村由紀　寺本英一　中村嘉男　中村哲士
野崎　勉　福田泰造　細田泰彦　松元親司　武藤謙人　森田富士男　盛田輝勇　山本敦子　芳山明人（50音順）



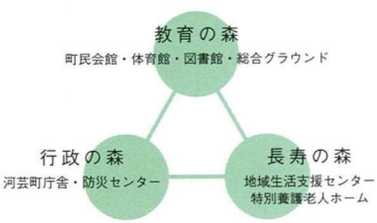




河芸町庁舎・防災センター

設計監理　日本設計
施　　工　大林組名古屋支店

河芸町庁舎・防災センターは「河芸町町民の森公園計画」で策定されたトライアングル構想（教育の森、長寿の森、行政の森）の一つ「行政の森」計画の核となる施設である。
本庁舎の設計にあたっては、この地区全体が一体的に整備されるよう、教育の森、長寿の森とのつながりに重点を置き、これからの河芸町百年の行政の拠点としての庁舎を目指した。
計画はこの緑豊かで変化に富んだ敷地の自然環境を生かすことをテーマの一つとし、敷地を大きく北東の里山（既存の竹林と森）、北西の駐車場、南側の町民広場の３つのゾーンに分けた。特に北東の里山は町民の森の緑のネットワークの終点にあたるため、残すべき自然の緑と考え、将来的には「散策の森」として保存する計画とした。
庁舎建物は、３つのゾーンの接点に、ガラス張りの町民ホールと議場を象徴的に重ね、未来へつながるゲートとして表現した。また、明快な部門配置、免震構造の採用など、無駄の無い機能的な計画とするとともに、防災拠点として機能性を考慮し、免震構造を採用した。



河芸町町民の森公園計画　模式図

（今泉清司、斉藤朋恵／日本設計）

所 在 地　三重県安芸郡河芸町大字浜田808番地
敷地面積　24,838.00㎡
建築面積　 2,175.00㎡
延床面積　 5,529.00㎡
構造規模　SRC、RC、S、5F、基礎免震構造
工　　期　1999年8月～2000年12月
最 寄 駅　近鉄本線豊津上野駅
撮　　影　SS名古屋

左頁上：正面ディテール／下左側：正面外観／下右側：バルコニーディテール
右頁上から：建物東側のふれあいの池／町民ホールより竹林を望む／町民ホールでのロビーコンサート／議場内部

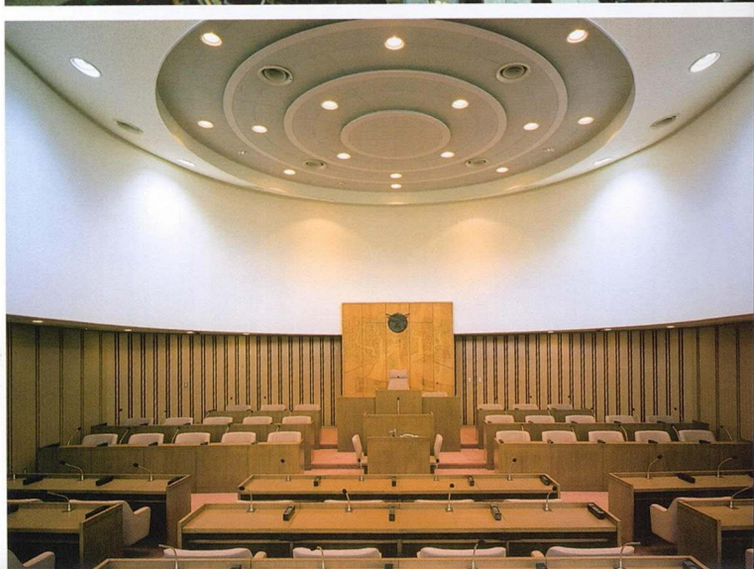


配置図　1：3000













▲教室棟足元



▲授業空間

名古屋商科大学大学院伏見キャンパス

設計施工　竹中工務店

都市における第二の公共空間の創出

名古屋商科大学大学院は、高度なビジネス実践能力を養成する我が国初の「経営情報学研究科」として1990年４月スタート。今後の高等教育の主役を担う大学院として旋風を巻き起こしている。更なる教育環境の向上を求める名古屋のビジネスの中心地にキャンパスを設立した。

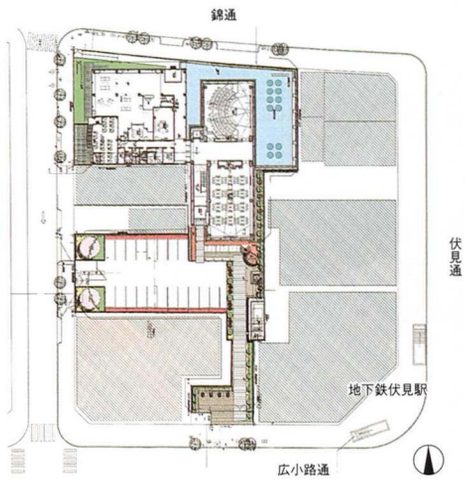
敷地は地下鉄伏見駅から徒歩２分、周囲に都市公園やシティホテルを有する絶好のロケーションであるが不整形なため旧来の都市開発の手法に乗らず残地となっていた。この都市のエアポケットに可能性を見いだしキャンパスとして、建築と自然環境による再生を行った。

特徴的な三角屋根の既設事務所（西棟）は用途変更し改造。新たにガラスBOXの教室棟（東棟）をつくり対峙させた。不整形な敷地を生かしてアプローチ空間を開放し、シンボルとなる落葉樹や多彩な植栽により季節を演出、大通に風穴を空けている。

高密度で開発が進む都心において、水盤に浮かぶガラスBOXは広く社会に門戸を開く本大学院のシンボルを表現。最新の教育環境を伝統的な空間で纏い、伝統的なエレメントを最新の技術と素材で構成させることで、21世紀最初に完成するビジネススクールとしての時代性を提示した。

幾何学模様をプリントした大判ガラスによる外観は、内面に仕込まれた電動ブラインドや暗幕電動カーテン・ライトアップにより、完全オープンから遮蔽・夜間の演出など、街に対して様々な表情を見せる。ガラスにはモノを美しく“沈める”効果があり、このガラスBOXはここで行われる授業というアクティビティを外部に表現している。

（長谷川寛／竹中工務店設計部）

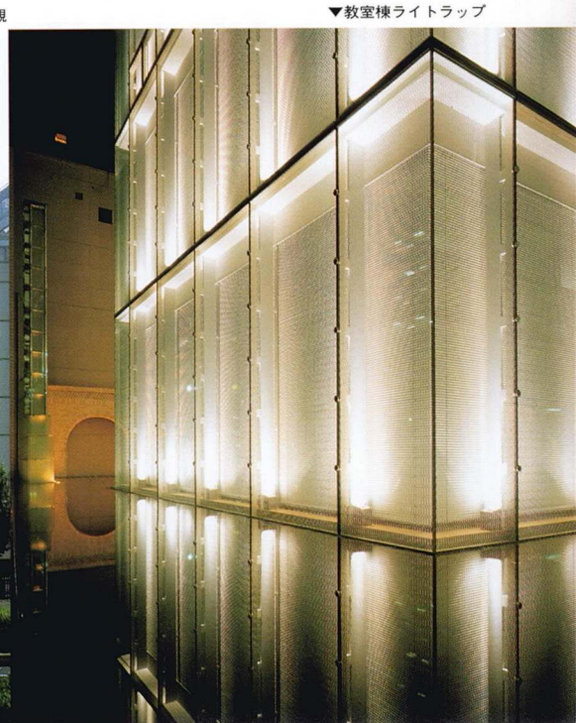


所在地　名古屋市中区錦1-20-1
敷地面積　2,732.11㎡
建築面積　1,088.29㎡
延床面積　2,297.02㎡
構造規模　S、4F
工　期　2000年12月～2001年9月
最寄駅　名古屋市営地下鉄伏見駅
撮　影　吉村行雄、加藤敏明

▼北面外観



▼教室棟ライトラップ



国家公務員共済組合連合会　名城病院

設計監理　日建設計
施　　工　佐藤・鴻池建設共同企業体

所 在 地　名古屋市中区三の丸1-3-1
敷地面積　9,938.15㎡
建築面積　2,582.95㎡
延床面積　28,543.05㎡
構造規模　SRC、S、B2F、12F、P2F
工　　期　1998年5月～2001年8月
最 寄 駅　地下鉄名城線市役所駅
撮　　影　フォトスタジオ・タクミ



敷地は、緑豊かな名古屋の官庁街の名古屋城天守閣を正面に見る得がたい場所にある。その特性を十分に生かし、アメニティに優れた病院とすることを基本方針とした。

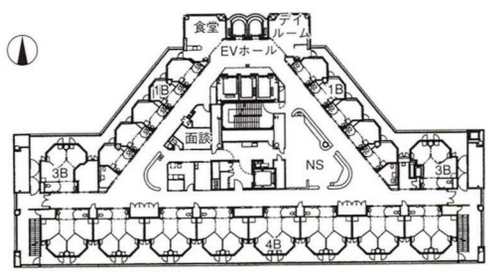
限られた用地の現地改築のため、1階から4階の外来・中央診療部門を可能な限り集約し、機能的・立体的に積み重ねて病院機能を構成した。1フロア1看護単位の三角病棟は、城側に個室病室を全て配置し、ベットに横になったまま、天守閣を眺められる。また、一般用にシースルーエレベーター、ディルームと患者用食堂、最上階の展望レストラン、塔屋階の展望室など、城側の景観を楽しめる場所を随所に設け、名古屋城を望む景観を十分享受できる病院として、立地条件を最大限に活かした。

また、4床病室は、各ベットに窓がある個室的多床室とし、1階エントランスホール、2階外来ホール天井のステンドグラス、各所のアート等、アメニティのある療養環境を確保した。

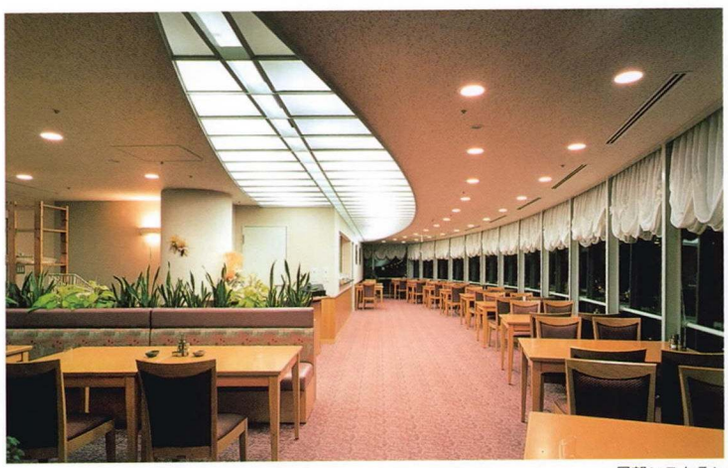
外観は、南面を街路の連続的景観に配慮して四角い形とし、城側の北面は、緩やかな曲面で構成される展望レストランを彫りの深い印象的な形に配し、暖かみのある色彩と共に、歴史ある周辺の景観に調和する建物を目指した。

（野崎庸之、石倉義行／日建設計）

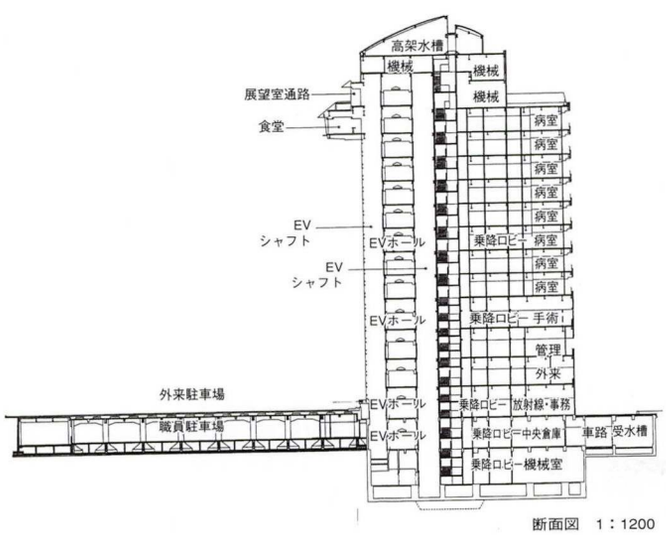
エントランスホール



基準階平面図　1：1000



展望レストラン



断面図　1：1200



4床病室



南側外観▲



エントランス外観▲

みなと医療生活協同組合
協立総合病院

設計施工　竹中工務店

協立総合病院は、みなと医療生活協同組合の中核施設であり、24年前に当社が設計施工で建設した旧病院を全面移転するプロジェクトである。

新病院はできる限り患者本位の病院を目指し、サービスコアを中心としたコンパクトで求心的なプランによる機能的で分かり易い構成と外部の緑地と一体になったウイング型の外来部によるゆったりとした快適空間を確保している。

敷地は四周が道路に囲まれた矩形のため、中心の南北軸に対してシンメトリーかつ各ブロックが整形になるプランを追求した。北側が主要道路であり、街に開かれたエントランス空間を構成している。また、総合設計制度を活用し、容積の割増を受けるとともに、効果的に配置された公開空地により、施設のアメニティ向上と地域環境の発展に貢献している。

周辺の住宅環境に配慮した敷地の周囲全体の緑地および外周部を歩道として提供し、街並の形成に寄与している。

デザインコンセプトとして、外観において白衣のような軽やかで清潔感のある端正なデザインを追求。内部は、照明計画との調和を図りながらローコストを感じさせない明るく暖かみのあるインテリアを構成し、ゆとりあるアメニティ空間を実現している。

機能的には、高度に多機能化した総合病院の諸施設を、有機的かつ立体的に構成し、患者動線とスタッフ動線の分離を基本としながら、効率のよい施設創りを実現している。

医療生協の末期医療の思想を実現すべく、最上階に設けた緩和ケア病棟では、16室の個室を備え、“心のケア”に十分配慮し、憩いの場となる屋上庭園を設置してる。

（市川健二／竹中工務店設計部）



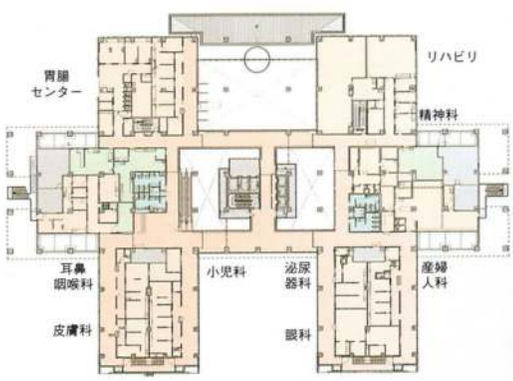
▼南側外来棟外観

エントランスホール▲

所 在 地　名古屋市熱田区五番町401
敷地面積　9,568㎡
建築面積　4,771㎡
延床面積　26,958㎡
構造規模　SRC、B1F、8F、P1F
工　　期　1999年12月～2001年8月
最 寄 駅　名古屋市営地下鉄東海通駅
撮　　影　吉村行雄／エスエス名古屋（滝田）



1階平面図　1：1600



2階平面図　1：1600

▼エントランスホール（受付側）



▼中央ホール



▼地階を感じさせないサンクン広場



掛川市立中央図書館

設計監理　日建設計
施　　工　川島組

所 在 地　静岡県掛川市掛川1148-1
敷地面積　6,559.91㎡
建築面積　2,616.10㎡
延床面積　4,671.53㎡
構造規模　RC、W、B1F、1F、P1F
工　　期　1999年7月～2001年5月
最 寄 駅　JR東海道線掛川駅
撮　　影　スタジオ村井

▼掛川城・大日本報徳社との連帯配置



全国に先駆けて生涯学習都市宣言を行った掛川市の、文化・情報の中核的な役割を担う中央図書館である。

敷地周辺は掛川城公園や大日本報徳社などがあり、市の歴史文化のシンボルゾーンとなっている。

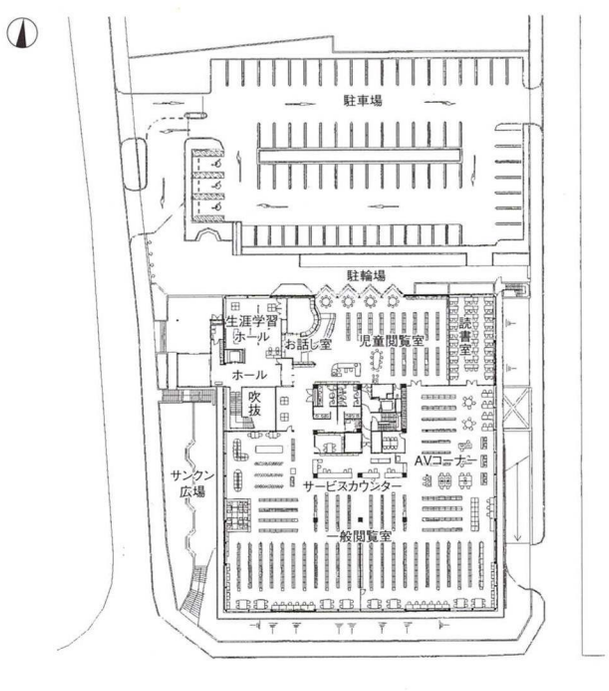
この歴史的・文化的な雰囲気に調和し、威圧感・違和感のない建築とするため、地上部は木造による平屋の低層建築とし、日本瓦による寄せ棟屋根で、外部からも館内の様子が見通せるような開放性が高い外観とした。

1階に集約配置された開架閲覧ゾーンは、サービスコアを中心に各部門をドーナツ状に配置し、分かりやすく使いやすい構成とした。

また地下1階の集会部門とも吹抜けを介して一体空間としている。内部は、大断面集成材による木の架構や木質内装材を多用し、積極的に自然光を採り入れて、明るく温かみのある閲覧空間を創り出している。

敷地の高低差を活用したサンクン広場を設け、地階にも十分な自然採光を可能とした。環境負荷削減のため、建物全周の深い庇・バルコニー設置による日射負荷抑制、サービスコア周囲のトップライトによる自然採光・換気、閲覧ゾーンの床下送風型空調、雨水利用、屋根内換気による負荷熱抑制等、様々な手法を採用した。

（佐藤義信／日建設計）



配置図・1階平面図　1：1200



▲木の架構を表現した一般開架閲覧室



▲児童閲覧室

▼空間の一体化を図る吹抜ホール



▼木のぬくもりを感じさせるブラウジングコーナー



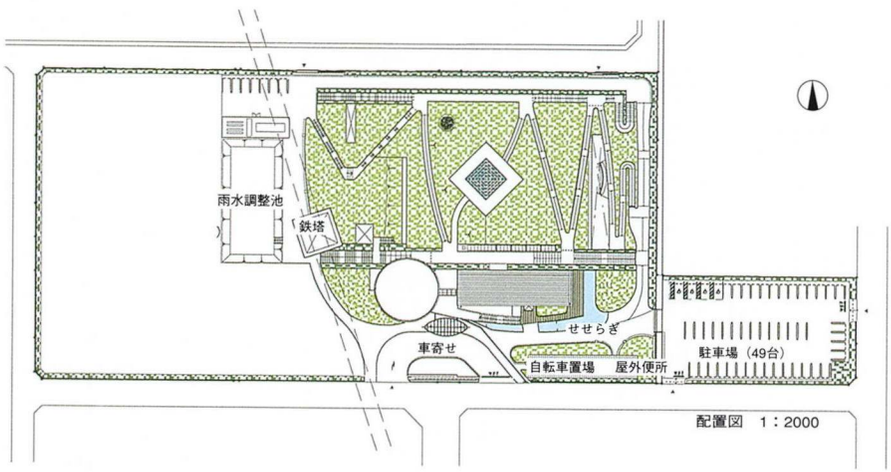


▲エコハウス138全景

エコハウス138

設計監理　大建設計名古屋事務所
施　　工　建築：大林・中村建設工事共同企業体
　　電気：奥村電機
　　設備：大興建設
　　衛生：森銀

所 在 地　愛知県一宮市奥町字八瀬割40-1
敷地面積　15,414.70㎡
建築面積　3,925.13㎡
延床面積　5,035.33㎡
構造規模　RC、一部S、2F
工　　期　1999年10月～2001年2月
最 寄 駅　名鉄名古屋本線石刀駅
撮　　影　SS名古屋

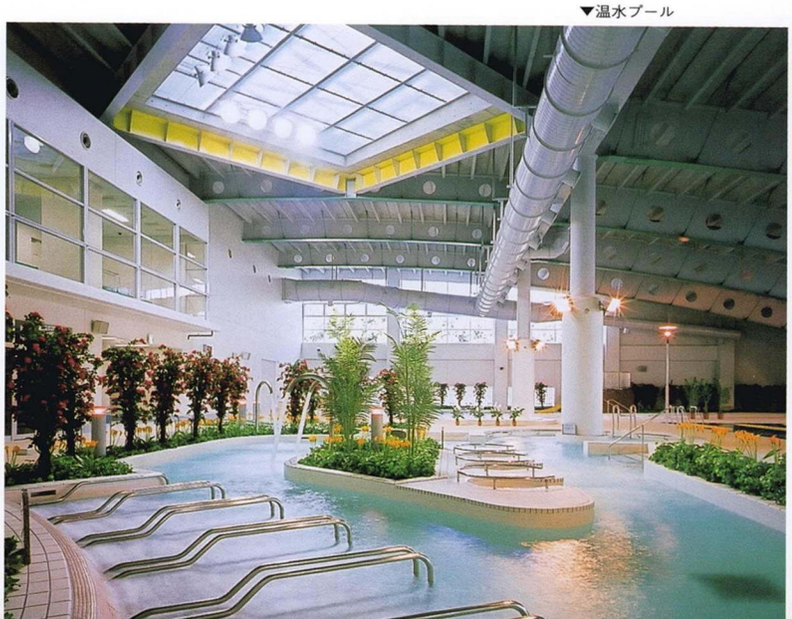


配置図　1：2000

▼田園風景と東側外観



▼温水プール





▲緑化された屋上広場

「人と地球を健康にする緑の丘」を計画テーマとした本施設は、隣接するごみ焼却施設の余熱を利用した温水プールならびにトレーニング室からなる「健康増進ゾーン」と、環境に関する学習と体験ができる「環境学習ゾーン」の２つの機能で構成され、「人と自然の共生」をめざした施設として、平成９年度「魅力ある愛知づくり事業」の対象施設に選定されています。敷地が、市の環境ゾーンに隣接しているため、計画当初から、環境負荷の軽減をめざしたさまざまな建築的取り組みが検討されました。

建設によって失われた緑を復元し、周囲に拡がる濃尾平野との調和をめざした「緑の丘」の外観も、環境負荷軽減に対する取り組みの一つであります。断熱に効果のある建物の屋根面及び東西面を全面的に芝生で覆うことにより、大気の浄化や空調負荷の軽減によるヒートアイランド現象の抑制に寄与することをめざしました。

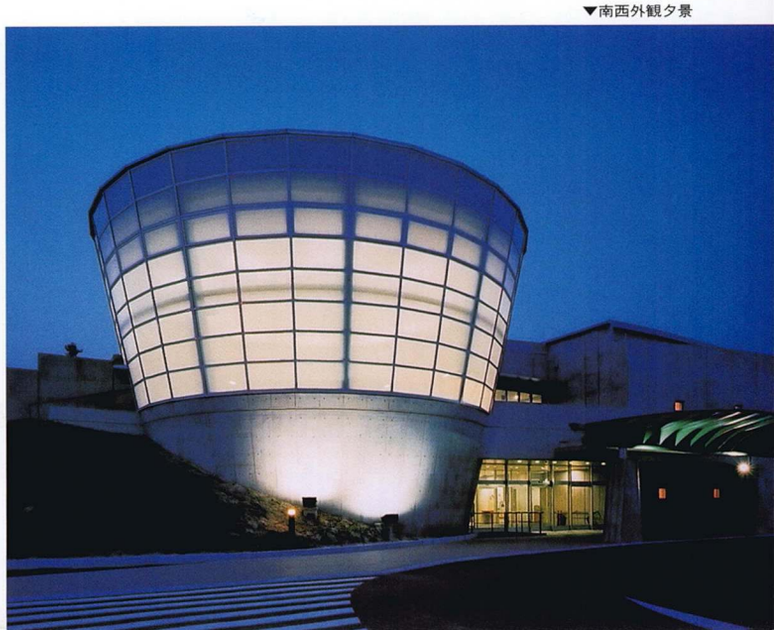
また、屋上緑化以外にも、地球環境の保全を促進するという観点から、風力発電や太陽光発電を積極的に導入すると共に、建物内に雨水貯留槽を設置し、雨水を緑地への散水として再利用することを試みています。建物形態も、一宮市の夏至南中時の太陽高度78度に傾斜させた逆円錐形デザインの採用やピラミッド型のトップライトによる自然採光、自然換気の確保など、熱負荷の軽減をめざした計画としました。建設工法においても、建設廃棄物を極力出さないという観点から、施工上型枠不要なハーフPC版の採用や建設掘削土を緑のマウンドに利用するなどの取り組みを行っています。その他にも、廃ガラスを再利用したリサイクル建材の採用やリサイクル精神の象徴として、ワインボトルの廃材によるモニュメントの設置等、本施設は、「環境にやさしい建築」として計画されています。

（池田富士夫、小山哲男、山本一成/大建設計）

▼ワインボトルの廃材によるモニュメント（シンボルツリー）



▼南西外観夕景





▲南面外観

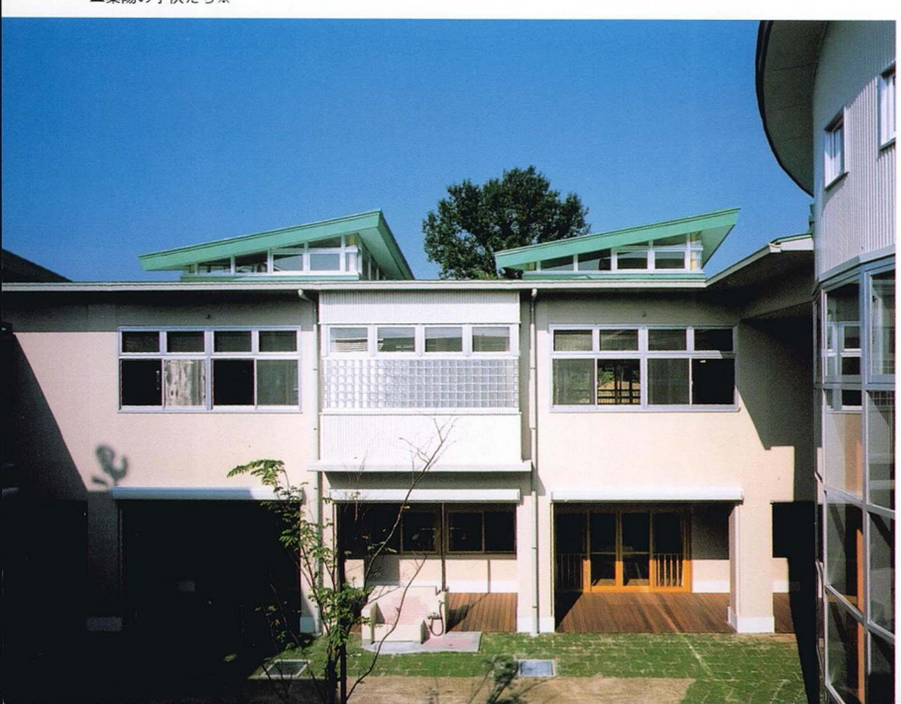


▲桑陽の子供たち※

桑名市立桑陽保育所
地域子育て支援センター

設計監理　東畑建築事務所名古屋事務所
施　　工　建築：東洋建設
　　電機：六晃電気産業
　　給排水：中村組
　　空調：かき藤空調

所 在 地　三重県桑名市東方1895-1
敷地面積　4,611.67㎡
建築面積　1,201.30㎡
延床面積　1,840.62㎡
構造規模　S、2F
工　　期　2000年12月～2001年10月
最 寄 駅　近鉄線桑名駅
撮　　影　SS名古屋
　　※桑名市



◀プレイコート

桑名市は三重県北部、東海道の宿場港町で伊勢路の玄関口として古くから賑わいをみせた。桑陽保育所は桑名市の中央部、宅地化された丘陵地にあり周辺は今も多くの緑を残す。

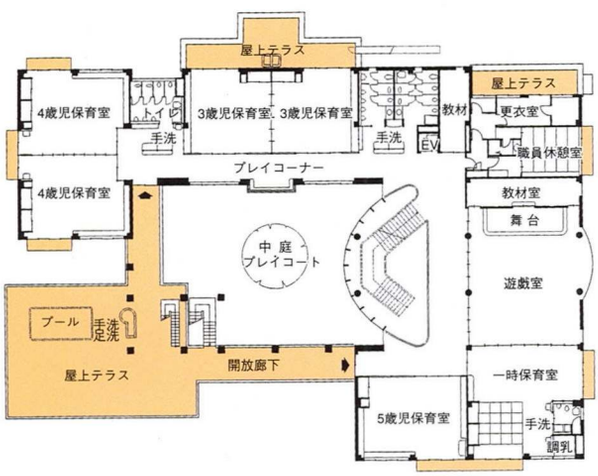
保育所や子育てをとりまく環境は、少子高齢化の時代を現実に迎え、社会状況も複雑化するなかで益々多様化し、地域が求める子育て支援基盤の構築と多様化する保育のニーズに応えた施設整備が急務である。当施設はそう言った地域の要望に応えるべく、従来の保育所機能のみならず、一時保育事業の展開や、子育て支援の情報・交流拠点としての役割を担う「地域子育て支援センター」を併設している。

吹抜けのあるコミュニティーギャラリーと屋外保育スペースであるプレイコートを核として子育て支援センターや諸室を展開し、保育室の２室一体利用やオープンとなる遊戯室の設定、屋上ウッドデッキテラスなどにより、日常保育や地域開放時に多様な使い方を可能としている。外観については建物や屋根を分節し色彩に配慮することで、周辺住宅地との景観構成に配慮した。

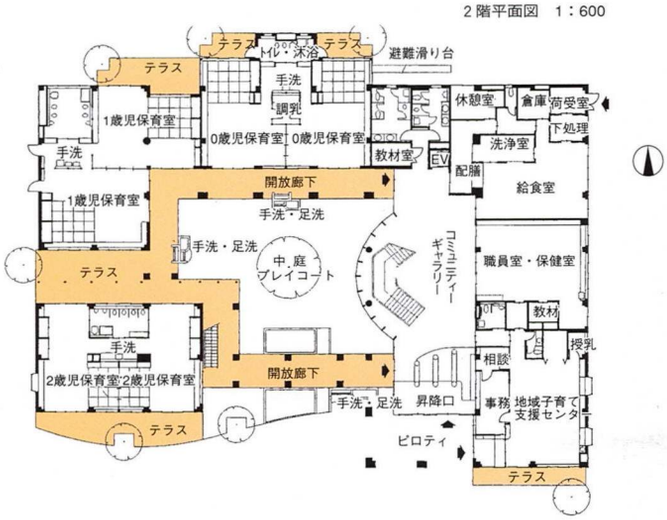
環境問題が取り沙汰される昨今、施設と環境の関わりは不可欠なテーマである。取り組みとして太陽光発電の設置、深夜電力による床暖房の採用、窓配置による重力式換気と自然採光の実現、エコマテリアルの積極利用、生ごみ処理機の設置などにより、イニシャル・ランニングコストの削減、省エネ・省資源、換算CO_2量の削減、クリーンエネルギーの啓発など、施設と環境負荷のバランスのあり方を追求し「グリーンハウス」としての整備を試みた。

内部空間としては、ユニバーサルデザインの徹底、乾式間仕切・可動間仕切の採用によりフレキシビリティを確保、シックハウス対策として優先VOCと三薬品の排除、木材の積極使用、紫外線カットガラスの採用など、居住環境についても子供たちの視点に立って種々の取り組みを行なっている。

この桑陽保育所が、地域の「桑陽の家」として、人々が、子供たちが、体感し、夢を育み、ひとつの種子が芽を出し、そして豊かな実となるように成長することを願いつづけてやまない。（瓦田伸幸、髙木耕一／東畑建築事務所）



２階平面図　１：600



１階平面図　１：600



▲3歳児保育室



▲遊戯室と一時保育室



▲地域子育て支援センター



▲北西面全景

鈴渓南山美術館

設計施工　竹中工務店

所 在 地　名古屋市昭和区南山町8番6、7、8
敷地面積　1,577.50㎡
建築面積　473.22㎡
延床面積　1,279.24㎡
構造規模　RC、一部S、4F
工　　期　2000年12月～2001年6月
最 寄 駅　地下鉄いりなか駅
撮　　影　車田　保、大崎太郎 ※のみ

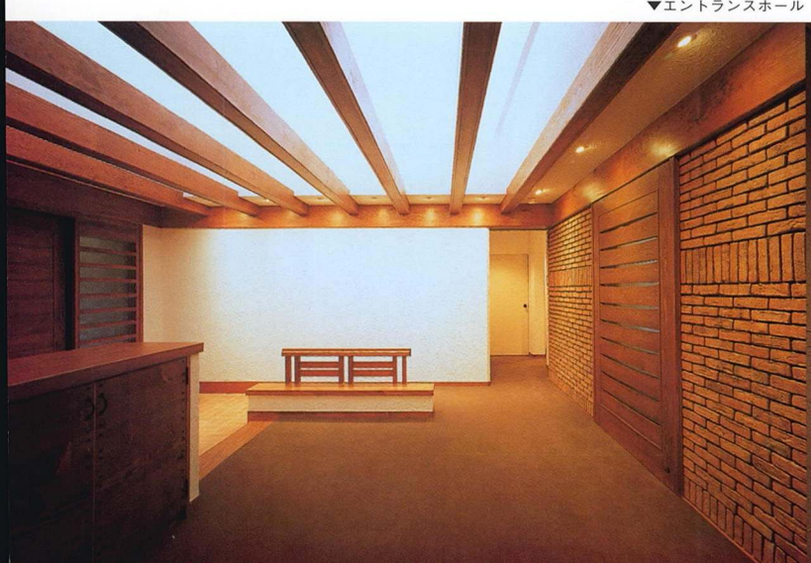
単身者アパートであった既存建物を活用し、美術館に再生した「付加価値リニューアル計画」である。管理職用単身者アパート（1989年竣工）が企業のスリム化によってその需要がなくなり、隣接する自宅を持つ建築主が土地建物ともに所有することになった。

敷地は、名古屋市の中心部近くにありながら緑濃い第一種低層住居専用地域に位置する。周辺は、広大な敷地の邸宅が建ち並び、学校も多い風致地区である。

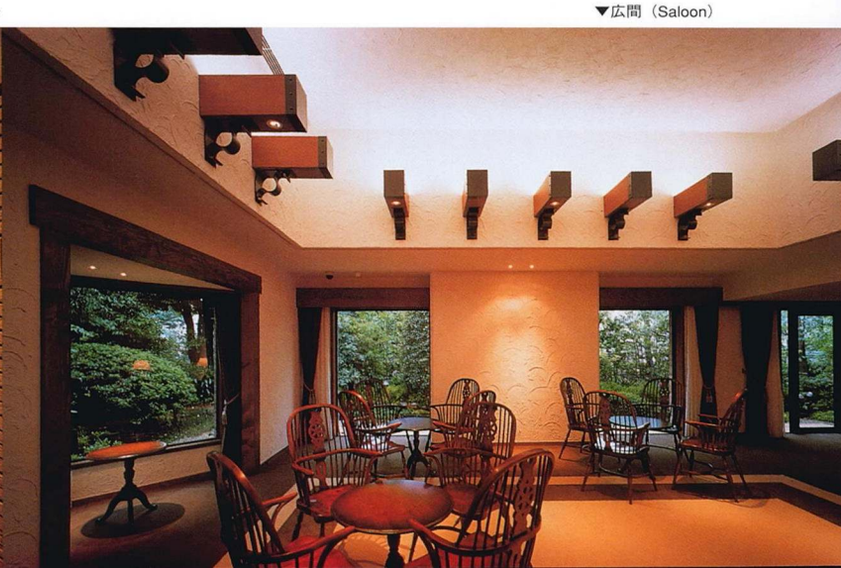
建築主の要望は、解体・建設という一連の作業による周辺環境への影響を避けるため、既存建物の外皮はそのままに美術館として活用することであった。

第一種低層住居専用地域の建物を美術館に用途変更するにあたっては、市から美術館としての公共性をもつことと地域への文化貢献を条件に許可された。

▼エントランスホール

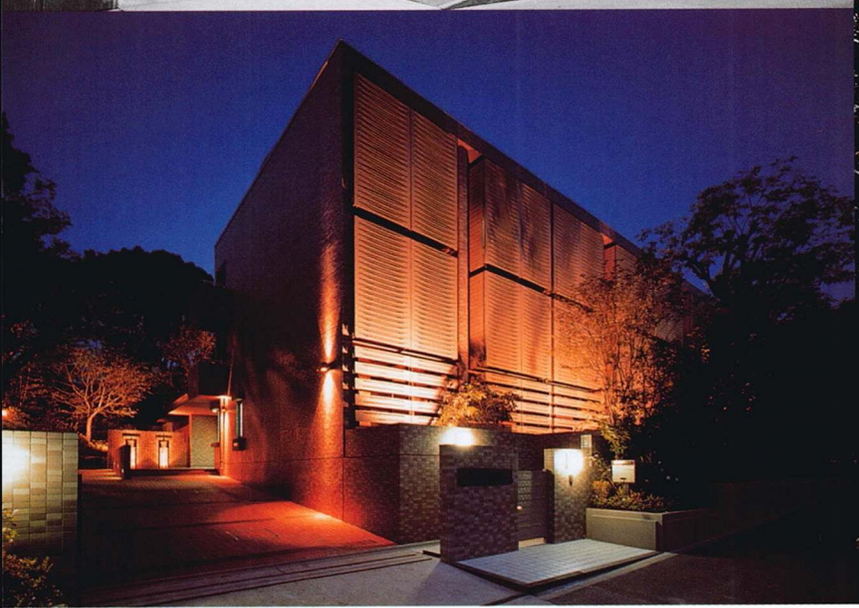


▼広間（Saloon）





▲北西面全景（リニューアル前）上※



▲北西面全景（夜景）下



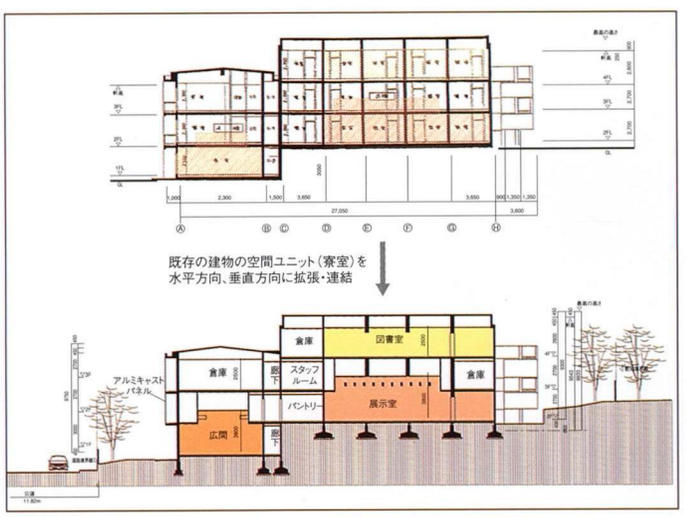
西面ファサードディテール

鉄筋コンクリート壁構造の狭小な空間ユニットで構成された単身者アパートを美術館として必要なボリュームある展示空間に変化させるために、これまでの空間ユニットを水平方向・垂直方向に拡張・連結し、4倍の大きさと7倍の大きさの空間を実現した。

外部は、既存建物をそのまま生かしたが、バルコニー部分をアルミキャストパネルによるダブルスキン構造にすることによって、建物の表情を単身者アパートから格調ある美術館の表情に変えた。

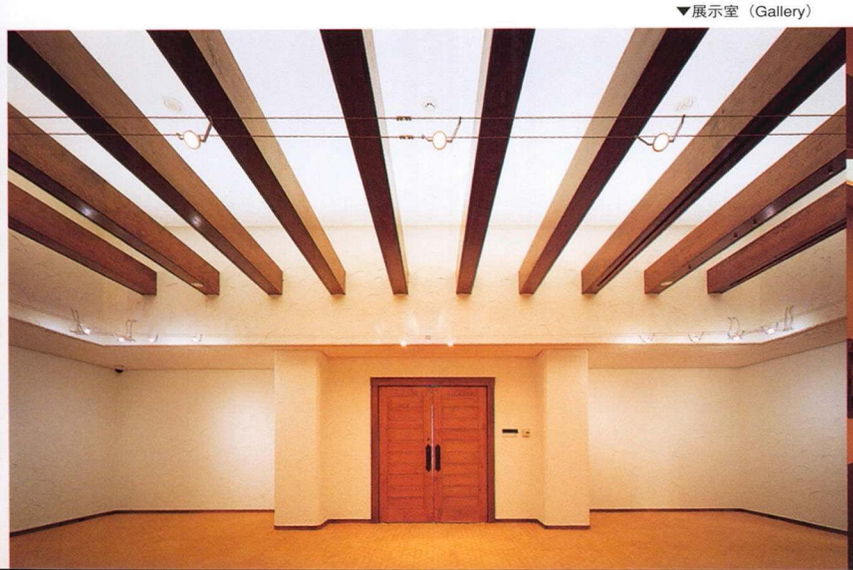
美術館のインテリアは、小屋組みの露出した吹き抜けをもつヨーロッパの住宅をイメージし、あたかも居間で寛ぎながら絵画を鑑賞できるようなアットホームな美術館をめざした。

（浅井康行、大崎太郎／竹中工務店設計部）



リニューアル前とリニューアル後　断面図

▼展示室（Gallery）



▼図書室（Library）



中部電力岐阜ビル

設　　計　中部電力土木建築部
　　伊藤建築設計事務所
設計協力　小堀鐸二研究所（制震）
監　　理　中部電力岐阜支店工務部建築課

施　　工　建築：鹿島・戸田・西濃・土屋・宇佐美共同企業体
　　電気：トーエネック・中央電気・シーテック共同企業体
　　空調衛生：トーエネック・ダイダン共同企業体
　　昇降機：三菱電機
　　立体駐車場：大井建興



外観南西面

岐阜支店と岐阜営業所が入居する中部電力専用の事務所ビルである。旧支店ビルは1954（昭和29）年に建設されて以来、3回にわたって増築を繰り返してきたが、老朽化が著しく、手狭になったため、制御所と通信局舎を除く全ての建物を取り壊して本館ビルと駐車場棟（駐車場・資材倉庫）を建設した。

新ビルは、①地域との共生（地域への貢献・環境への配慮）、②職場の活性化、③将来への対応、④災害復旧の拠点を基本コンセプトに設計を行い、数多くの特徴を備えた建物となっている。

このうち地域への貢献として、文化サークル活動などの利用に供する多目的室を設け地域に開放している。また公共施設や官公庁が建ち並ぶ周辺地域の景観に配慮して、品格があり明るく親しみやすい外観とし、建物を前面道路から後退させることで西側にオープンスペース、南側道路沿いの敷地内に歩道を設けて通行の安全をはかり、地元の人たちに空地を積極的に利用してもらえるよう計画した。

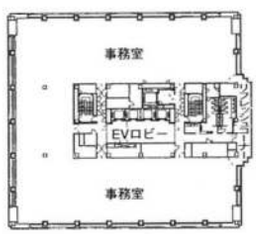
環境への配慮では、$LCCO_2$の削減を目指して省エネルギーに取組んでいる。例えば日射による外部負荷の低減を図るため、窓を外壁面から後退させて日影をつくるとともに、西側の窓はエアフローウインドウとした。また高効率スクリューチラー（成績係数　COP=0.9）を用いた水蓄熱（大温度差・温度成層型蓄熱槽）式空調システムやアンモニア冷媒氷蓄熱ユニットなど最新の技術を導入し、省エネルギー、電力負荷の平準化、地球温暖化防止に努めている。

災害復旧の拠点に対しては、災害時における復旧活動の拠点となる重要な施設として位置づけ、地震時の構造安全性を確保するため、「セミアクティブ型」と呼ばれる減衰特性可変型のオイルダンパを用いた制震構造を採用した。耐震性の評価ではレベルⅡ（大地震）において層間変形角1/150以下で、架構の応力状態は弾性範囲内の高い耐震性能を実現している。

（岡田満弘・澤村喜久夫／伊藤建築設計事務所）



配置図　1：3000



基準階平面図　1：1500

所 在 地　岐阜県岐阜市美江寺町2-5
敷地面積　9,559.19㎡
建築面積　2,099.75㎡
延床面積　24,096.60㎡
構造規模　S、B1F、11F
工　　期　1999年4月～2001年3月
最 寄 駅　JR東海道本線岐阜駅
撮　　影　SS名古屋


全景

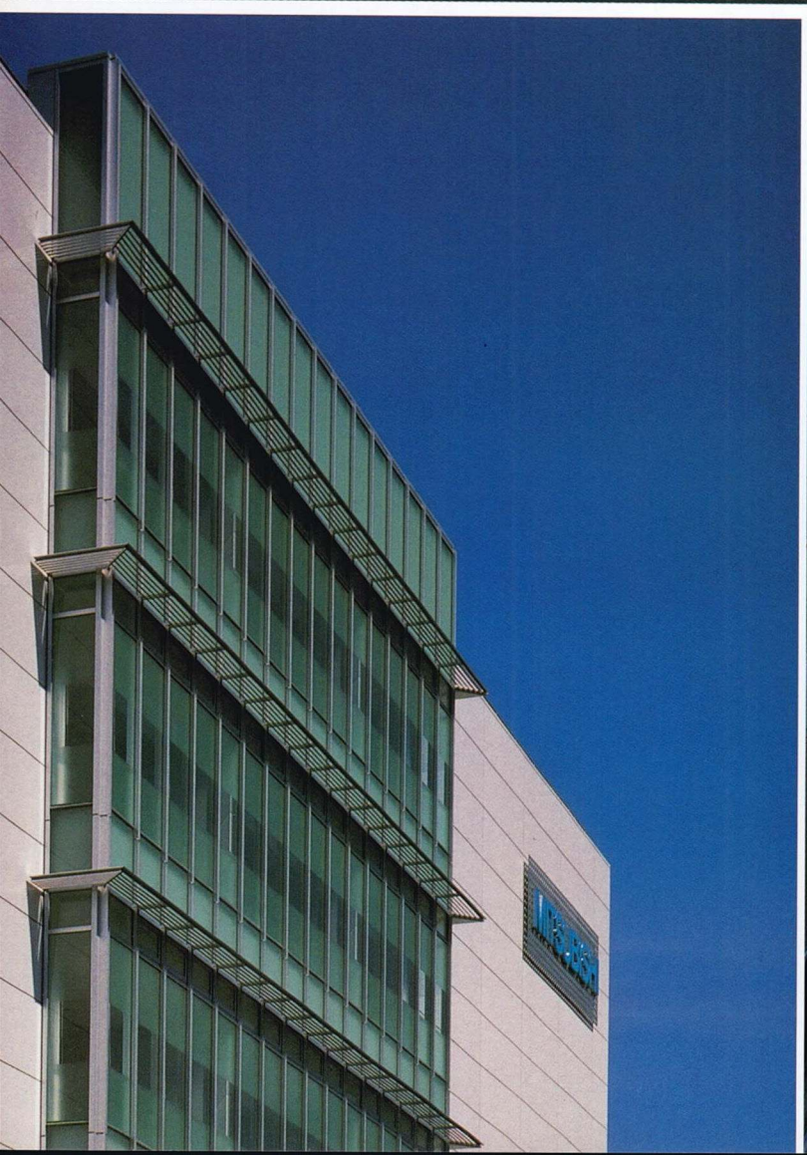

エントランスロビー（1階）


食堂（11階）


事務室（9階）


制震装置

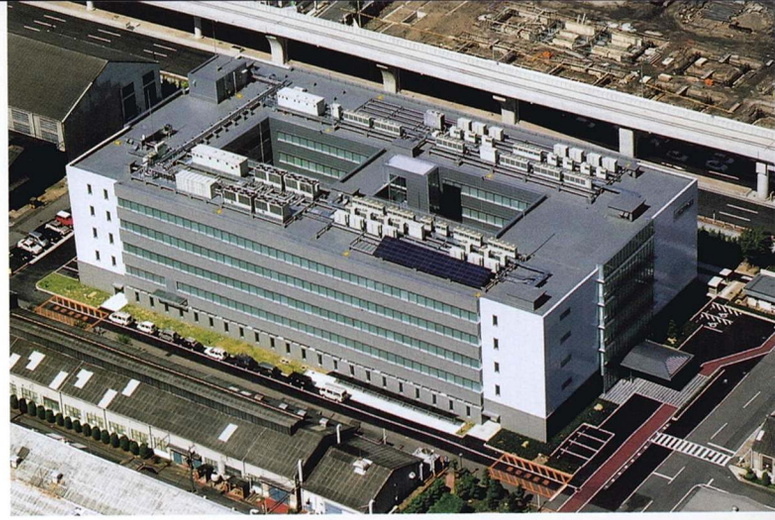

MITSUBISHI





三菱電機（株）名古屋製作所 FA開発センタ

設計監理　KAJIMA DESIGN NAGOYA
施　　工　鹿島・大成・フジタ建設工事共同企業体



名古屋市の北側、大曽根駅のそばに三菱電機(株)名古屋製作所が大正時代から工場を構えている。その北門西側にあった巨大な旧工場を解体し建設されたのが、このラボを併設した開発センタである。
この建物の設計主旨（特徴）は以下の四つに要約される。

Ⅰ. FLEXIBILITY & MODULE PLANNING

南北に三つの大スパンで4,000㎡におよぶ無柱空間を確保。
将来の変更への対応を考慮し、最も一般的な3.2mモジュールを採用。

Ⅱ. OPEN SPACE & REFRESH SPACE

二つの巨大なオープンスペース（中庭）を確保し、その中央にリフレッシュスペースを架け渡した空間構成。
中庭空間は居室の両面自然採光、自然排煙、自然換気を可能にし、心の癒し効果をも生む。

Ⅲ. WHITE CUBE & GLASS CURTAINWALL

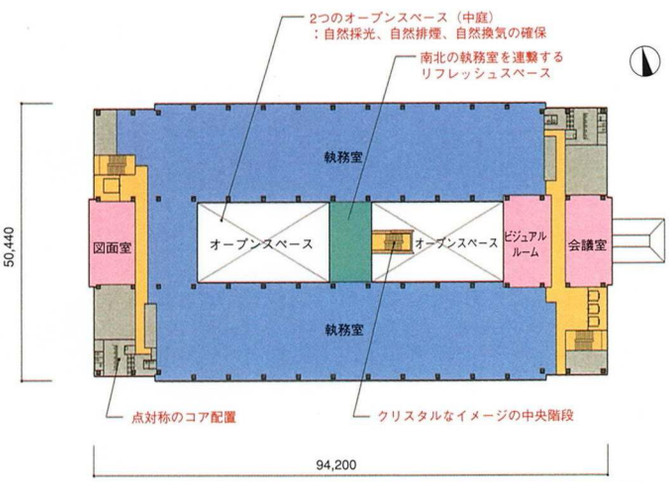
建物の四つのコーナーに白色のパネルによるキュービックを造形。東側玄関上部に設けられた透明感のあるガラスのC.W.とともにファサードを特徴づけ、清新な企業イメージを創出。

Ⅳ. ENERGY-Saving Solution

ランニングコスト低減、CO_2削減、環境側面の低下をねらった省エネソリューションシステムを採用。（三菱電機オリジナルの監視・制御システム『FA1-モニター』等）

（伊東辰彦、山口正晶／KAJIMA DESIGN NAGOYA）





特別養護老人ホームフロアー　3，4階平面図



所 在 地　名古屋市東区矢田南5-1-14
敷地面積　306,452.53㎡
建築面積　4,488.04㎡
延床面積　20,732.01㎡
構造規模　S、5F、P1F
工　　期　2000年11月～2001年8月
最 寄 駅　JR中央本線、名鉄瀬戸線、地下鉄名城線 大曽根駅
撮　　影　SS名古屋

左頁上：東側外観　左頁左下：東側外観ディテール　左頁右下：中央階段
右頁上：航空写真　右頁中：２階中庭　右頁下：エントランスホール

名古屋市交通局健康保険組合
下呂温泉保養所
清風荘

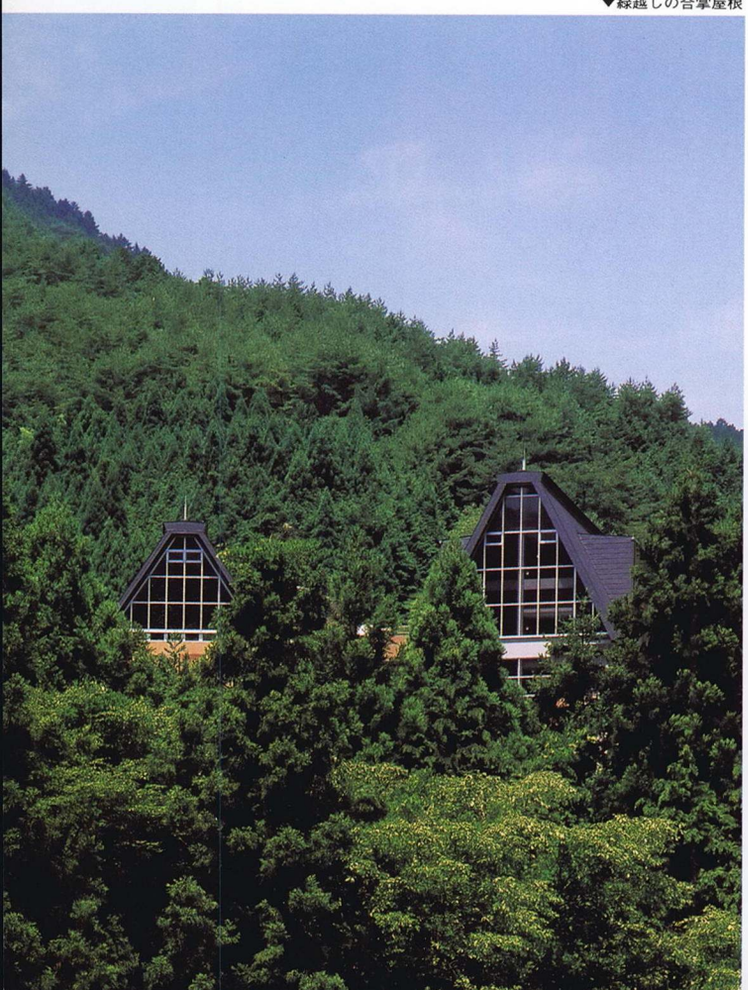
設計監理　東畑建築事務所名古屋事務所
施　　工　熊谷組・金子工業JV

所 在 地　岐阜県益田郡下呂町少ヶ野字ツチガイト1248-1
敷地面積　2,985.50㎡
延床面積　2.582.65㎡
構造規模　RC、一部S、5F
工　　期　2000年4月～2001年5月
最 寄 駅　JR高山本線下呂駅
撮　　影　SS名古屋



飛騨川と清風荘▲

▼緑越しの合掌屋根



▼エントランス廻り



岐阜県下呂町は日本のほぼ真中、東の草津・西の有馬と並ぶ日本三大名湯のひとつとしてその名を知られ、誰もが一度は訪れる日本有数の温泉街である。

清風荘は、昭和19年に開設されたが、施設の老朽化、敷地の狭隘、機能の不足、車社会の到来など、新たなるニーズに応えるべく温泉街から少し離れた自然豊かな郊外への移転新築となった。

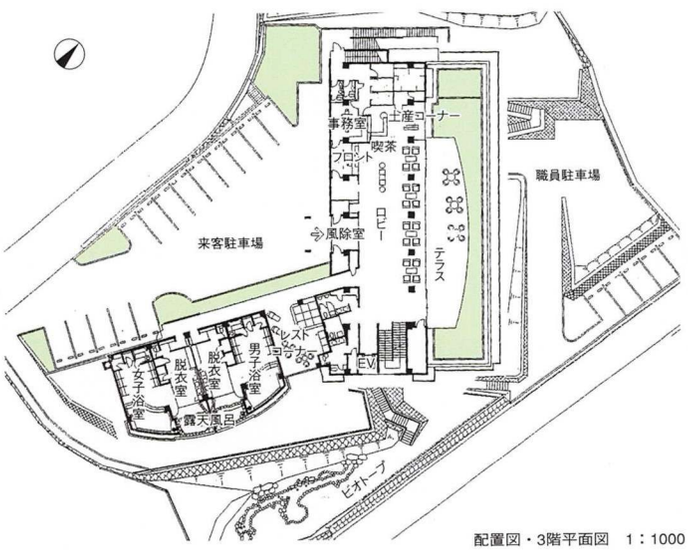
新保養所は、一般客室10室とバリアフリーに対応する特別客室２室の12室。他に、ラウンジ、大浴場、レストコーナー、喫茶、可動間仕切により可変性のある宴会場と会議室兼個室食堂、娯楽室、従業員住宅４室からなり、機能によるフロア構成を行うことで各ゾーンの独立性を高めている。当施設最大の魅力の温泉は、敷地の西側に源泉を所有している。

保養所に求められるのは、日常生活から離れ自然と触れ合うことによるリフレッシュ効果と心身の健康維持と増進である、これは生活を営む上でも必要不可欠である。

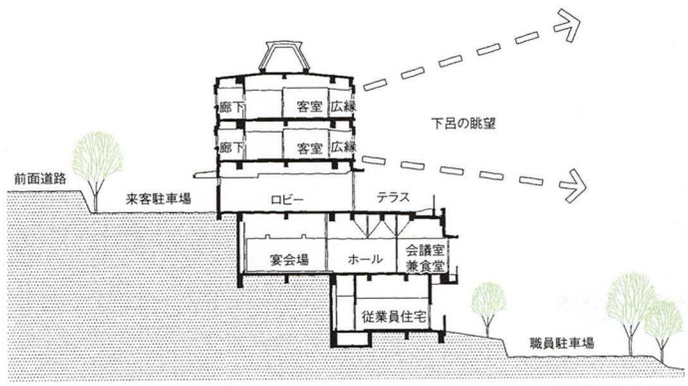
保養所は組合員の多種多様な目的に極力応えなければならず、交通局の研修機能も含め、家族、グループ、団体など利用する人が満足し、何度も訪れることのできる「自分達の保養所＝レストホーム」となるよう、各ゾーンのプライバシー確保、フレキシビリティーの確保、限られたコストの中でアメニティを高めた。他、各室からの眺望確保、高低差を利用したフロア構成と動線処理、現況地盤活用によるイニシャルコスト削減、セットバックによるボリュームの軽減、ユニバーサルデザイン、メンテナンスの軽減など、施設として必要不可欠なテーマにも取り組んだ。

外観は飛騨地方の特徴でもある。合掌屋根を取り入れ地域との調和を図る一方で、訪れる組合員に対しては非日常を意識させる形態とし、内装は自然な風合いを持つ素材の選択と照明効果にて優しく暖かい空間を演出している。

新保養所は新たなる清風荘として、旧保養所は下呂町により湯の街ギャラリーとして再生され、共に地域と関わりを持ち、愛される施設として歩むことに期待している。　　（瓦田伸幸、髙木耕一／東畑建築事務所）



配置図・3階平面図　1：1000



断面図　1：900



▲エントランス廻り夜景

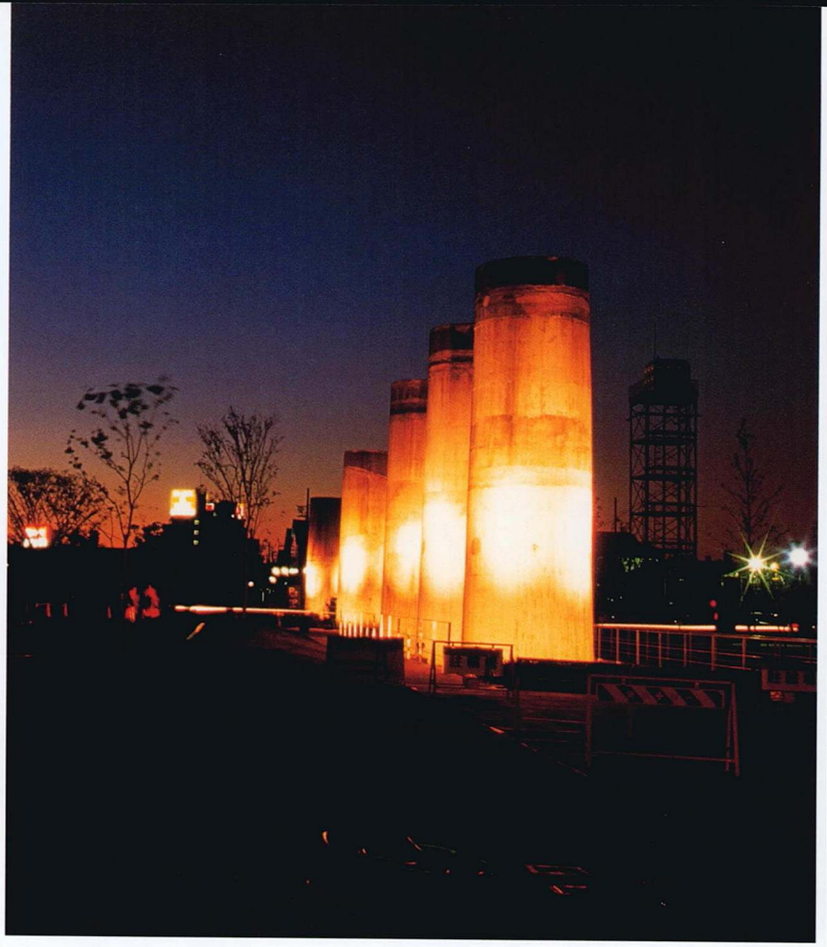


▲ロビー



▲一般客室

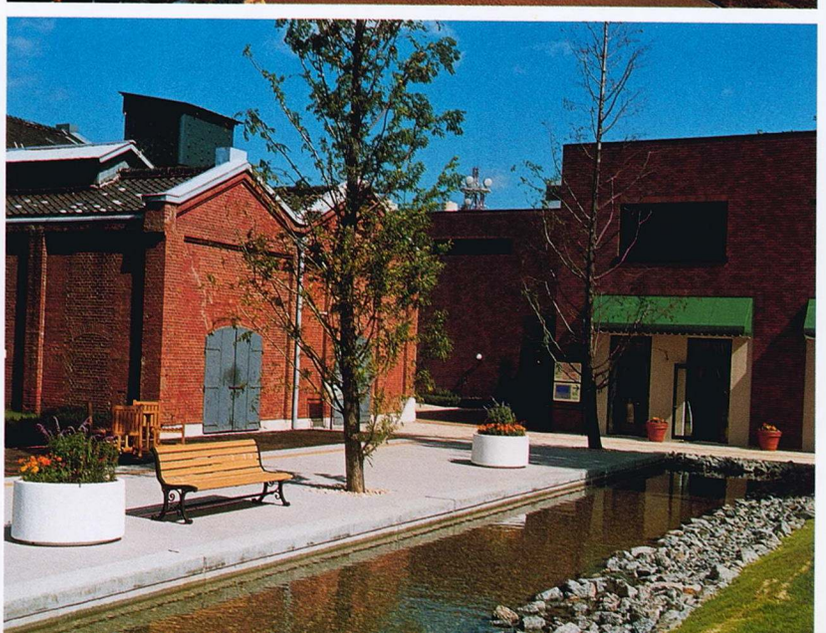












ノリタケの森

監　　修　ノリタケカンパニーリミテド生産技術センター
設計監理　大成建設設計本部環境デザインGr名古屋支店設計部
施　　工　大成建設名古屋支店

●基本構想

ノリタケカンパニー100周年記念事業として計画された。

①近代陶業発祥の地である本社に、産業文化の発信機能を備えた複合施設を開設し一般公開する。

②ノリタケの森と称した緑地を整備し、周辺地域の環境にも配慮した施設とする。

●再生

都市のストックとしての建築を有効に利用して再生させ、旧いものをいかに残して生かしていくか。新しい方向性や空間のつながりを模索した。

①４棟の建物をつなぐ回遊動線を確保する。

②形態を出来るだけ残しながら、その中に新しい空間を挿入して、その場に新しい力を生み出す。

③新たなプログラムに対応する動線として機能的な要求を満たす。

●森の創造

陶磁器工場の跡地という特性を生かしながら、都市の記憶、再生をテーマに“都市の森”を創造した。

①地域に開かれた公共性の高い空間整備により、ノリタケの産業と文化を発信する新しい地域拠点を形成する。

②ノリタケに存在する歴史的な構造エレメントを風景に組み込み、ノリタケの記憶、存在、時間を表徴する。

③周辺環境の自然特性を考慮し、この土地にふさわしい植生により森を創造し、都市の生態系の向上を図る。

所 在 地　名古屋市西区則武新町3-1-36
敷地面積　約48,000㎡
建築面積　（改修部分）約4,200㎡
延床面積　（改修部分）約4,600㎡
構造規模　RC
工　　期　2001年4月～2001年9月
最 寄 駅　名鉄犬山線栄生駅又はJR名古屋駅







左頁：上から左右４枚は煙突広場／下の左右２枚はせせらぎ
右頁：上からミュージアム／ボックス、パレット／レストラン



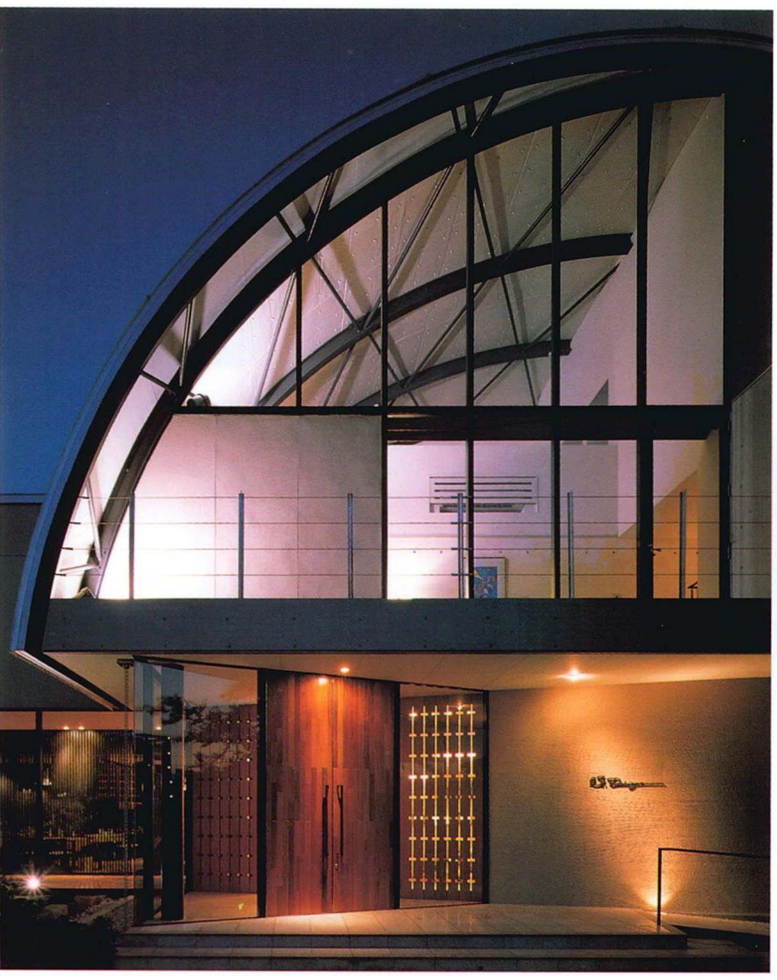


アプローチ道路側の外観

サン・ドミニーク

設計監理　竹中工務店
施　　工　竹中工務店・高垣組

所 在 地　岐阜市雄総柳町1-20
敷地面積　695.00㎡
建築面積　389.07㎡
延床面積　719.31㎡
構造規模　S、2F
工　　期　2000年12月～2001年5月
最 寄 駅　JR岐阜駅
撮　　影　吉村行雄



玄関まわりの夜景

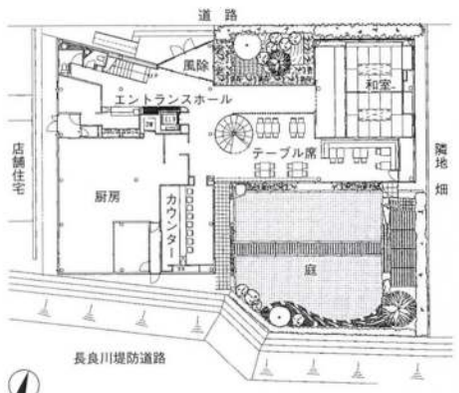


2階メインダイニング

長良川に面する外観

サン・ドミニークは、岐阜市内、長良川の川辺に建つステーキ・フランス懐石料理のレストランである。敷地は、すぐ近くに岐阜城を望み、春から秋にかけて全国的に知られる“鵜飼い”が川辺で行われるロケーションにある。緑の中を緩やかに流れる長良川沿いの風景。景観を圧倒的に支配する長良川の迫力とその美しさ。建物は、川対岸の山並みを手掛かりに外観を構成し、整ったフォルムをこの風景に対峙させることで、周辺との繋がりを形成している。建物を包むランドスケープは、川辺の緑が高さ5mの堤防道路によって分断されているという悪条件を解決するため、土手から生垣、庭、内部、アプローチ側の庭へ、と立体的に続く緑としてしつらえ、施設の魅力増幅と地域へ向けたアメニティの向上を図っている。内部空間は、建物の骨格である鉄骨アーチシェルの構造体を生かし、それをそのまま見せるストラクチュアルなインテリアを試みている。表層的なデコレーションに頼らず、伝統的木造建築のように骨格が限りなく生かされた空間のダイナミズムによって、新しい“食の舞台”を実現している。

（浅井康行、永岡久/竹中工務店設計部）



配置図・1階平面図　1：600


1階テーブル席


1階エントランス

Tokai Sketch Book



大府市庁舎

設　　計　日建設計
施　　工　大成建設・徳倉建設・愛知工務店JV
所 在 地　愛知県大府市中央町5-70
敷地面積　16,273.69㎡
建築面積　 3,319.00㎡
延床面積　15,409.05㎡
構造規模　SRC、RC、S、免震構造、B1F、6F、P1F
工　　期　1998年6月～2001年3月
最 寄 駅　JR大府駅



santec フォトニクスバレー 大草キャンパス タワーE棟

設　　計　浦野設計
施　　工　大林組名古屋支店
所 在 地　小牧市大草年上坂5823
敷地面積　42,748.00㎡
建築面積　 3,448.16㎡
延床面積　 6,990.74㎡
構造規模　S、4F
工　　期　2001年3月～2001年11月
最 寄 駅　JR高蔵寺駅



中京銀行熱田支店

設　　計　伊藤建築設計事務所
施　　工　竹中工務店名古屋支店
所 在 地　名古屋市熱田区伝馬町1-3-9
敷地面積　484.93㎡
建築面積　304.27㎡
延床面積　582.62㎡
構造規模　RC、一部S、2F
工　　期　2000年11月～2001年5月
最 寄 駅　地下鉄名城線伝馬町駅



西尾幡豆ふれあい広場「ホワイトウェイブ21」

設　　計　大建設計名古屋事務所
施　　工　戸田・山旺・鈴博建設工事共同企業体
所 在 地　愛知県幡豆郡吉良町大字岡山字大岩山70番地
敷地面積　22,530.96㎡
建築面積　 9,649.80㎡
延床面積　12,542.80㎡
構造規模　RC、一部SRC、S、2F
工　　期　1999年6月～2001年3月
最 寄 駅　名鉄西尾線西尾駅



松江ウォーターヴィレッジ、ルイス・C.ティファニー庭園美術館

設　　計　日建設計
施　　工　鴻池組・カナツ技建・寿工務店
所 在 地　島根県松江市西浜佐陀町330-2
敷地面積　25,641.95㎡
建築面積　 5,645.20㎡
延床面積　 5,711.84㎡
構造規模　S、SRC、W、1F
工　　期　1999年12月～2001年3月
最 寄 駅　JR松江駅

特集　愛知・名古屋―21世紀・大都市の再生と活性化の動き

景気低迷状況が続くなか、中部、とりわけ名古屋を中心とした愛知県では、中部国際空港、2005年日本国際博覧会（愛知万博）、第二東名・名神高速道路などのビッグプロジェクトが計画され、新しい世紀を迎え、力強く推進されようとしています。

ご承知のとおり、愛知県は、東京、大阪に次ぐ我が国３番目の大都市であり、工業生産量は全国１位と言われていますが、大いなる田舎とも言われ、多くの面で、東京、大阪の２大都市に挟まれ埋没してしまう側面があることも否めません。

新しい時代を迎え、この地方での、豊かで活力ある街づくり、良好な居住環境の整備、魅力ある都市づくりの取り組みの現状と動きを探ることになりました。

この特集には、お忙しい中、ご執筆を頂きました皆様をはじめ、多くの方々のご支援、ご協力を頂きました。深く感謝します。

（東海支部特別編集委員会）

【愛知県の動き】
世界的な交流・創造の拠点となる愛知づくり
愛知県企画振興部

自然の叡知―愛知万博
浦　義明

中部国際空港―セントレア
愛知県企画振興部

中部国際空港旅客ターミナルビル計画
赤司博之

【名古屋市の動き】
名古屋市における市街地再開発事業
名古屋市都市計画課

名古屋市の中心市街地活性化推進について
名古屋市地域商業課

栄公園地区広場ゾーン（オアシス21）の整備について
名古屋市拠点開発推進室

【民間の動き】
民間による都心活性化の動き
牛島市街地再開発組合・日建設計

都市公団による都心活性化の試み―納屋橋西再開発構想
都市基盤整備公団中部支社

都市公団による都心活性化の動き―千種二丁目地区
都市基盤整備公団中部支社

【居住環境整備の試み】
あいち健康の森
愛知県健康福祉部

千種台ふれあいタウン
名古屋市住宅整備課

世界的な交流·創造の拠点となる愛知づくり

愛知県企画振興部企画課

日本を代表する産業の拠点·愛知

愛知県は人口が約700万人、日本の中央部に位置し、東京と大阪を結ぶ交通の要衝という地理的条件を生かして、モノづくりを中心に日本の産業発展をリードしてきている。工業生産額が24年連続で全国１位となるなど、経済規模（県内総生産）は世界経済の１％にも及んでいる。また、３大都市圏でありながら空間的なゆとりを有するとともに、豊かで多様な自然が大都市に近接して残っており、全国有数の農業県でもある。

2005年日本国際博覧会と中部国際空港

IT革命の急速な進展や高速交通ネットワークの整備などを背景として、人・モノ・情報等が地球規模で活発に移動する時代を迎えている。こうした時代変化の中で、本県では、2005年に開催される国際博覧会と、それに合わせる形での開港を目指している中部国際空港という２つの国家的プロジェクトを地域の力を結集して推進しており、これらを大きな弾みとして、世界的な交流・創造の拠点となる愛知の実現を目指している。

その柱となる2005年日本国際博覧会は、「自然の叡智」をテーマとし、環境、資源、エネルギー、人口など人類が直面する共通の課題について、世界の英知を集めて考える機会を提供するとともに、循環型社会のモデルを提示するなど、21世紀にふさわしい新しい博覧会を目指している。2001年12月に基本計画が博覧会協会から公表され、いよいよ取組みが本格化しつつある。

もう一つの柱となる中部国際空港は、新東京国際空港や関西国際空港と並び、我が国と世界を結ぶ国際航空ネットワークの拠点空港となるものであり、2005年３月の開港を目指して、伊勢湾常滑沖で建設工事が急ピッチで進められている。24時間運用可能なこの空港が完成・供用されれば、この地域の世界的な交流拠点性が飛躍的に向上することが期待される。

「愛知らしさ」の全国·世界への情報発信

新しい時代を切り拓くための土台となるこれらプロジェクトの姿が見え始めた今、本県では、これらのプロジェクトの意義・効果と連動した先導的な取組みを、「環境」や「情報」など21世紀のキーワードとなる分野を中心に展開し、「愛知らしさ」を全国・世界に対して情報発信していかなければならない時期を迎えている。

あいち新世紀自動車の策定·推進

本県は、世界屈指の自動車産業のメッカであり、極めて高い産業・技術集積を有している。また、自動車の保有台数も2001年３月に東京都を抜いて全国一となっている。こうした地域特性を踏まえた「環境」分野の先導的な取組みとして、全国に先駆けて「あいち新世紀自動車環境戦略」を策定・推進することとしている。2002年２月に県民や事業者等の参画を得る形で「あいち新世紀自動車環境戦略会議」を立ち上げており、ディーゼル排ガスのクリーン対策や、ハイブリッド自動車などエコカーの普及、さらにはITSを活用した交通の流れの円滑化など先進的かつ効果的な対策を盛り込んで、積極的な施策展開を図っていくこととしている。

ITSの先導的な展開

「情報」の分野に関しては、ITS（高度道路交通システム）を積極的に展開していくこととしている。

ITSは、最先端の情報通信技術とクルマや道路の安全技術を組み合わせて、渋滞の緩和や交通事故の防止を図る次世代の交通システムであり、高度情報通信社会を先導する役割はもとより、情報通信産業の振興といった面からも大きな期待が寄せられている。とりわ



産業観光サミット in 愛知·名古屋

け、自動車産業の厚い産業集積を有する本県においては、ITS関連産業が発展する可能性が高く、産学行政が一体となった推進母体となる「愛知県ITS推進協議会」を全国に先駆けて設置しており、「電気自動車の共同利用（豊田市：1999年度～）」や「歩行者等支援情報通信システム（春日井市、碧南市：2001年度～）」など様々な実験や具体のシステムの導入が図られている。

また、2004年10月には、ITSに関する各国の政府や学会、民間企業等の関係者が集まり、会議・論文発表・講演・技術展示などが行われる「2004年ITS世界会議」が愛知県・名古屋市で開催されることとなっている。国際博覧会のプレイベントにも位置付けられているこの世界会議の開催を先進的なITS導入の起爆剤とし、国際博覧会の開催や新空港の開港に合わせて展開されるITSなど先進的な取組みを積極的に展開していくこととしている。



歩行者等支援情報通信システム（春日井市）

産業観光の振興

国際博覧会の開催と中部国際空港の開港は、21世紀の基幹産業として成長が期待されている「観光」の振興を図るうえでも絶好の機会である。

幅広い分野にわたり卓越した産業集積がある本県には、産業遺跡などの産業文化財や産業に関連した博物館などが豊富に存在しており、この地域の特色であるモノづくりの特性を生かした「産業観光」の振興を積極的に進めることとしている。

2000年３月には、あいち観光振興協議会が中心となり、モノづくり産業スポットと観光スポットを組み合わせた産業観光モデルコースを取りまとめたほか、2001年10月には「産業観光サミットin愛知・名古屋」を開催するなど、官民一体となった取組みを展開している。また、2005年の国際博覧会開催を踏まえ、「世界産業観光サミット（仮称）」を開催することを目指している。



電気自動車の共同利用（豊田市）

今日、経済の長期的低迷などから、社会全体に閉塞感や将来への不透明感が広がっているが、こうした時期にこそ、時代潮流を的確に見極め、新たな発想の下に新しい愛知づくりに向けた施策展開を積極的に進めていくことが必要である。

2005年日本国際博覧会と中部国際空港をこうした地域づくりの大きな引き金、推進力として、先進的な取組みをより一層広げていきたいと考えている。

自然の叡智—愛知万博

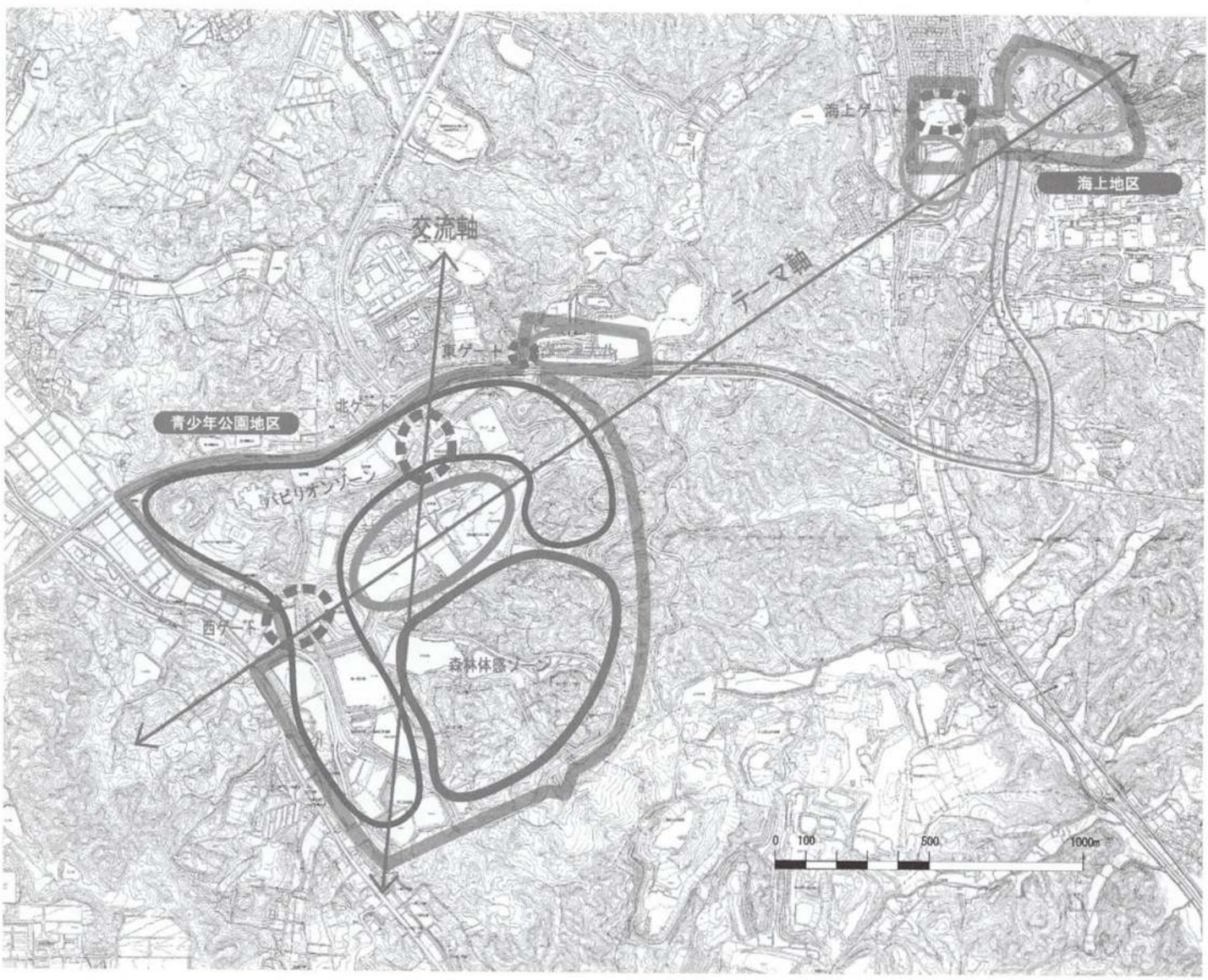
浦　義明

開催概要

名　　称　正式名称：2005年日本国際博覧会
　　略　　称：愛知万博（EXPO 2005 AICHI）
テ　ー　マ　自然の叡智　Nature's Wisdom
サブテーマ　①宇宙、生命と情報　Nature's Matrix
　　②人生の“わざ”と知恵　Art of Life
　　③循環型社会　Development for Eco - Communities
開催期間　2005年３月25日～９月25日（185日）
会　　場　愛知県瀬戸市南東部、長久手町の愛知青少年公園及び豊田市科学技術交流センターの建設予定地
入場者数　1500万人

会場計画の基本的な考え方

愛知万博の会場予定地は、海上地区（瀬戸市南東部の海上の森）及び青少年公園地区（青少年公園及び科学技術交流センター建設予定地）である。海上地区は、起伏に富んだ敷地を会場とするため、地形に沿った造成を行い、主要施設は裸地部分への配置とし、自然への影響を極力少なくするような会場計画としている。青少年公園地区は、希少種等の生物がまとまって分布する地区や森林地区を回避し、比較的高度に利用されている北西部を中心に利活用を図ることとしている。



15会場構成概念図.pct

会場の基本構成軸

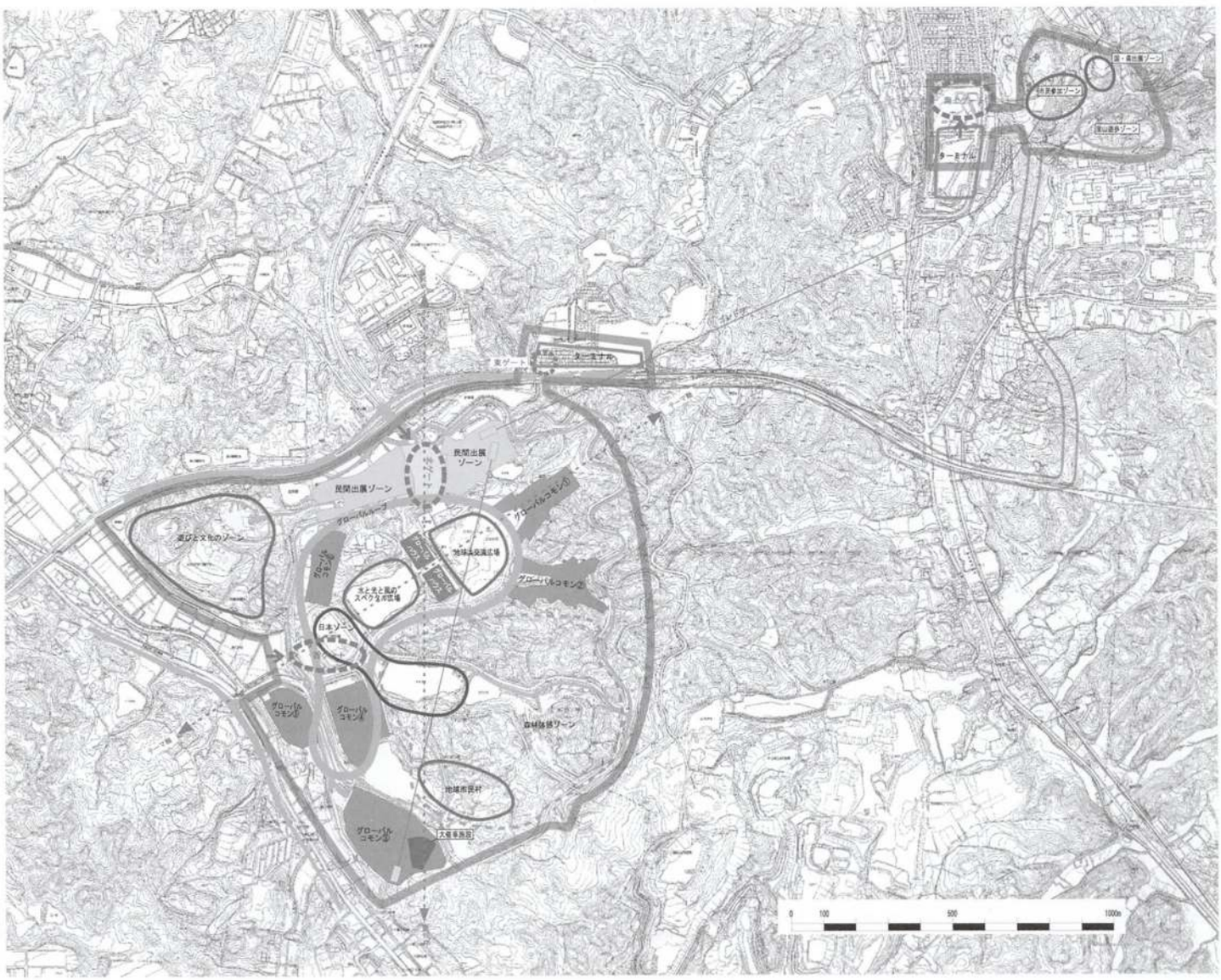
香流川に注ぐ谷地の入口と、海上地区を直線に結ぶと夏至の日の日の出の方向に一致する。海上地区と青少年公園地区を一体的な会場として構想する上で、この軸は重要な性格を有しており、愛知万博会場のテーマ軸と位置づける。また、青少年公園の正門入口は、青少年公園全体を展望でき、また会場全体への結節点となっていることから、この公園の最南端の野球場台地と結ぶ線を、愛知万博の交流軸として位置づける。

海上地区の施設配置の考え方

海上地区は、入退場口・管理機能を有する海上ゲートと、政府施設・愛知県施設が配置される国・県出展ゾーン、協会施設である市民交流プラザが配置される市民参加ゾーン、南地区を中心に自然を体感する里山遊歩ゾーンによって構成する。

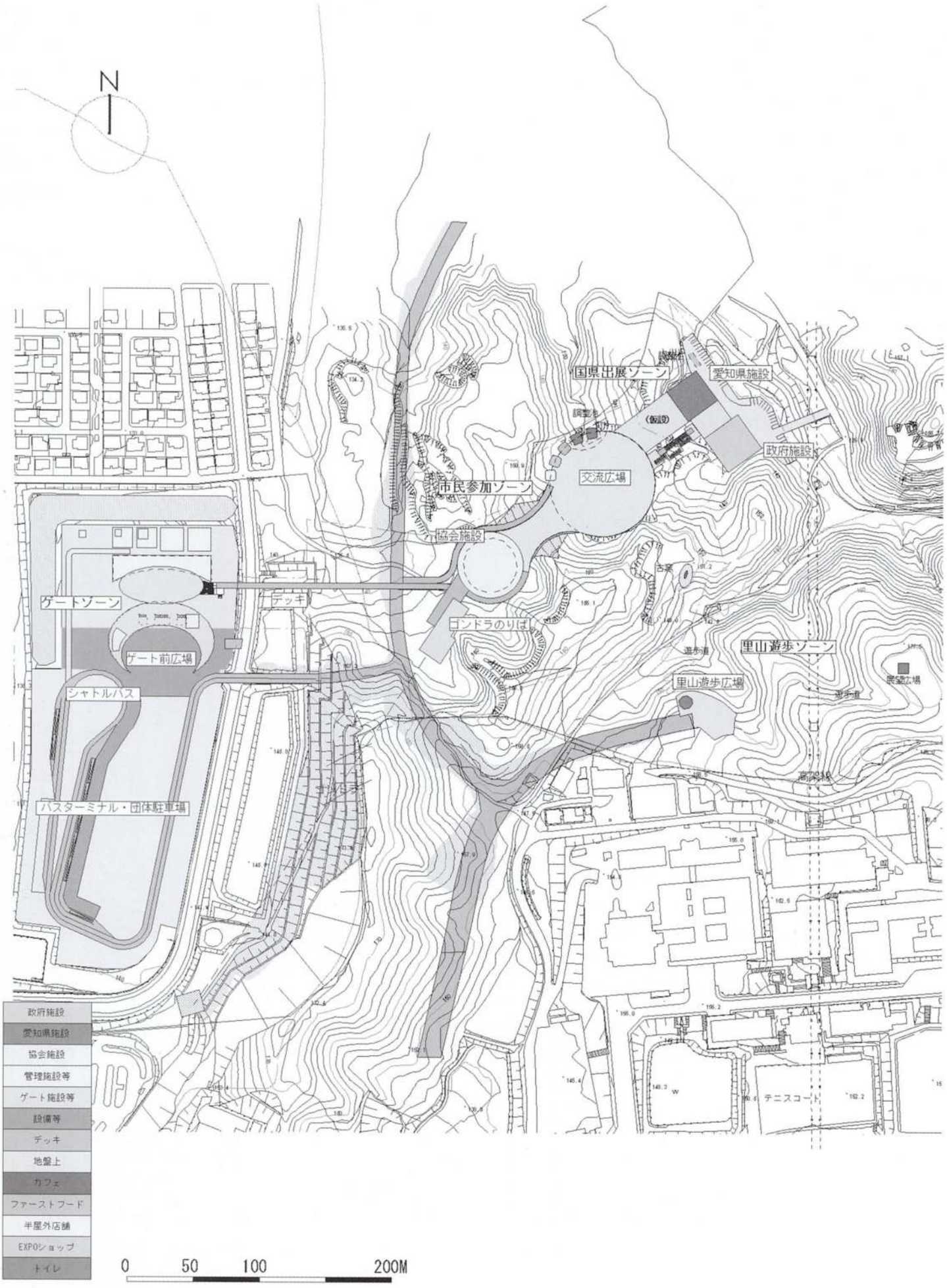
海上ゲートは、北側に既存住宅地（サンヒル上之山団地）が隣接していることから、バッファゾーンを十分に確保するとともに、展示・催事施設の配置は避けた。

市民参加ゾーン及び国・県出展ゾーンは、自然への影響を極力少なくするため、既存地勢を読み、緩斜面や裸地を中心に施設配置を行うなど、全面的な造成を行わない計画とし、また、政府施設・愛知県施設は恒久的利用を考慮し、将来のアプローチも視野に入れた計画とする。



16会場ゾーニング.pct

海上地区の施設配置計画



青少年公園地区の施設配置の考え方

青少年公園地区会場は、多様な観客輸送機関に対応して、東ゲート、北ゲート、西ゲートの３つのゲートを配置し、開場時における観客集中化の緩和に配慮した計画とする。

施設配置にあたっては、観客主要動線としての水平回廊であるグローバル・ループと、各国や国際機関の出展施設群と共有広場で構成する６つのグローバル・コモンを会場計画の基本骨格とする。

①グローバル・コモン

グローバル・コモン内に配置される各国や国際機関の展示施設は、モジュール形式（規格化された単位空間の組み合わせ）で計画し、プレファブ化による工事量の削減、工事工程の短縮、環境負荷の低減を図るとともにコストダウンを図るべく検討を進めていく。１モジュールは18m×18m×９m（高さ）とする。また、今後コモンそれぞれの演出に合った計画としていく。

②グローバル・ループ

グローバル・ループは、全長約2.5km、標準幅25mで会場をほぼ水平に一周できる空中の回廊であり、６つのグローバル・コモン及び各ゲート等主要な施設を結び、「地球大交流」を体験できる空間（観客主動線）とする。

このループの特徴としては、

・シンプルなループ構造により、会場の施設配置がわかりやすくなる。
・起伏のある会場でありながら、ほぼ水平に会場間を巡ることができる。
・ループによって主動線を確保することにより、大規模な新規造成を避け、環境への負荷を抑制できる。

などがあげられ、当該会場計画に採用した判断基準となっている。

また、会場のゾーン構成としては、以下のとおりである。

・センターゾーン……グローバル・ループに囲まれた中央部でかつ、テーマ軸と交流軸の交差する区域であり、既存施設である温水プール・アイスアリーナや大芝生広場、こいの池を含め、テーマ性のあるイベント空間とする。
・日本ゾーン……日本政府館、愛知・広域交流館、名古屋市館を配置し、日本のアイデンティティを表現する空間とする。
・民間出展ゾーン……民間企業等の一般参加者による出展ゾーン
・ゲートシティ……様々なサービス機能が複合した施設構成とする。
・森林体感ゾーン……自然環境への影響を抑えながら自然にかかわりの深い施設を配置する。
・遊びと文化のゾーン…既存施設である「愛知県児童総合センター」や「愛知国際児童年記念館」等を活用し、子供を中心に大人も体験楽習できる空間とする。

ランドスケープ計画としては、既存緑地をできるだけ残し、手を加えたところにおいても、極力自然が回復できるような植栽計画を検討していく。

供給処理計画

博覧会会場を運営していくため、エネルギーの安定供給、廃棄物等の適正処理を基本原則として供給処理施設を配置する。また、自然エネルギーや新エネルギーの実験的な導入も目指す。合わせて、期間限定の仮設設備であるため、建設・解体撤去による負荷を考慮し、博覧会閉会後のリユースやリサイクルなどに配慮した計画とする。

施設規模

屋内施設（建築物）面積

青少年公園地区

展示施設 94,000㎡	公式参加出展（外国） 政府館（日本館・テーマ館） 自治体館 協会事業・民間館（既存施設利用含む）	52,000㎡ 6,000㎡ 5,000㎡ 31,000㎡
催事施設 13,000㎡	大催事施設 小催事施設 コンベンション施設・ギャラリー	8,000㎡ 2,000㎡ 3,000㎡
管理・交流施設等 65,000㎡	管理・交流施設 営業施設 その他施設	39,300㎡ 15,000㎡ 10,400㎡
合計		172,000㎡
既存施設内面積		10,000㎡
合計（既存施設除く）		162,000㎡

海上地区

展示施設 9,000㎡	政府施設（国） 愛知県施設 協会施設	3,000㎡ 3,000㎡ 3,000㎡
その他施設 5,800㎡	管理施設等 営業施設	4,800㎡ 1,000㎡
合計		14,800㎡

ループ等

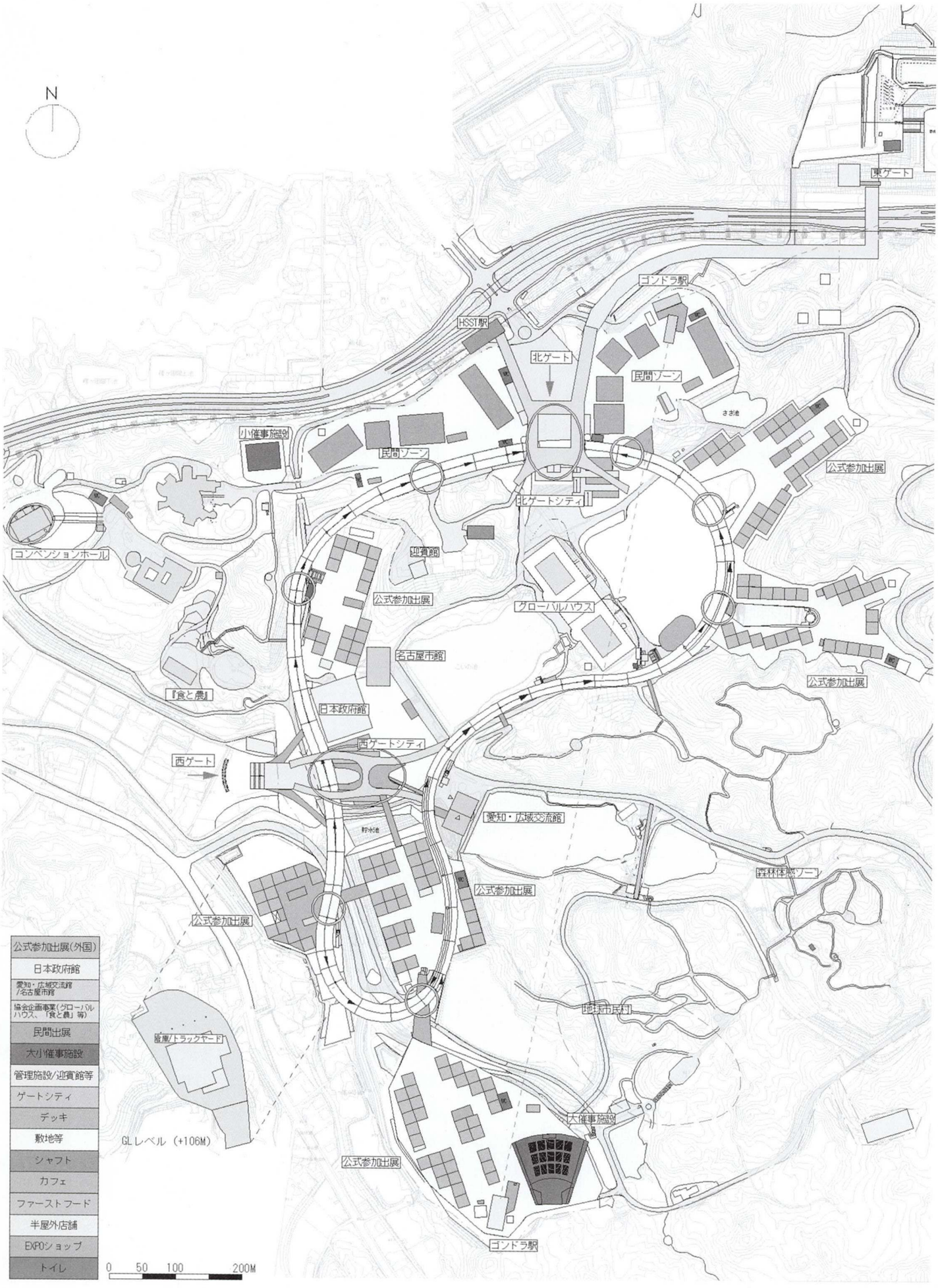
ループ等	80,200㎡
合計	80,200㎡

あとがき

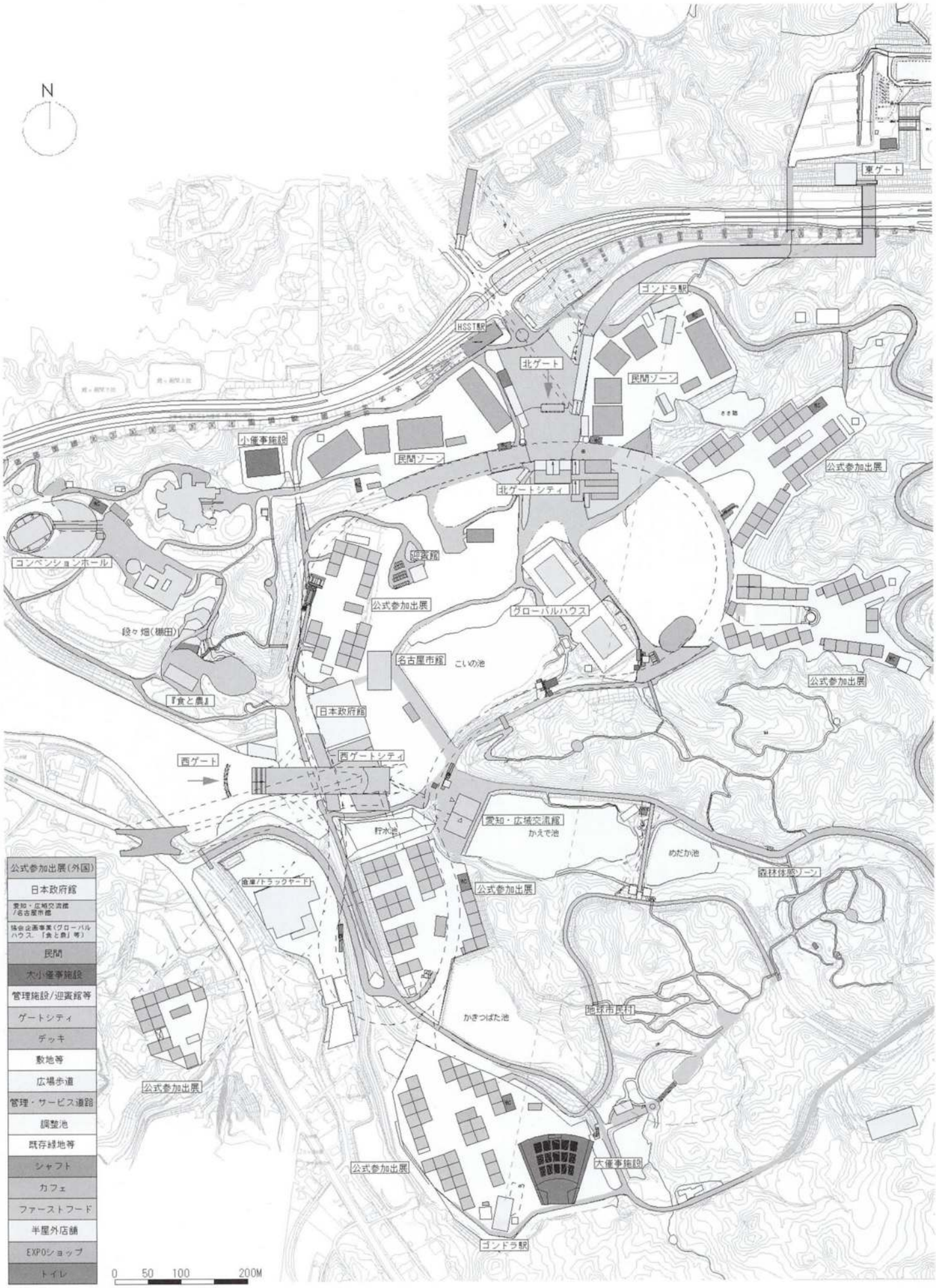
愛知万博の会場予定地は、誘致段階の基本構想から、97年10月23日の協会設立以降においても、紆余曲折を経てきた経緯がある。これは海上の森や青少年公園における自然環境の保護と、開発の姿勢に根ざす部分が大きいといえる。自然保護を求める人々と開発を行おうとする人々の相容れない考えによるものである。しかし、まだまだわだかまりが拭えた訳ではないものの、ここに来てやっと両者各々の極限での合意のもと、基本計画を策定公表することができた。今後、基本設計、実施設計の段階に入っていくことになるが、これからも各々の立場を尊重して事業を推進していく必要がある。

（うら　よしあき／㈶2005年日本国際博覧会協会会場整備グループ課長）

青少年公園地区の施設配置計画（ループレベル）



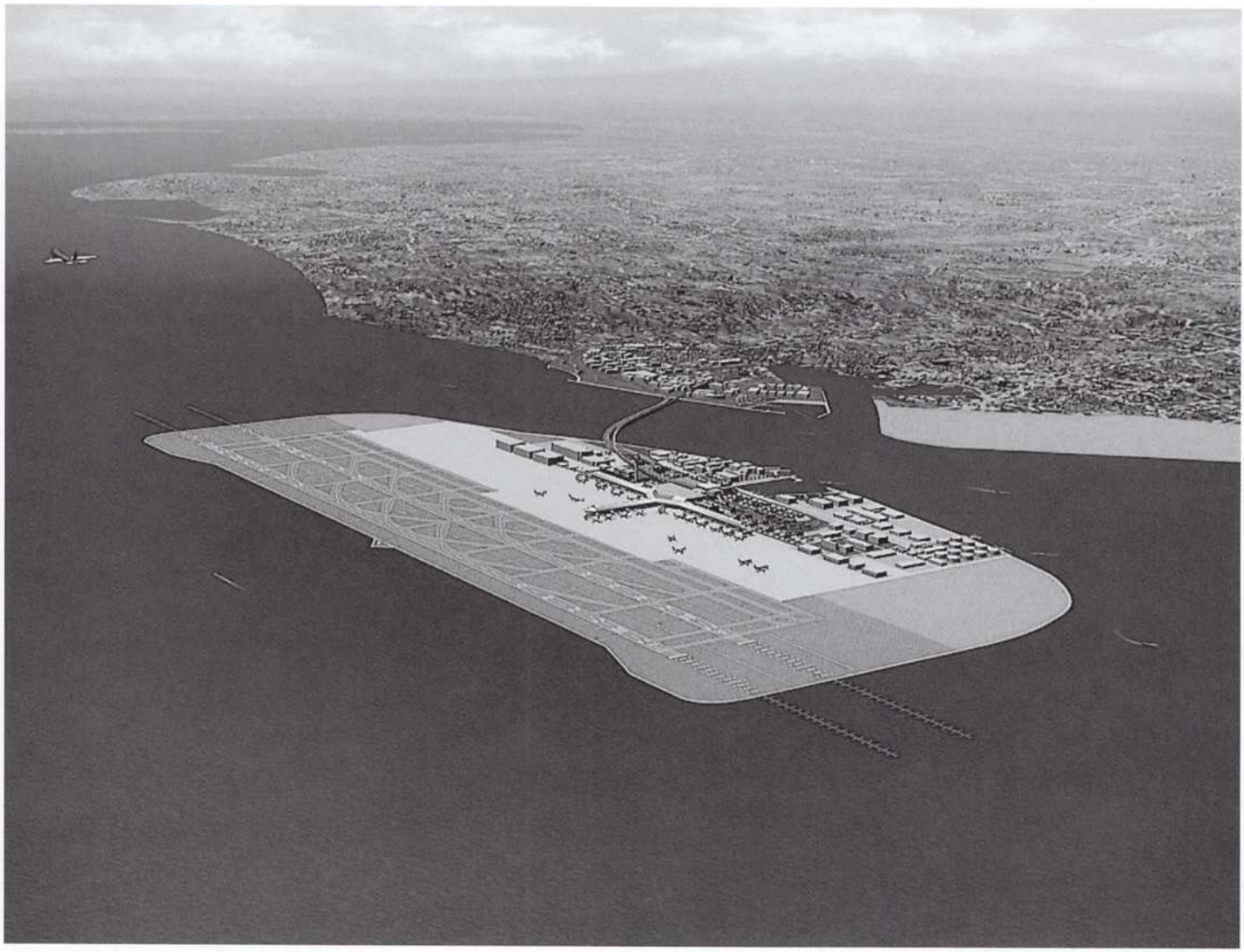
青少年公園地区施設配置計画（地上レベル）

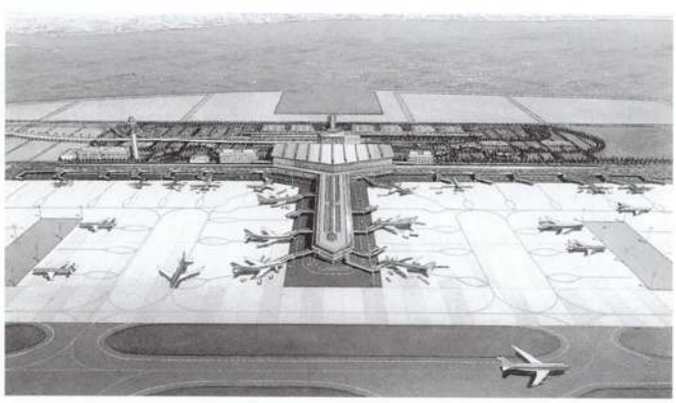


●愛知／世界的な交流・創造の拠点となる愛知づくり●

中部国際空港―セントレア

愛知県企画振興部航空対策課





第Ⅰ期計画

位　　置　名古屋市の南約35kmの伊勢湾東部（常滑沖）の海上
（名古屋都心から鉄道で約30分、道路で30～40分）

面　　積　約470ha
名古屋空港（防衛庁管理部分を除いた民間航空部分）の約2.2倍で、関空の約510haよりは少し狭いが、企業庁用地を含めた空港島全体面積は、約580haとなる

滑 走 路　3,500m１本

運用時間　24時間

開港時期　2005年３月

事業主体　中部国際空港株式会社

事 業 費　7,680億円

将来構想（事業化の時期は未定）

面　　積　約700ha

滑 走 路　4,000m２本

経緯

中部地域における国際空港建設の構想は、昭和40年代初めにさかのぼりますが、取組みが本格化するのは昭和60年代に入ってからのことです。昭和60年12月に、運輸大臣の許可を得て、岐阜、愛知、三重の三県と名古屋市及び地元経済界の協力により「財団法人中部空港調査会」が設立され、本格的な調査がスタートしました。

空港建設候補地については、東海三県の陸上・海上の全域を対象に調査を実施した結果、伊勢湾東部・西部・北部と三河湾の４つの地域がピックアップされ、平成元年３月、三県一市の首長懇談会において、伊勢湾東部の海上、常滑沖を候補地とすることで合意されました。

平成３年11月、中部国際空港は、第６次空港整備五箇年計画において、調査実施空港として総合的な調査を進めることが閣議決定され、平成４年から国と地域が協力して、総合的な調査が始められました。

平成８年12月には、中部国際空港は、第７次空港整備五箇年計画において、成田・関西空港と並ぶ国際拠点空港として事業の推進を図ることが位置づけられました。

国の平成10年度予算において、中部国際空港の事業化が認められた結果、平成10年５月、空港の設置・管理の主体となる「中部国際空港株式会社」が設立され、平成12年８月には、同社が空港の護岸工事に着手しました。

必要性

現在、中部圏の空の玄関口である名古屋空港は、名古屋市近郊の市街地にあり拡張が困難であることに加え、自衛隊機や小型自家用機などの利用もあり、今後増加していく航空需要に対応していくことが難しい状況です。また、周辺地域への航空機騒音の影響を考え、夜間と早朝のダイヤが設定されていないため、十分な国際空港機能を発揮していくことができないのが現状です。

さらに、航空貨物については、中部地域で生産・消費される物資の多くが成田空港、関西空港を経由しているのが現状です。これは、成田などへの物流ルートができあがっているということもありますが、名古屋空港の制約もその要因です。

具体的には、滑走路が短く遠隔地への路線が設けられていないこと、夜間の離発着ができないこと、荷捌き場が狭いことなどが挙げられます。

このようなことから、将来の中部地域のニーズに対応可能な中部国際空港の誕生が期待されています。

主な特徴

・国際線・国内線の定期路線が一元化され、かつ鉄道・道路・海上のアクセスを備えた、国内・国際線の乗り継ぎが便利でアクセスに優れた24時間空港として整備します。

・2005年３月の開港後は、航空輸送の動向に応じ、逐次施設の拡張を図っていくこととしており、例えば、旅客ターミナルビルは、開港時には、1,700万人対応の施設規模ですが、将来の需要に合わせて拡張可能なモジュール化構造となっています。

・空港島や対岸部では、空港の建設に併せて、地域開発用地が埋め立て造成され、流通やビジネス、交通など、空港を支援し、活用する機能を計画的に整備していきます。

・海水の流れへの影響を抑えることから、空港島の形状に曲線を取り入れるなど、環境に配慮した空港になります。

・中部国際空港株式会社は、商法上の株式会社であり、「中部国際空港の設置及び管理に関する法律」によって運輸大臣から事業主体として指定されています。

これは指定法人方式と呼ばれて、成田空港の公団方式や関西空港の特殊会社方式とも異なるものとなっています。なお、同社は、民間会社からの出資が50%を占めており、民間色の強い性格を帯びているといえます。

展望

21世紀は、経済、社会、文化といった私たちの生活をとりまくあらゆる活動が、諸外国との活発な交流を通じて繰り広げられると予想されています。こうした中で、空港は、人やモノ、さらには情報の世界的な交流を支える重要な社会基盤として、その役割を飛躍的に増大させるものと考えられます。

中部圏の新しいゲートウェイとしての中部国際空港が、21世紀にふさわしい、地域とともに繁栄できる空港となるよう取り組んでいきます。

中部国際空港旅客ターミナルビル計画

赤司博之

旅客ターミナルビル設計の経緯

愛知県知多半島の西側、伊勢湾の常滑沖約３㎞の海上に新しい空港島がその姿をあらわし始めています。

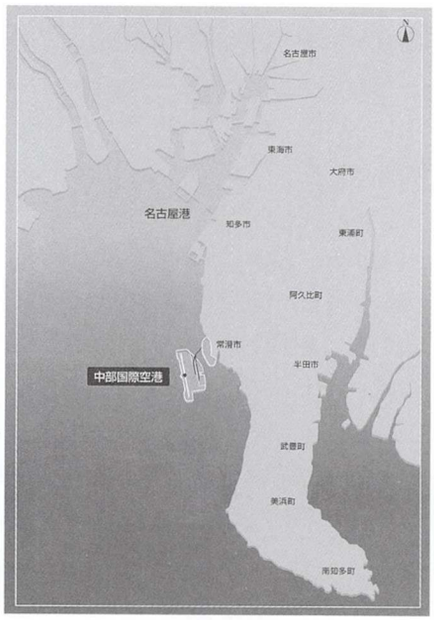
2002年８月に始まった空港島の埋立工事は急ピッチで進められ、2001年１月には旅客ターミナルビル周辺の第１次の埋立が完了して、いよいよ旅客ターミナルビルの工事が着工しました。

旅客ターミナルビルの設計は1998年11月に日建設計ほか３社による共同企業体による旅客ターミナル地区基本計画調査の技術提案から始まりました。

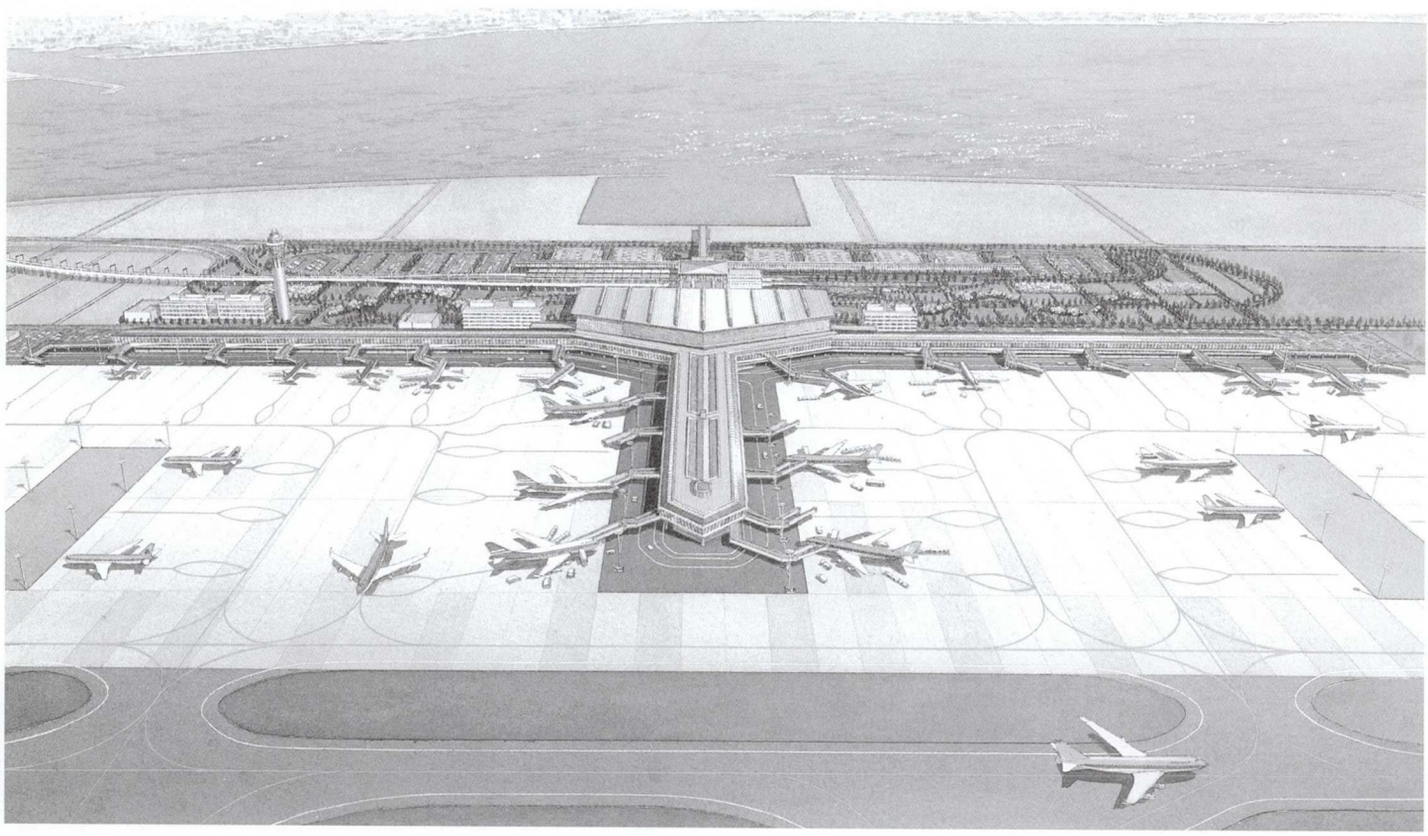
その後1999年10月には基本設計を開始し、2000年11月から2001年12月には実施設計を行いました。設計では「ユーザーフレンドリーでシンプルなターミナル」をキーワードとして、分かり易さ・使いやすさの追求とシンプルでコンパクトなターミナルビルとすることと同時に、環境への配慮や魅力的で楽しいターミナルを目指しています。設計の中で特徴的なことのなかに、基本設計期間中に３回にわたるVEワークショップを行ったことが挙げられます。

条件確認、規模設定、仕様設定等の各段階で、設計JV内でのコールドチームを編成してのVEワークショップによる確認整理は、単なるコスト縮減にむけての検討だけでなく、空港島という特殊条件での問題点の抽出など広範囲にわたる問題整理に役立ちました。

また基本設計、実施設計にかけて空港会社の呼びかけで発足したユニバーサルデザイン研究会での検討があります。各種の障害者団体の皆様をはじめ、航空行政当局、交通バリアフリー協議会、航空会社等の他、学識経験者の方々に参加していただいたこの研究会で、分かり易さ・使いやすさを実効ある計画とする為の検証を行いました。このユニバーサルデザイン研究会は工事段階においても継続して行う予定になっています。



位置図


旅客ターミナルビル鳥瞰

わかり易く、使いやすいターミナルを目指して

国際・国内一体のコンパクトなターミナル

旅客ターミナルビルは第１期の計画規模として年間旅客数1,700万人（国際線700万人、国内線1,000万人）を取り扱う施設として計画されました。

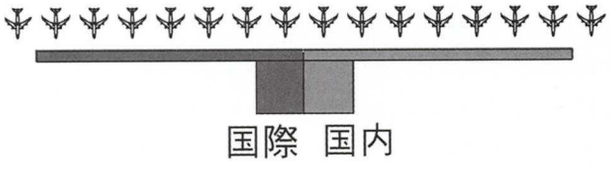
中部国際空港のターミナルコンセプトはフロンタル形式の中央に一本のピアを設けた形式「フロンタル＋ピア」としました。

フロンタル形式は国内外の空港でよく用いられる形式で、道路側から航空機までを直線的な短距離で結ぶことが特徴ですが、規模が大きくなりコンコースが延びていくと歩行距離が伸びていくため、関西国際空港のように新交通システムなどの旅客輸送手段が必要になります。

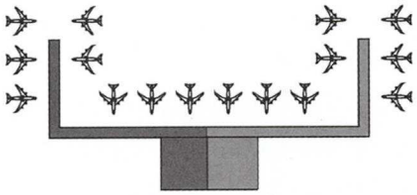
敷地に奥行きが取れるときには、フィンガー形式があります。那覇空港などに例を見ることができます。この形式も規模が大きくなると歩行距離が増大しますし、スポットが多くなりフィンガーが長くなると、その間の航空機の地上走行が混雑して制限がかかるようになります。

中部国際空港では国際線と国内線を一体化し、歩行距離を均等化して新交通システムに頼らずにすみ、航空機の地上走行にも配慮した結果「逆Ｔ字型」のターミナルビルとしました。中部国際空港の規模にあったコンパクトな形式になったと考えています。

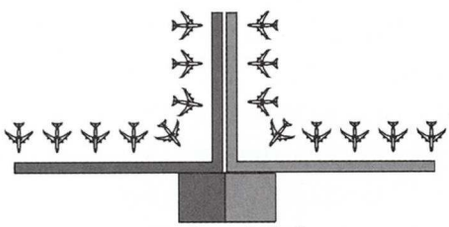
南北に延びたウイングのランドサイド（道路側）にはスポット（駐機場）を設けていません。これは将来の拡張工事の際、航空機のオペレーションに支障の無い様に、道路側からの工事が出来ることに配慮した為です。



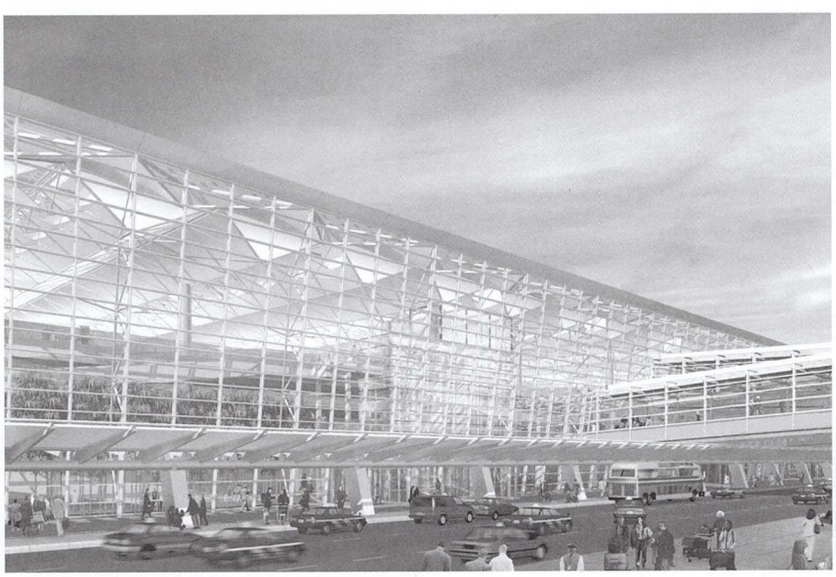
フロンタル方式



フィンガー方式



フロンタル＋ピア方式


カーブサイド


エントリーガーデン

シンプルな施設構成と明快な動線

中部国際空港は都心からの距離が約35㎞で成田や関空に比べて都心に近いのが特徴ですが、航空機の定時性の確保という観点からは、鉄道とのリンクが不可欠です。

旅客ターミナルビル計画では、旅客の約半数が鉄道を利用される事が想定されており、鉄道とのスムースな連絡が重要な課題のひとつと考えました。

旅客ターミナルビルは、３階を出発階、２階を到着階とする単純な２層構成です。旅客動線は空港島に地上９ｍの高架で入ってくる鉄等駅を頭端駅として出発階と到着階をスロープで結び、ここからはレベルチェンジの無い明快な計画です。出発旅客は３階のチェックインロビーで出発の手続きを済ませゲートラウンジへ入ります。ゲートラウンジから航空機へはスロープを通って搭乗します。

到着旅客は航空機から同じ階である２階に入り、マルチアクセスターミナル（MAT）までは同じレベルでの移動となります。

車でこられた出発旅客は、１階のカーブサイドからビルに入りエスカレーター、エレベーター、緩傾斜の動く歩道などによって３階の出発階へ上がります。

１階にはこれらの出発用動線のほかは修学旅行などの団体待合ロビーがありますが、その他は機械室やスタッフ用の部屋を設けることができたため、地下の無いシンプルな階構成となっています。

アクセス交通との結節点・マルチアクセスターミナル

中部国際空港の特徴のひとつにマルチアクセスターミナル（MAT）があります。

MATは地上交通の結節点としてしての機能だけでなく、海上アクセスから旅客ターミナルビルに至る人の動線軸の中心に位置し、これらのすべての動線がプロムナードによってシームレスに連絡されることを意図しています。

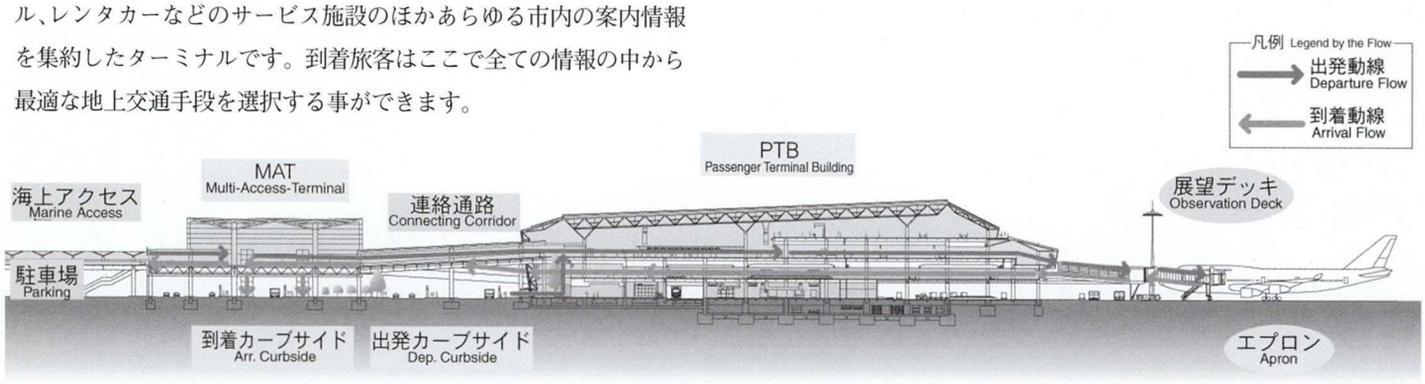
MATの中心部にはアクセスプラザと呼ぶ情報ターミナルを設ける計画です。これは鉄道、バスなどの地上交通機関の情報やホテル、レンタカーなどのサービス施設のほかあらゆる市内の案内情報を集約したターミナルです。到着旅客はここで全ての情報の中から最適な地上交通手段を選択する事ができます。



チェックインロビー



アクセスプラザ



断面図

楽しく魅力ある空港へ

センターピアとセンターピアガーデン

旅客ターミナルビル４階の店舗階中央部には約2,000㎡のセンタープラザという広場を計画しました。ここでは、店舗やセンターピア屋上の展望デッキと一体となった利用や様々なイベントによって来港者に楽しんでいただくとともに、集客の目玉となる仕掛けが検討されています。また、旅客ターミナルビルでは、他では味わえない空港のスケールを感じていただく事と、世界からの旅客や航空機が創りだす情景を最大限生かしたいと考えました。

滑走路の間近まで突き出たセンターピアからの航空機の離発着風景、伊勢湾を通して遠望できる対岸部の風景と美しい夕日、このロケーションを楽しんでいただくようにセンターピアの屋上は、４階の店舗街中央部のセンタープラザから連続する展望デッキとし、先端には展望ラウンジを設けました。

また、中央部のセンターピアガーデンとは回遊性のある動線で結びました。このガーデンは、国際､国内双方の緩衝帯としての役割を持たせながら雨の日には３階の出発ロビーから直接センターピアガーデンを通って先端のラウンジへ行くけることで地域の方々の様々な利用とともに、来港者との交流の場としても利用されることでしょう。

高い機能性と「和」の空間

中部国際空港旅客ターミナルビルは、新しい世紀にふさわしいゲートウエイとして最新の空港機能を備えながら、現代の技術と伝統文化を生かした「新しい和」を表現することで、中部国際空港のアイデンテイテイを創出します。折り紙のように一枚の平面から様々な形を生み出す造形表現は、直線美の持つ簡潔さ、力強さ、効率の良さから、機能がそのまま美しいデザインとなるハイテク技術にも通じるものが有ります。

チェックインロビーやゲートラウンジのような大空間の天井は、直線的な構造材と、構造材によって構成される面を平面によって構成し、この面が、天井としての機能“吸音”、“光の反射板”の役割を果たします。また、障子や格子などによって、トップライトやハイサイドの光を柔らかく取り入れ、緑を配し、無機的になりがちな大空間を心和む柔らかい雰囲気に仕立て、和やかで親しみのある空間を計画しました。内装は、素材や色彩で「和」の表情を創るとともに、世界の人々をお迎えするターミナルに相応しく、簡素な中に華やかさを持つ印象的なしつらえとなるよう検討しています。



センタープラザ

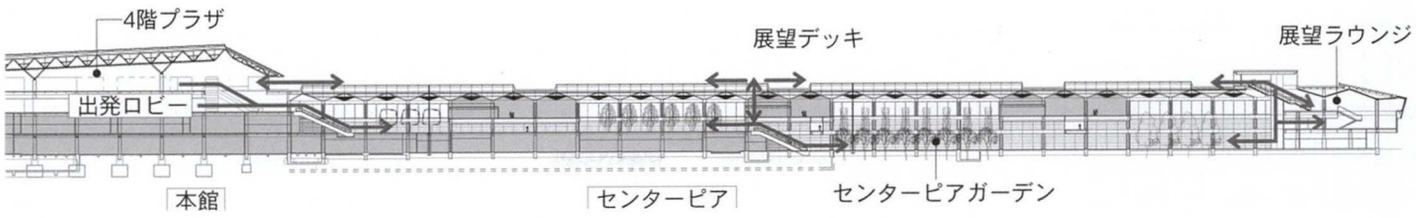


ゲートラウンジ

建築概要

建 設 地	愛知県名古屋市の南約35㎞、常滑市沖合約３㎞の伊勢湾海上
建物規模	地上４階建　延床面積約22万㎡
開港目標	2005年３月
共同設計	日建・梓・HOK・アラップ
	旅客ターミナルビル実施設計共同企業体

（あかし　ひろゆき／㈱日建設計名古屋設計室長）



センターピア断面図

●名古屋／名古屋市・中心市街地活性化基本計画がめざすもの●

名古屋市における市街地再開発事業

名古屋市住宅都市局都市計画課

はじめに

名古屋市は、戦災で消失した都心部を中心に大規模な戦災復興土地区画整理事業を敢行して、全国に誇りうる市街地の形成に努めてきたところであり、これまで順調に発展を遂げてきた。ここでは、現在進められているおもな再開発事業を紹介させていただくことによって、本市での市街地整備の取組み状況を把握していただきたいと思う。

新世紀計画2010と都市計画マスタープラン

平成12年９月にこれまでの本市の総合計画であった「名古屋市新基本計画」を改訂した「名古屋新世紀計画2010」を策定し公表した。これは平成22年度までを計画期間とした21世紀のまちづくりの指針となるもので、生活、環境、文化、産業のすべての分野にわたって調和のとれた、「誇りと愛着の持てるまち・名古屋」をめざすものである。その中で、名古屋がめざす８つの都市像を掲げており、たとえば、にぎわい創造都市、国際交流都市などについて都市のイメージや先導的プロジェクトを掲載している。

一方、平成４年の都市計画法改正によって、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」を策定することが盛り込まれたことから、本市では総合計画の改訂に合わせて策定作業を進め、名古屋市都市計画審議会への諮問・答申を経て、平成13年10月に「まちづくりの基本方針～名古屋市都市計画マスタープラン～」として公表したところである。

構成は、将来の都市像、土地利用の方針、都市整備に関連する計画、地域別（行政区別）の将来構想からなっている。

都心部での市街地再開発事業

市内における市街地再開発事業の実績はそれほど多い訳ではないが、市の中心部でこれまでに完了したものとしては市施行の小鳥町地区（旧法）と泥江地区、市住宅供給公社施行の浄心地区、および住宅・都市整備公団（現、都市基盤整備公団）施行の丸の内地区と池下地区がある。また、現在事業認可済みの地区としては、同公団施行の千種駅南地区と組合施行の大須30番地区および牛島南地区があり、都市計画決定済みの地区としては、納屋橋西地区と栄三丁目６番地区がある。以下には、組合および個人施行の３つの事業の概要を示すこととしたい。

大須30番第一種市街地再開発事業＜第１地区は組合施行、第２地区は個人施行＞

都市計画決定：平成11年12月１日

面積：約0.7ha、指定容積率は、高度利用地区の指定によって50%増の650%となっている。このうち、第１地区は敷地面積約2,200㎡、第２地区は約2,800㎡で、第１地区には地上12階、地下１階、延べ床面積約14,800㎡の商業・業務、住宅ビルが、第２地区には地上９階、地下１階、延べ床面積約22,200㎡の商業・業務ビルが計画されている。また、駐車台数は約390台である。

この地区は、万松寺の門前を中心にパソコンや家電製品の店舗などが並んで賑わいを見せているが、大須の入り口に中華街をビル内に含んだ新たなスポットが誕生することによって、更に魅力的な地区へとなることが期待されている。

牛島南第一種市街地再開発事業＜組合施行＞

都市計画決定：平成12年12月５日

面積：約2.1ha、指定容積率は、再開発地区計画の決定によって、基準容積率の500%から310%増の810%となっている。敷地面積は約14,000㎡で地上40階、地下３階、延べ床面積約137,300㎡、高さ約180mのオフィスを主体とした超高層棟のほかに超高圧変電所、駐車場などが計画されている。また、駐車台数は約410台である。

この地区の特徴は、再開発事業の要件として高度利用地区内ではなく、再開発地区計画の区域内であることで、市内でははじめての事例となっている。再開発地区計画での主要な公共施設（いわゆる２号施設）としては、地区幹線道路のほか、延長約290mの地下歩行者用通路があり、これによって地下鉄東山線の名古屋駅コンコースと直接結ばれることになる。

この地区は名古屋駅から至近の距離にありながら、これまで駐車場など低利用な状態であったため、地権者による再開発協議会が平成２年度に発足し、高度利用に向けて検討が続けられてきたものである。この再開発によって約11万㎡のオフィス床が供給されることになり、名駅地区の業務機能が一層集積することになるうえに、駅から北方向の地区のポテンシャル向上にも寄与するものと思われる。

栄三丁目６番第一種市街地再開発事業＜組合施行＞

都市計画決定：平成13年11月30日

面積：約1.1ha、指定容積率は、高度利用地区の指定により基準容積率の800%から100%増の900%となっている。敷地面積は約5,400㎡で、地上12階、地下４階、延べ床面積約68,900㎡の商業・業務ビルが計画されている。また、駐車台数は約280台である。

商業床はこの街区のすぐ北側に隣接する名古屋三越が一括して使用する計画で、連絡通路により、上空２箇所と地下１箇所で結ばれる予定となっている。

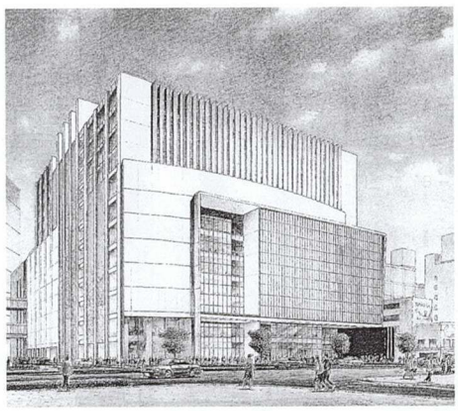
この再開発によって、これまで主に駐車場として使われていた土地が集約され高度利用されることになり、南大津通側、久屋大通側ともに市街地景観の向上が図られるうえに、両側歩道から車の出入



大須30番第１地区再開発完成予想図



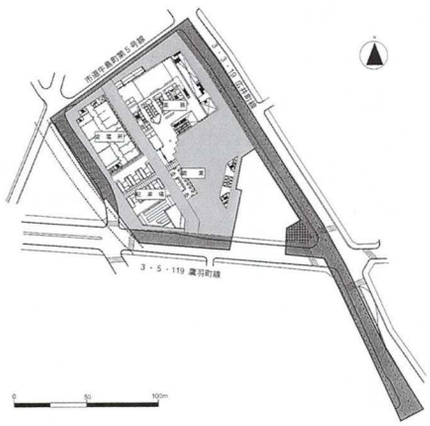
建物完成予想図



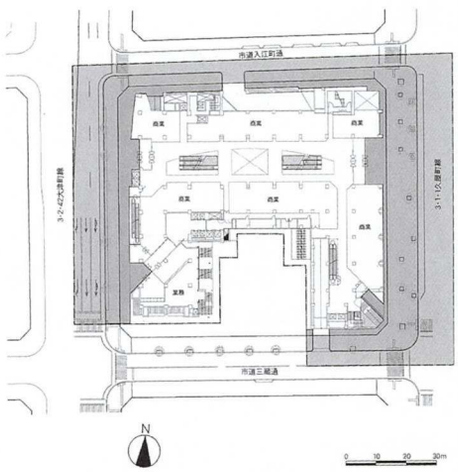
建物完成予想図



大須30番第２地区再開発完成予想図



牛島南地区再開発整備計画図



栄三丁目６番地区再開発整備計画図

りがなくなることによって歩行者空間の連続性も向上するものと思われる。

市施行の市街地再開発事業

現在、市施行で事業中の再開発事業は４箇所で、日比野地区（約1.9ha）、小幡駅前地区（約1.2ha）、鳴海駅前地区（約3.2ha）それに有松駅前地区（約3.2ha）がある。いずれの地区も公共施設の整備と一体となった市街地の整備を目指している。

熱田区の地下鉄日比野駅前で実施中の日比野地区では、都市計画道路の江川線と西町線の拡幅と３街区の整備を進めており、A街区のうち住宅棟とB街区が完成している。

守山区の名鉄小幡駅前の再開発では、駅前広場の整備とあわせて３街区の整備をほぼ完了している。守山区文化小劇場や在宅サービスセンターのほか、店舗、住宅、立体駐車場などが整備され、同時に駅舎の橋上駅化も完成している。

緑区の名鉄鳴海駅前の再開発では、名鉄名古屋本線の連続立体交差事業と歩調を合わせて駅前広場の整備と４街区の整備を進めることとしており、現在、先行するD街区の整備に向け準備中である。

また、同じく名鉄有松駅前の再開発では、駅前広場の整備とあわせて商業棟と住宅棟を整備する計画で現在商業棟の建築中であるが、キーテナントに決定していたマイカルの破綻の影響を受け、その対応に苦慮しているところである。

おわりに

土地神話が崩壊し、資産価値の減少に歯止めがかからない状況の中で再開発事業を進めていくことは困難ではあるが、市内ではこれまで実施例がなかった民間の組合施行による再開発事業が具体化し、動き出してきたことは心強い限りである。今後のまちづくりは、行政と企業、市民のパートナーシップがますます重要な役割を担うことになると考えられることから、お互いの意思疎通を十分に図るとともに創意工夫を重ねることによって後世に誇りうる良好な市街地の形成に努めていきたいと思う。

●名古屋／名古屋市・中心市街地活性化基本計画がめざすもの●

名古屋市の中心市街地活性化推進について

名古屋市市民経済局産業部地域商業課

はじめに

中心市街地は、商業・業務、交通、居住等の都市機能が相当程度集積し、都市全体の発展や地域の発展を実現する上で重要な地域であるとともに、新たな事業シーズを生み出す新規事業の苗床としての役割を担っています。このような中心市街地について活性化を図る目的で、平成10年７月、中心市街地活性化法が施行されました。

この法律に基づいて、名古屋市では学識経験者、商業者、市民活動、関係団体から構成される基本計画策定委員会を設置し、平成13年５月に「名古屋市中心市街地活性化基本計画」を策定しました。

基本計画の内容

この基本計画では、計画期間は平成13年度から平成22年度までの10年間、位置及び区域は「名古屋新世紀計画2010」で位置づけられた「都心核」を、様々なデータや市民アンケート等を基に総合的に判断して、下図のような区域で、面積は約580haです。

2005年には日本国際博覧会の開催や中部国際空港の開港が予定されており、今後、世界各国や国内各地から多くのビジターが名古屋を訪れ、名古屋の都心において活発な交流が行われることが想定されます。そのため、名古屋の都心においては、国内外に情報を発信し、広域的な交流を促進し、都市の魅力や賑わいを新たな都市の活力に結びつけるために、全体目標を「世界に誇る交流都心　～名古屋まちなかルネッサンス～」として、「にぎわう回廊」、「おしゃれな街角」、「心ときめくまち」の三つのまちづくりの視点で活気とにぎわい・魅力に溢れた中心市街地を創りあげていきます。

「世界に誇る交流都心」を目指す本市の中心市街地は、栄周辺と名古屋駅周辺を「賑わいの核」とし、この２つの地区を繋ぐ広小路通及び錦通を「賑わいの軸」として、これらを骨格としたまちづくりを進めます。

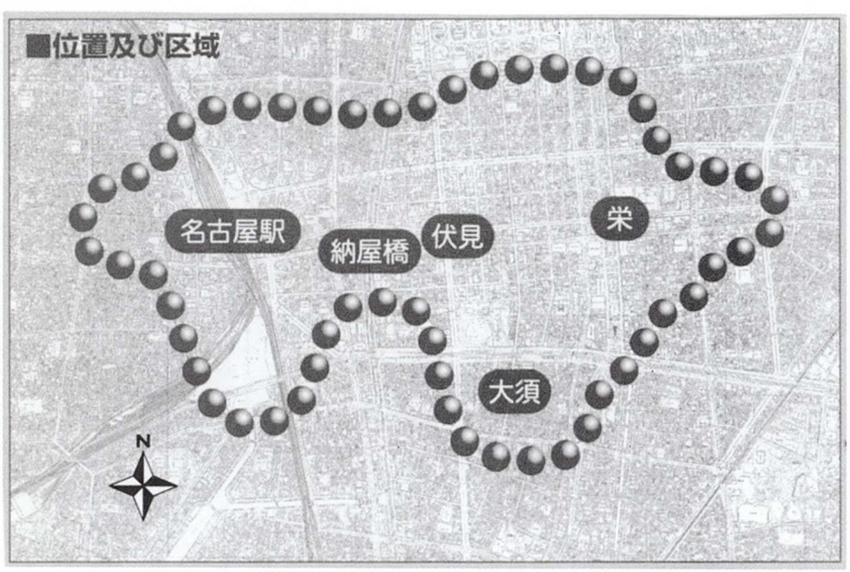
この事業を具体的に進めるために、市街地の整備改善に関する事業については、「ビルの低層部の店舗化誘導」、「近代建築物の保存活用」、「個性ある都市景観づくり」を始めとする18の事業が、商業等の活性化に関する事業では、「名古屋シティブランドの育成」、「ビル低層部への商業・サービス業系店舗の誘致」、「回遊ルートづくりの推進とPR」などの14の事業が、事業主体や実施期間を区分して、アクションプログラムとして掲げてあります。

基本計画に掲げられた「市街地の整備改善」「商業等の活性化」に関する各種事業の中には、名古屋市が実施主体となる事業のほか、民間事業者が事業主体になるもの、TMO（まちづくり機関）、NPO（非営利団体）が実施主体になるものなどが数多く含まれており、これらの事業を一体的に推進するにあたっては、市民・企業・行政などがパートナーシップを組み、それぞれが主体性を持ってまちづくりを進めることとしています。

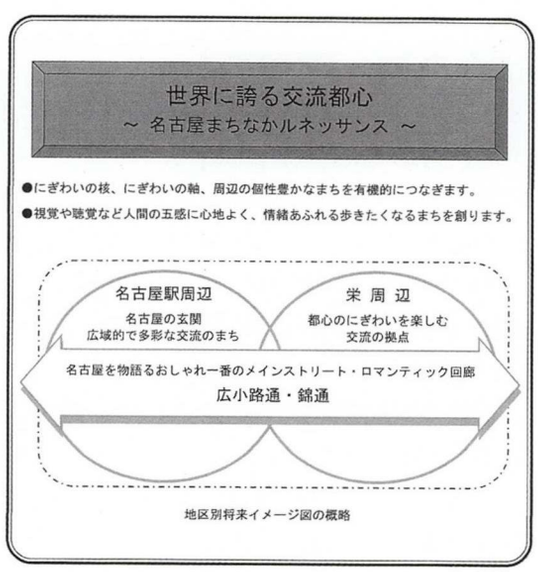
（基本計画の概要版と全文(PDF)を掲載　http://www.city.nagoya.jp）

活性化の取り組み状況

この基本計画に掲げた事業を具体的に推進するために、平成13年７月、学識経験者、企業、商店街、市民代表、行政からなる「名古屋市中心市街地活性化推進協議会」を設置し、その下に実務的な役



位置及び区域



中心市街地の将来構想

割を担う「活性化推進部会」と市役所内の関係各課から構成される「連絡調整部会」を設置しました。

平成13年度は、基本計画を広く市民に周知し、中心市街地の活性化に対する市民意識の醸成を図るため、「市民シンポジウム」と「広ブライベント」を10月に開催しました。

市民シンポジウムには、募集人数を大きく上回る参加があり、中心市街地の活性化に関する市民や関係者の関心の高さを実感するとともに、基調講演でのビル１階の店舗化の成功事例の報告には特に注目が集まりました。あわせて、基本計画をビジュアルにした市民向けパンフレットの作成・配布を行い、市民・関係者に基本計画の趣旨を周知させ、中心市街地活性化に関する意識の高揚を図りました。

一方、広ブライベントとして、広小路通沿いのビルの公開空地４カ所を街角コンサートやオープンカフェなどに活用して賑わいの連続性や回遊性を創出するために実験的な取り組みを行い、多くの市民の参加を得て好評を博しました。都心に多く立地するビルの公開空地の活用方法を市民アンケートの結果を踏まえて、課題を整理しながら今後の事業推進に生かしていきます。

また、広小路通沿いの銀行や商社のビルの１階に外資系のカフェが出店するなどビルの１階部分の店舗化が進んでいますが、これを更に推進するため、金融機関やビルの所有者などを対象とした説明会を開催したり、道路上の標識類の多国語の標記や図記号等の見直しを図るための検討会を設置するなど、中心市街地の活性化に向けて、着実に進めております。

今後の展開

平成14年度も引き続き「名古屋市中心市街地活性化推進協議会」が中心市街地活性化に関する連絡調整や、実験的なイベントを実施していくなど、市民・関係者の意識の醸成を図っていきます。

平成14年１月には、この基本計画に協力して、都市景観重要建築物の銀行の跡地が貨幣資料館としてオープンするのを始め、堀川沿いの旧シャム領事館の活用の検討が進められるなど、今後も、中心市街地の近代建築物の保存活用を積極的に推進していきます。

また、昨年、堀川周辺では、桟橋の「ピア納屋橋」が完成し、掘川に面した巨大な飲食ビルのコンプレックスがオープンするなど、このエリアは名古屋の新たな人気スポットになりつつありますが、都心の貴重な地域資源である川を活かしながら、広小路通の賑わいの連続性を推進していきます。

基本計画に掲げられている商業等の活性化に関する様々な事業メニューの推進を強力に進めるには、企画・調整や事業推進の役割を担っていくTMO（まちづくり機関）の設立が求められております。現在、名古屋商工会議所が進めている「TMO構想」の策定に名古屋市職員も参画し、TMO設立に向けて名古屋市も積極的に支援していきます。

2005年の日本国際博覧会の開催、中部国際空港の開港に睨んだ短期・中期の中心市街地の活性化事業にフォーカスし、企業、商店街、NPOなどとパートナーシップを組みながら、今後とも、中心市街地の活性化を積極的に推進していきます。



広ブライベント（公開空地で街角コンサート）

＊「広ブラ」：大正から昭和初期にかけて、流行のカフェや映画館目当てに若者がぶらぶらと広小路通を歩く様子



銀行の１階店舗化

●名古屋／名古屋市・中心市街地活性化基本企画がめざすもの●

栄公園地区広場ゾーン（オアシス 21）の整備について

名古屋市住宅都市局開発調整部拠点開発推進室

栄公園地区（広場ゾーン）の再整備計画は、旧栄公園に隣接する愛知県文化会館と旧NHK名古屋放送会館の老朽化と施設拡充のための建替え計画を機に、昭和61年４月、両施設と旧栄公園の敷地を入れ替えて、それぞれ「広場ゾーン」、「文化施設ゾーン」として再整備する構想が名古屋市、愛知県、NHKの間で覚書として結ばれたことによりスタートしました。

この計画では、①久屋大通公園と栄公園の一体化、②都心の活性化、③文化の拠点づくり、④バスターミナルの地下移転　を大きな柱として検討がすすめられ、同年５月、都市計画の変更により、栄公園は久屋大通公園の一部として位置づけられることとなりました。

平成３年にNHK名古屋放送センタービルが、平成４年には愛知芸術文化センターがオープンし、平成６年には、広場ゾーンの地下店舗の経営や施設の維持管理を行う第３セクター、栄公園振興株式会社が設立されました。

その後バブル崩壊を機に、①事業費と維持管理費の大幅な削減、②将来需要に合わせたバスターミナルの規模縮小、③イベント開催可能な地下広場の確保の３点をポイントに事業計画の見直しが行われ、平成９年に、総合建設業者が設計施工を一体ですすめる「提案競技（事業コンペ）」を実施し、事業費が147億円で、地下に大規模な広場空間を確保するとともに、敷地中央部に広い吹き抜け空間とシンボリックな屋根を配して地上部をシンプルにまとめた、㈱大林組名古屋支店の提案が最優秀提案に選定され、平成11年４月に工事が着工しました。

水の宇宙船『地球号』－大屋根

栄公園地区（広場ゾーン）で特徴的なのは「水の宇宙船『地球号』」と名付けられた吹き抜け上部の大屋根です。人が散策できる通路が設けられている大屋根の表面はガラスでつくられ、その上を水が薄いベールのように流れています。流れる水を透して揺らぐ光の波紋が地上や地下広場に不思議な空間を創り出します。

この吹き抜けで地上とつながる地下広場は、「銀河の広場」と名付けられ、周囲の園路も含めると約8,000㎡もの広さを有し、全国でもめずらしい大規模な地下公園となります。この地下空間は大屋根によって全天候型のイベント空間として活用できるように考えられています。この地下広場の周囲は店舗空間となっており、全ての店舗が広場に顔を向けた形で配置されています。

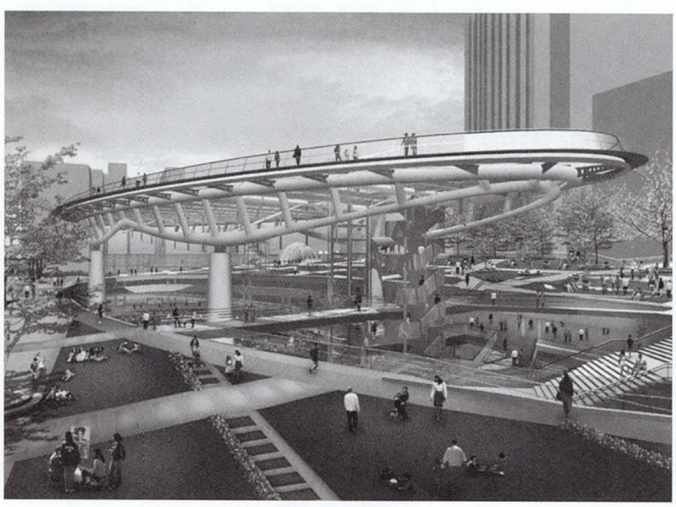
またゾーン東側の半地下部分にはバスターミナルが建設され、新しい交通の結節点になる予定です。

都心に緑の大地を

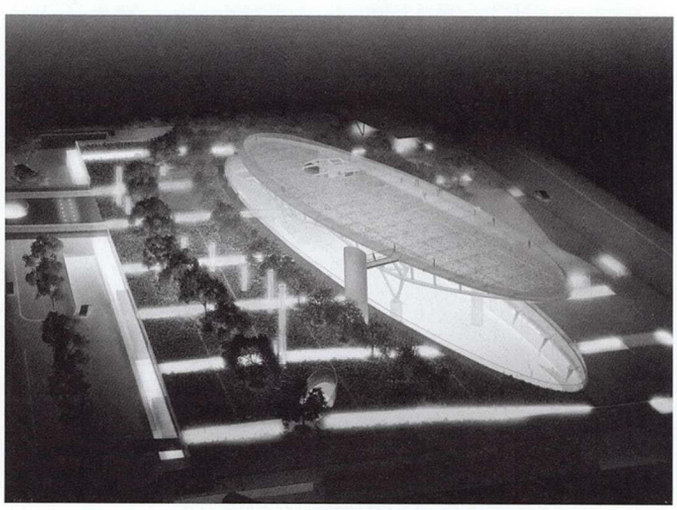
地上公園は、久屋大通側から愛知芸術文化センターやNHK名古屋放送センタービルに至るデッキに向け全面が緩やかな斜面の芝生広場で、東西の高低差を自然に処理するとともに、都心部には貴重なまとまりのある緑の広場空間を提供しています。

また、「記憶の路」と名付けられた園路の配置デザインに、名古屋の都市計画の基本パターンであるグリッド形状をとりいれたり、大屋根の軸線を名古屋城に向けるなど名古屋の歴史や特徴を意識したデザイン上の工夫がなされています。

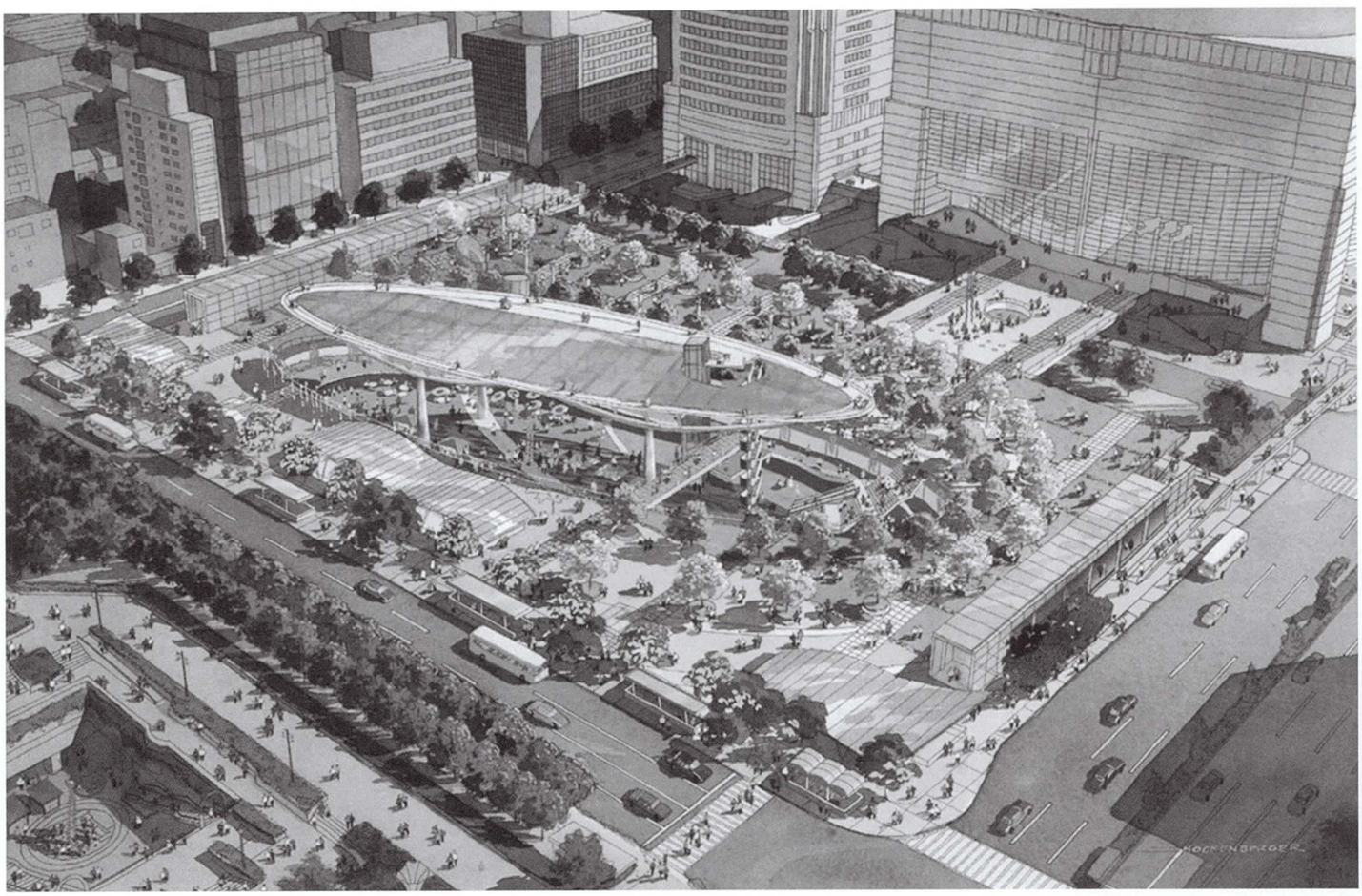
平成13年には「広場ゾーン」の愛称を募集し、「オアシス 21」に決まりました。現在、今年10月のオープンにむけ準備がすすめられています。「オアシス 21」は、名古屋の新しい名所、シンボルとなり、都心の活性化に寄与していくと期待しています。



地上広場から



水の宇宙船



鳥瞰



地下広場から

●大屋根のガラスの水盤の防水対策としては、2次止水方式による特殊形状のガスケットを採用した。また屋根構造体の先端部のキャンティレバーは約30ｍで、フラットな水盤面を構成するため、専用のレベル調整機構を組み込んでいる。

建築概要

所 在 地	名古屋市東区東桜一丁目地内
事業主体	名古屋市
建築主体	財団法人名古屋都市整備公社 栄公園振興株式会社
敷地面積	約1.98ha
建築面積	約10,100㎡
延床面積	約25,200㎡
構造規模	S造、SR造、地下１階、地上１階
工　　期	平成11年～平成14年

●名古屋／名古屋市・中心市街地活性化基本計画がめざすもの●

民間による都心活性化の動き

―牛島市街地再開事業のまちづくり―

牛島市街地再開発組合・㈱日建設計

はじめに

2005年の愛知万博開催と中部国際空港開港に伴い、中部圏の玄関口である名古屋駅前地区も大きな展開が期待されています。

名古屋駅の北約400ｍに位置する牛島地区は、名古屋新世紀計画2010の中で都心機能の集積と土地の高度利用を図る都心域「名古屋駅前地区」に含まれ、高次都市機能の集積を図る地区とされており、当再開発は「名古屋駅前の都市環境に配慮した次世代のビジネス拠点の創造」を基本理念に周辺地域との環境と調和したまちづくりをめざしています。

現在、第１期工事の特別高圧変電所を建設中であり、平成19年の竣工を目標に進めてまいります。

事業の概要

地区の概要

事 業 名　牛島南第一種市街地再開発事業
所 在 地　名古屋市西区牛島町６番27号
地区面積　約2.1ha

事業スケジュール

平成２年４月　牛島町再開発協議会発足
平成４年２月　牛島町再開発準備組合設立
平成11年２月　牛島南再開発事業に関する基本協定締結
　　都市計画および環境影響評価の手続着手
平成12年11月　環境影響評価書告示
平成12年12月　都市計画決定
平成13年１月　牛島市街地再開発組合設立認可
　　５月　権利変換計画認可
　　６月　第１期工事（特別高圧変電所）着手
平成16年５月　第１期工事竣工予定
平成16年６月　第２期工事着手予定
平成19年９月　全体竣工予定

地権者

名古屋鉄道株式会社、中部電力株式会社、トヨタ自動車株式会社、住友生命保険相互会社、大成建設株式会社、その他個人地権者１名

都市計画の概要

当地区は組合施行第一種市街地再開発事業により名古屋駅前地区にふさわしい土地の有効利用と都市機能の更新を図るため、再開発地区計画により公共施設整備及び再開発地区整備計画を策定することで現況容積率の緩和を図り、再開発を促進し良好な都市環境の形成を図ることを目標としています。

牛島南第一種市街地再開発事業

敷地面積　約14,000㎡
建築面積　約 7,300㎡
延床面積　約137,300㎡
容 積 率　約920%
主要用途　商業・業務・変電所・駐車場

牛島南再開発地区計画

公共施設の規模　地区幹線道路（幅員9.5ｍ、延長約80ｍ）
　　地下歩行者用通路（幅員6.5ｍ、延長約290ｍ）
地区施設の規模　広　　場（約240㎡）
建築物等に関する事項

- 建築物の用途の制限
- 容積率の最高限度　81/10
  ただし、電気事業の用に供する変電所及び第一種電気通信事業に供する電気通信交換施設の部分については12.5/10を限度としてこれに加えることができる。
- 容積率の最低限度　20/10
- 建ぺい率の最高限度　5/10
  ただし、耐火建築物については7/10とする。
- 建築面積の最低限度　200㎡
- 建築物等の形態及び意匠の制限
- 垣又は柵の構造の制限
- 壁面位置の制限　都市計画道路広井町線　５ｍ
  都市計画道路鷹羽町線　2.5ｍ
  地区幹線道路　2.5ｍ
  市道牛島町第５号線　５ｍ

周辺環境に配慮したまちづくり

当再開発事業は名古屋駅前地区にふさわしい都市環境の創出を目標にシンボル性の高い高層棟オフィスを計画している他、将来への都市環境も考慮し、以下の施設整備を行うことで周辺環境に配慮したまちづくりをめざしていています。

周辺自動車交通を円滑にする新設道路の整備

- 自動車交通が集中する名古屋駅前地区に数少ない南北間方向の新設道路を整備して、自動車交通を周辺街区へ円滑に処理します。

名古屋駅と直結した地下道の整備

- 当再開発ビルおよび周辺街区への歩行者の安全性を確保するため、地下鉄名古屋駅に直結する地下道を接続します。また、地下道中央部には広場空間を設け、自然採光および自然排気を可能とした防災性も考慮した計画とします。

敷地周辺の快適な歩行者空間の整備

- 周辺街区との快適な歩行者動線を確保できるよう、歩道部に街路樹等の植栽を設け、景観上敷地内の広場空間の緑と連携するとともに歩行者の快適性も重視した歩道状空地を計画します。

緑ゆたかな広場の整備

- 名古屋駅前地区に少ないオープンスペースを敷地内に設け、約3000㎡の水と緑の広場空間を整備し、周辺住民への憩いの場としても利用できるように計画します。

牛島再開発の施設概要

当再開発ビルは、地上40階、地下３階のオフィス棟、地上３階、地下１階の特別高圧変電所、地下３階の超高圧変電所および約410台を確保する機械式の駐車場棟により構成されます。

特別高圧変電所

- 特別高圧変電所は、現在敷地を南北に縦断する形で位置する既存の変電所を避けた敷地の北西部で、すでに第１期工事として着手されており、完成後、既存変電所の機能をここに切替えます。この切替え工事を終了し、既存変電所を解体した後の場所に第２期工事としてオフィス棟、駐車場棟、超高圧変電所を建設します。

オフィス棟

- オフィス棟は、名古屋駅に通じる広井町線に面する壁面を円弧状に傾斜させ、テレビ電波反射障害を大幅に低減するとともに、視覚的な圧迫感を和らげます。この特長ある建物形状により、印象強いランドマーク性を持ち、名古屋駅前に新しい都市景観を創り出します。
- オフィス棟の延床面積は約11万3,000㎡で、中部圏ではテナントオフィスビルとして最大級の床面積となります。
- オフィスフロアの平面計画は、コア部分をオフィスが南、東、北と凹型に囲む形状とし、１フロアで約1,400㎡から2,000㎡の一体のオフィス空間が確保されます。空調システム、セキュリテイシステムの24時間対応はもとより、情報、通信システムへの対応等、さまざまなワークスタイルに対応できるフレキシビリティの高いオフィスビルとします。

駐車場棟

- 駐車場棟は、整然とした景観を形成するため、特別高圧変電所に連続して一体的に配置します。自動車の出入りは、交通量の多い広井町線を避け、鷹羽町線と市道牛島町５号線に出入口を設け、地内の自動車通路を通って駐車場棟にアクセスする計画とし、最新の機械駐車システムを導入し、安全性の高い、効率的な駐車場とします。

超高圧変電所

- 超高圧変電所は、安定した電力供給ネットワークの一拠点を担い、オフィス棟の南側の地下部分に設置します。これにより地上に豊かなオープンスペースが生み出され、アメニティ空間としてオフィスワーカーに豊かなオフィスライフを提供するとともに、都心に数少ない快適な都市環境を創出します。

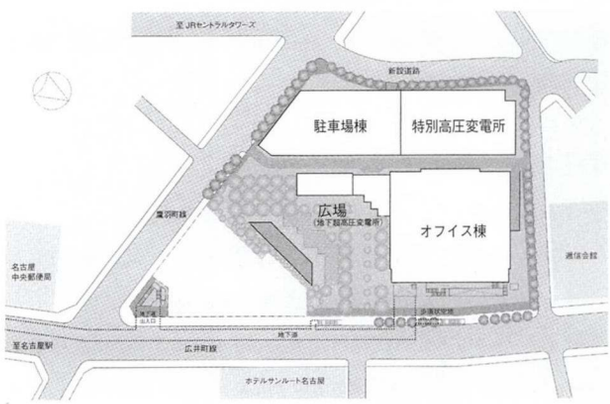
（牛島市街地再開組合事務所　新田恵一／にった　けいいち　㈱日建設計）



完成イメージ図



都市計画の概要



配置計画図案

●名古屋／名古屋市・中心市街地活性化基本計画がめざすもの●

都市公団による都心活性化の試み

—納屋橋西再開発構想—

都市基盤整備公団中部支社 納屋橋西再開発事務所

納屋橋地区の概要

名古屋名物納屋橋饅頭でおなじみの納屋橋地区は名古屋市の都心部にあり、名古屋駅、栄の２大商業・業務集積地の中間で、名古屋市のメインストリート「広小路通」と都心部を流れる「堀川」とのクロスポイントに位置している。

納屋橋は江戸時代初期、名古屋城築城当時の堀川開削と同時に架けられ、橋周辺は堀川水運を利用して乾物問屋、米倉が建ち並ぶ蔵（納屋）の街として活況を呈した。明治19年名古屋駅が完成、明治31年市電が開通（名駅～栄）するとともに納屋橋周辺は活気に満ち、劇場、映画館、ダンスホールなど商業娯楽施設が次々にでき、名古屋を代表するアミューズメントゾーンの一つとなった。しかし、その後市電が廃止（昭和46年）され、名古屋駅周辺と栄を中心に商業・業務の集積が進むにつれ、交通の便にやや劣る本地区の活気は徐々に失われていった。

現在、本地区は細分化された街区に老朽木造家屋と多くの青空駐車場が存在し、都心部にあって土地の高度利用がなされないままとなっている。

事業の経緯

昭和63年名古屋市の新基本計画（昭和63～75年度）において、納屋橋地区周辺（約13.3ha）は地区総合整備地区に指定され、都心唯一の水辺空間である堀川の総合整備（護岸整備、親水空間整備等）と沿岸市街地の再開発を促進し、名古屋駅と栄を結ぶ地区として土地の高度利用の誘導による商業・業務・娯楽機能の強化を図ることとされた。

名古屋市からの施行要請を受け、公団は地区総合整備地区内の北西部分の一部（２街区　約0.4ha）を第一種市街地再開発事業の施行予定者として現地に事務所を設置し、事業化にむけ動き出した。

平成３年地元組織（再開発協議会）が発足し、名古屋市及び地元組織より地区拡大の要請があり、公団は平成４年、地区北側の３街区を含め地区拡大を行った。（５街区　約0.7ha）

事業の概要

目的

施行地区は、街区が小規模（700～1,100㎡）で道路幅が狭い（４～６m）のため高度利用が難しく建替えが進んでいない。再開発事業により５つの街区を統合して一敷地とし、耐火建築物を建築することによって都市の防災性能の向上と土地の有効高度利用をはかる。併せて、街区間にある道路を廃止し、統合した街区の外周部に付け替え拡幅し、安全で快適な歩行者空間とする。

施設計画

「街の活性化」、「都心居住の推進」、「都市景観整備」の基本コンセプトを基にして、以下のような施設構成としている。

広小路通に面した南側は７階建ての業務棟を配置、沿道景観に配慮しスカイラインをそろえ、道路境界から2.5M後退した。１、２階の低層部分には飲食店舗やクリニックを配置し、沿道の賑わいと利便性の向上を目指している。

都心居住の推進のため、北側に33階建ての超高層住宅棟を配置し、一部を権利者住宅とし、残りは公団賃貸住宅とした。単身者、小家族をメインターゲットとしつつ、幅広い需要層に対応できるよう多様な住戸タイプを計画している。低層階には地区内外の生活者をサポートするため、公益的施設と生活支援施設を設置している。

駐車場はコストの高い地下駐車場とはせず、タワー式駐車場とし、空間を有効に活用するため、超高層住宅棟のボイド（内部吹き抜け）部分に配置した。

仕組みの特徴

本事業は部分的に「特定業務代行方式」の適用を予定している。

特定業務代行の対象は業務棟部分とし、業務代行の内容は次のとおりである。

①業務棟保留床の処分協力（最終取得義務を伴う）

②業務棟の建設工事の設計・施工

特定業務代行方式の導入は、民間能力を活用し事業の推進を図るためであるが、具体的には以下の理由による。

・早期に保留床処分先が担保されること。

・民間のノウハウが活用できること。

・管理運営を実際に行う保留床取得者のニーズ等を設計等に反映できること。

あとがき

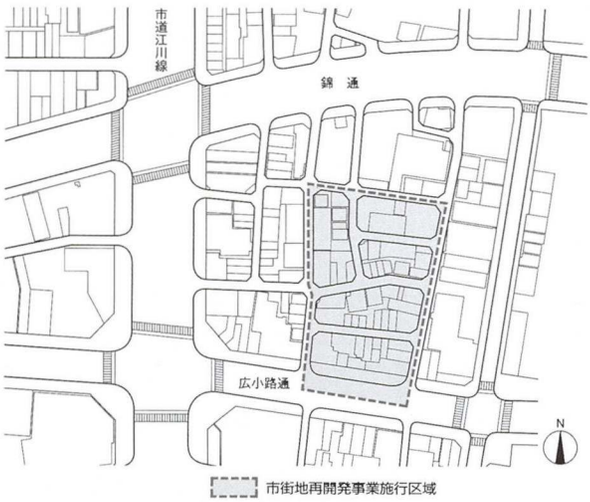
本事業は平成13年２月名古屋市の都市計画決定をうけた。今後、平成14年12月事業計画認可、平成15年５月権利変換計画認可、同年８月工事着工、平成17年８月竣工を目指している。

現在納屋橋周辺は、大型飲食店ビル・納屋橋キューブスの登場、堀川整備（川辺の遊歩道、船着場）の進展、歴史的建造物（旧シャム国領事館）の再生活用等により注目されるエリアとなりつつあり、当再開発事業と、納屋橋東地区再開発事業（組合施行）の完成により、かつての賑わいを取り戻せることを願っている。

（石附克己）



現況写真



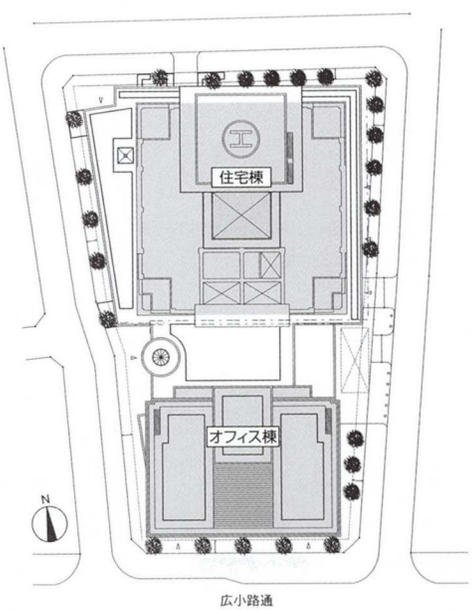
区域図（現況図）



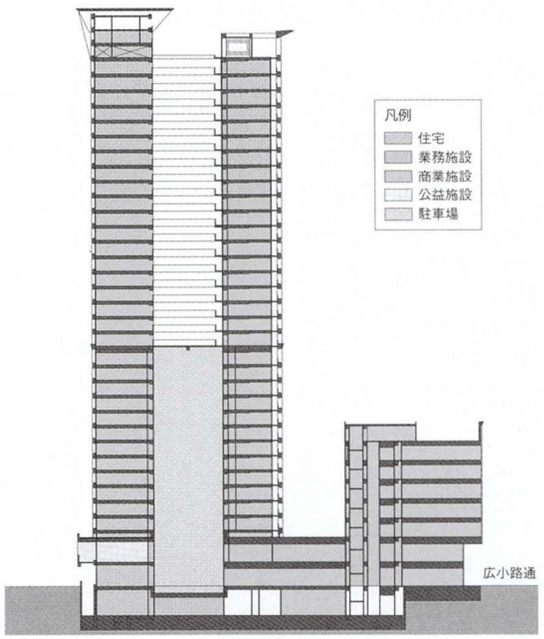
完成予想図（パース）

計画概要

敷地面積		4,600㎡
建築面積		3,500㎡
延床面積		49,900㎡
構　造		RC、S、(一部SRC)
専用面積	住　宅	24,400㎡
	業務施設	3,900㎡
	商業施設	2,300㎡
	公益施設	400㎡
建物規模	住宅棟	
	地上33階、地下１階	
	オフィス棟	
	地上７階、地下１階	
	高さ約110m	
駐車台数		約180台
駐輪台数		約500台
住宅戸数		約380戸



配置図



断面図

●名古屋／名古屋市・中心市街地活性化基本計画がめざすもの●

都市公団による都心活性化の動き

—千種二丁目地区（サッポロビール㈱名古屋工場跡地）における取り組み—

都市基盤整備公団中部支社

はじめに

サッポロビール㈱名古屋工場は、大正14年にビール工場として操業を開始し、70余年にわたり隣接するビアガーデン浩養園と共に名古屋市民に親しまれてきたが、都市基盤整備公団が浩養園を除く工場用地（約8.36ha）を平成12年3月に取得することとなった。

当地区周辺は戦災復興土地区画整理事業により市街地整備がなされた地区であり、工場跡地は名古屋都心部の骨格を成す100m道路の若宮大通に接道するとともにＪＲ中央線の高架に接する敷地であった。また、若宮大通を挟んだ南側のエリアでは名古屋工業大学、鶴舞公園、名古屋大学付属病院、名古屋市公会堂、吹上ホール等といった公共公益施設がまとまって整備され、環境・文化資源が恵まれた地域が形成されていた。ただし、工場用地周辺はこの整備された地域と近接しながらも、広幅員道路、工場、高架等により連続性が阻まれ、良好な地域環境が波及しているとはいえない状況であった。

上記のような特性を持つ当地区であるが、用地を取得した公団には、都心に残された希少な大規模敷地となった工場跡地の開発に対して多くの期待が寄せられた。そこで、事業展開方法を模索した結果、公団単独で開発するのではなく、公団と民間事業者との公民パートナーシップのもとでの共同開発事業を実施することとした。

取り組み内容

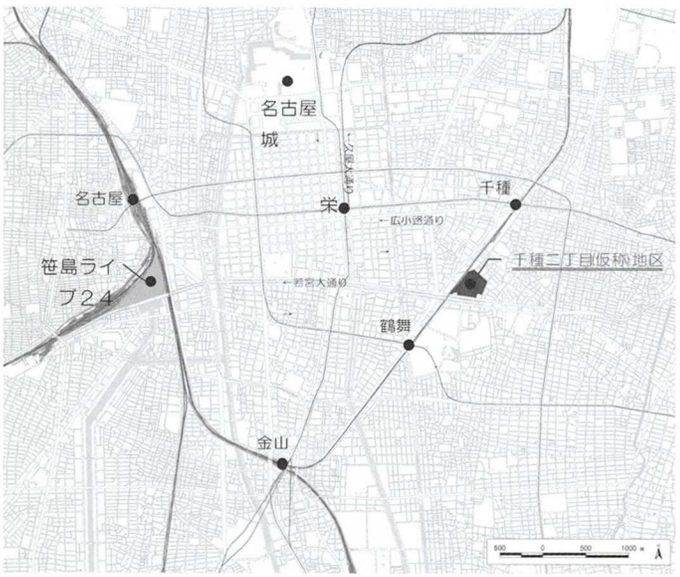
取り組み内容としては、民間の持つ柔軟な商品企画力等を活用した当地区の立地ポテンシャルを最大限引き出すような創意ある企画提案を民間事業者から募り、採用された提案の実現に向けて公団がコーディネート等を行うことによって、社会的ニーズに合致し且つ公共性の高い開発を実現させるという内容である。

今回の取り組み内容は「整備計画共同企画方式」と称し、①民間事業者等が参画しやすい共同事業スキームの実現、②民間ノウハウを活用した合理的な土地利用の実現を目的とした。

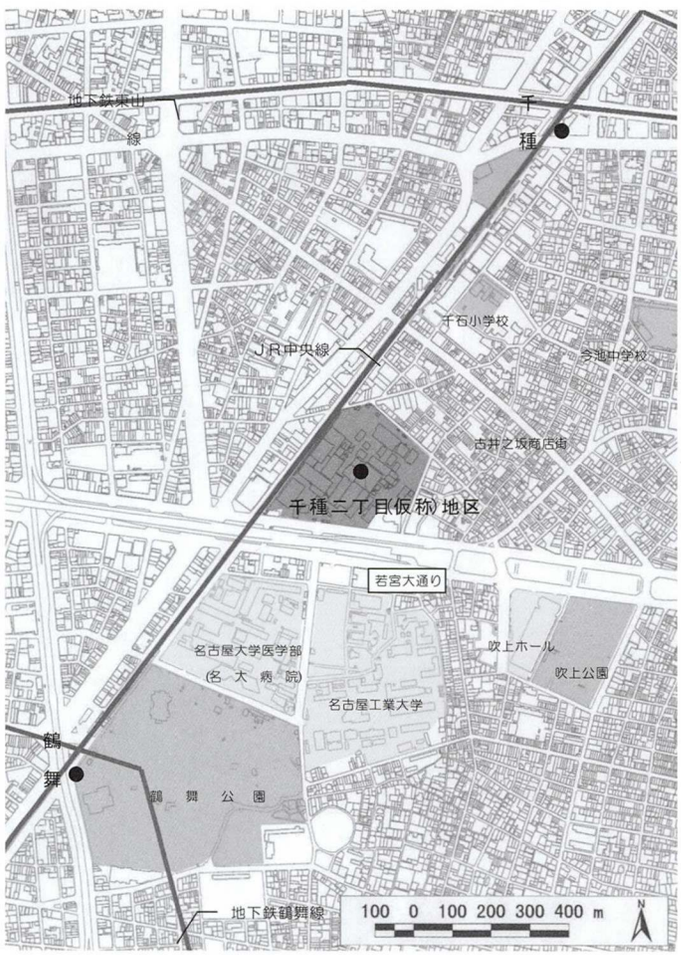
そのため、公団から大まかな整備目標・整備方針を示すのみとし、



航空写真



位置図



地区周辺図

募集する民間事業者の事業内容、建設する建物の用途・機能、及び公団の賃貸住宅の計画も含めて応募者が地区全体の計画を自由に応募提案できることとした。また、譲渡する土地の規模・形状等をあらかじめ公団が決めて譲渡するのではなく、採用された企画提案をベースにして計画地全体の整備計画を共同開発事業者と共同で策定し、共同開発事業者の意向を反映した土地譲渡を行うことが取り組み内容の特色である。

公民の役割分担としては、両者で策定した整備計画に基づき、公団は地区全体の基盤整備を行うとともに賃貸住宅等の建設を行い、共同開発事業者は計画に沿って施設等の建設を行うことにより、公民パートナーシップによる一体的なまちづくりを推進することとしている。

この取り組みによって民間事業者からみたメリットとしては、①計画段階から共同で全体計画を策定するため、合理的・効率的な土地取得が可能②土地取得契約前に事業化に向けた具体の調査、協議を先行して行うことが可能という点が挙げられる。

企画提案の審査にあたっては、外部の有識者が大半を占める「共同開発事業者選定委員会（委員長：日端康男慶応義塾大学教授）」を設置して審査が行われ、共同開発事業者を決定した。

名古屋圏の都市再生における位置づけ

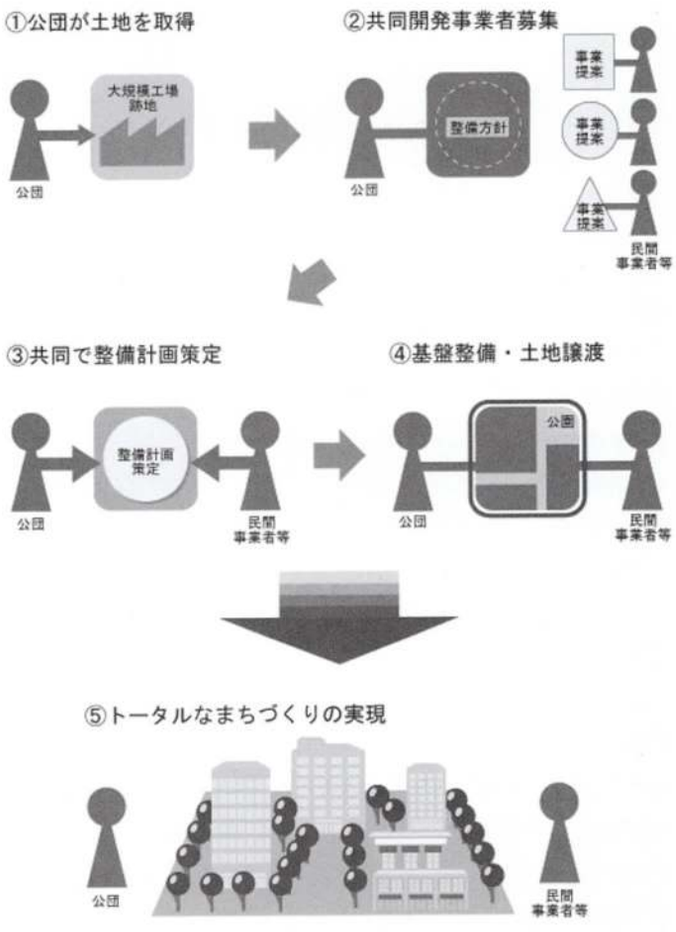
平成13年12月には、「21世紀名古屋圏の都市整備推進懇談会（座長：奥野信宏 名大副総長）」から名古屋圏の都市再生推進に向けて提言が発表された。その中で、当面緊急に推進すべきプロジェクトのひとつとして都心ニューライフプロジェクトが提案され、「千種二丁目地区については都市型居住の提案とともに、新たな都市活動の受け皿として整備を進める若宮大通り地区のゲートの一つとしての機能を有する新たな拠点として整備を推進する。事業の推進にあたっては、資金調達手法など新たなプロジェクトマネジメント方策の検討を行う。」とされている。

また、国の都市再生本部においては、今後、都市再生プロジェクトとして、地方公共団体及び関係省庁と促進方策を検討することとされた。

今後の展望

以上、千種二丁目地区についての取組内容等について述べたわけであるが、現在、当地区の整備計画においては、公共団体、民間事業者と事業実施に向け協議を進めているところである。

今後、今までの経済性、合理性の追求による機能純化した街づくりの弊害を省みて、様々な機能・用途が融合し相互に連携、補完するような複合開発を推進することにより、名古屋都心部に活力ある豊かな都市空間を創出し、都市型社会生活の実現を当地区で図りたいと考えている。その上で良好な波及効果を周辺に生み出すような開発を推進し、若宮大通を新たな名古屋の都市軸として形成させることに寄与したいと検討を進めているところである。その検討内容を具現化することにより、当地区に求められている名古屋圏の都市再生の役割を果たしたいと考えている。（竹内英雄）



「整備計画共同企画方式」事業フローイメージ図

整備方針

①公民パートナーシップによる一体的なまちづくりを推進する。

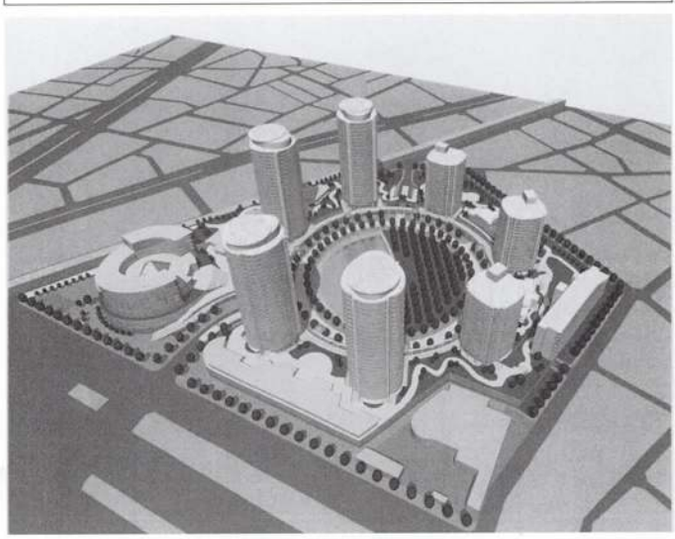
②周辺地域に対して良好な波乃効果を生み出す開発を推進する。

③環境に配慮した循環型社会の実現に資するまちづくりを推進する。

④世代を越えて多くの人々が美しいと感じる、美しいまちづくりを推進する。

⑤都心居住・職住近接に資する良好な住宅の供給と都心居住生活支援施設・サービスの提供を推進する。

⑥住む人、暮らす人の視点に立ったまちづくり（少子・高齢化への対応、高度情報化社会への対応、防災性の向上等）を推進する。



共同開発事業者　当選案

●新時代に向けた居住環境整備の試み●

あいち健康の森

―健やかな長寿社会に向けて保健・医療・福祉・生きがいを推進する総合施設―

愛知県健康福祉部

目的

人生80年時代を心身ともに健やかに充実して生きることのできる地域社会づくりのため、名古屋市に隣接している愛知県太府市と知多郡東浦町にまたがる約100haの地域に「健康と長寿」をテーマとする都市公園「あいち健康の森公園」をベースとして保健・医療・福祉・生きがいなどの総合施設「あいち健康の森」の整備を進めている。

経緯

この計画の発端は昭和60年に国立療養所中部病院が「老人（医療）総合センター構想」を発表し、まもなく愛知県医師会が「健康の森建設構想」を愛知県に提言した。それを受けて、昭和61年に愛知県知事が「あいち健康の森（仮称）基本構想」の検討を表明し、このプロジェクトが始まった。そして、平成元年３月に「あいち健康の森（仮称）基本計画」が策定、平成４年３月に「あいち健康の森（仮称）健康開発センター等実施計画」が策定された。あいち健康の森をそれぞれのコンセプトに基づき５つのゾーンに分け、健康ゾーンの中心施設としての「あいち健康プラザ」は平成９年に一部竣工し平成10年６月に全館オープンした。研究ゾーンの中心施設として、国立の「長寿医療研究センター」は平成７年３月に竣工し７月に国立中部病院に開設された。長寿医療研究センターは老化メカニズムの解明や高齢者に特有の疾病の原因解明、予防・診断・治療の確立等の幅広い分野を総合的・学術的に研究する長寿科学研究の推進を最重要課題として取り組んでいくこととしている。そして昨年末、政府予算案に臨床部門として中部病院とあわせてナショナルセンターとなるための整備予算が公表された。

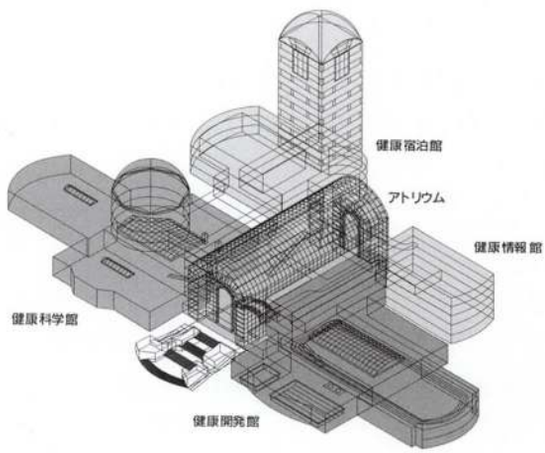


あいち健康の森５つのゾーン

あいち健康の森の概要

健康ゾーン

あいち健康の森のほぼ中央に位置するこのゾーンには、健康づくりを総合的に支援する拠点施設「あいち健康プラザ」を設置。“健康開発館”“健康科学館”“健康宿泊館”“健康情報館”の４つの施設を一体化し、あらゆる世代に向けて、健康づくりの動機づけから実践、健康情報を発信している。



あいち健康プラザ４つの施設

運動ゾーン

あいち健康の森公園として、スポーツやレクリエーション施設を提供する運動ゾーンには、テニスコート（11面）、交流センター、大芝生広場、健康ロード、子供の森などを整備。水と緑の中で自由に楽しむことができる魅力的な公園をめざして、今後も、薬草園などの整備を予定している。

研究ゾーン

研究ゾーンには、国の高齢化社会対策の一環として「長寿医療研究センター」を建設。明るく豊かな長寿社会の実現をめざして、幅広い研究開発が行われている。また、あいち小児保健医療総合センターが平成13年11月に一部オープンし、平成15年４月に保健部門を持った200床の子供病院として全面オープンする予定である。国立療養所中部病院など既存の施設と併せて、子供から高齢者まで行き届いた保健医療をめざしている。

生きがいゾーン

民間活力の導入により、スポーツ、レクリエーション、文化施設などの生きがい関連施設の整備をめざしている。

福祉ゾーン

地域ケアシステムを支援する機能をもった福祉関連施設などの設置を予定している。

健康づくりの総合拠点「あいち健康プラザ」の概要

あいち健康の森の中央に位置し、健康づくりを総合的に支援する「あいち健康の森健康科学総合センター（愛称：あいち健康プラザ）は４つの館から成り立つ複合施設である。

「健康情報館」で健康に関する知識・情報を身につけ、「健康科学館」でからだのしくみや健康の大切さを理解し、「健康開発館」で適切な健康づくりを実践する。交流やくつろぎの場を提供する「健康宿泊館」４館それぞれにリンクすることで総合的な健康づくりを可能にしており多彩な機能を果たしている。

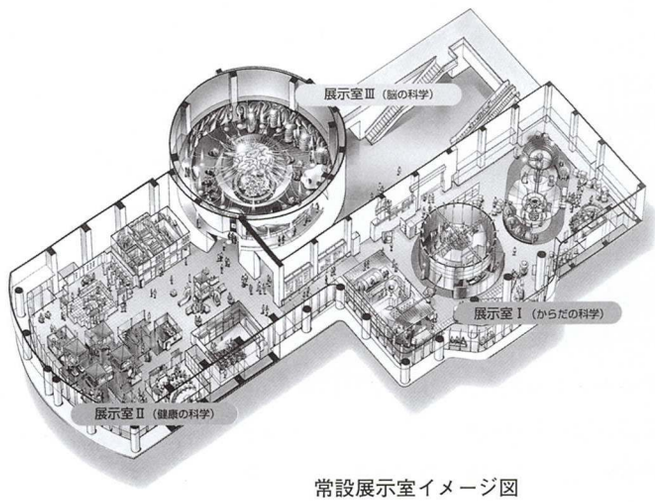
・健康開発実践機能
・指導者養成機能
・研究・開発機能
・交流・支援機能

健康開発館

一般的な健康づくりから生活習慣病の予防を目的としたものまで、多彩な健康づくり教室を実施。健康状態と生活習慣の両面から健康度をチェックし、一人ひとりに適した健康づくりを提案している。さらに蓄積されたデータは、さまざまな研究や開発、他施設との交流に役立てている。また厚生労働省より健康増進施設の認定及び、「指定運動療法施設」の指定を受けている。

健康科学館

からだのしくみや健康の大切さについて見て・触れて・理解する参加・体験型の施設で楽しみながら学ぶことができるよう、心臓・消化器などのからだのしくみ、脳の働きなどを、音と映像などを駆使したユニークな展示を通じ紹介している。この他に講演会や健康教室などへの参加・体験を通じて健康づくりの動機づけを行い、「自分の健康は自分でつくる」という意識を広げることを目的としている。



常設展示室イメージ図

あいち健康プラザの提案する健康づくり

健康度評価

現在の健康状態、日頃の生活習慣をメディカル、運動、栄養、休養の各部門から総合的にチェック。一人ひとりの健康度を把握します。



健康づくりプログラムの作成

健康度評価で得られた結果に基づき、一人ひとりに最適な健康づくりプログラムを作成します。



健康づくりの実践

医師、歯科医師、運動指導員、保健婦、栄養士などによるアドバイスのもと、健康づくりのプログラムを実践します。

・施設自由利用…最新設備を自由に利用し、健康づくりに取り組みます。
・健康づくり教室…教室に参加して、プログラムに沿って実践します。

効果測定

教室終了後、または自由利用開始から1年後に効果測定を実施。必要に応じて健康づくりプログラムの見直しを図るなど、健康づくりの習慣化に向けて最善を尽くします。

健康情報館

健康づくりの総合情報拠点として保健・医療・福祉に関する情報やさまざまな健康情報を、インターネットで全国に提供し、また、情報ライブラリーでは、健康に関する図書や資料を用意し、健康づくりの知識普及に努めている。

健康宿泊館

最大収容人員1000名のホールや会議室を備え、国際会議や地域の研究会・会合・講演会など、学習・交流の場として役立てている。また天然温泉や宿泊室では快適にくつろげるよう努めている。

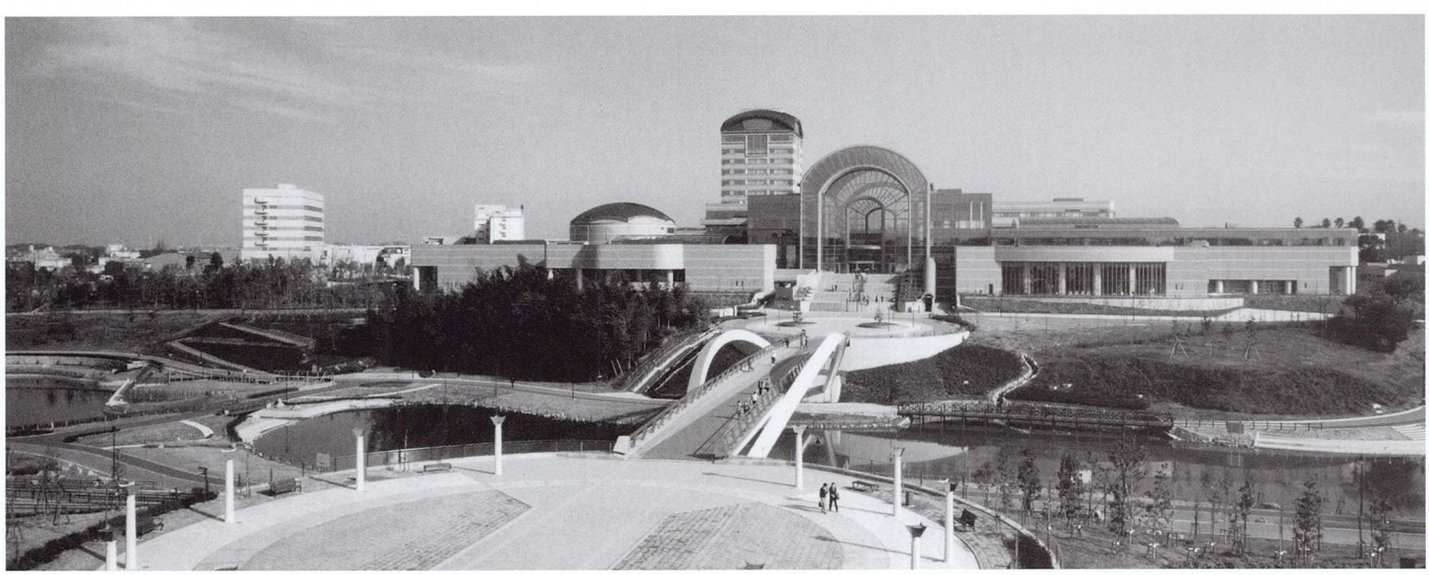


写真　左、長寿医療研究センター　正面、あいち健康プラザ

●新時代に向けた居住環境整備の試み●

千種台ふれあいタウン

—名古屋市における住宅建替事業について—

名古屋市住宅都市局住宅部住宅整備課

千種台のなりたち

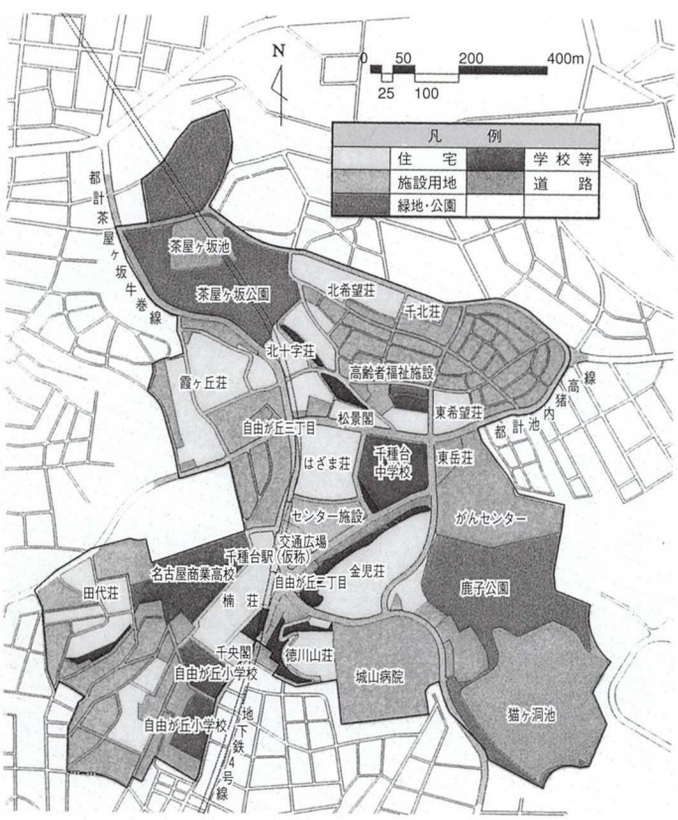
千種台は市東部の丘陵地に、昭和26年から順次開発された21の市営（公営）住宅団地と４の公社（名古屋市住宅供給公社）賃貸住宅の集合体で、簡易耐火二階建および中層耐火造の住宅が2,300戸余ある大団地である（昭和24、25年建設の木造住宅は既に建替え済）。開発当時はまだブルドーザーが珍しい時代であったが、市営住宅のみならず公社賃貸住宅および戸建分譲住宅を供給し、学校、緑地、公園、道路整備まで行った当時としては類をみない先端的な大規模開発であり、全国から見学者が訪れたという。名古屋では希少な起伏に富んだ地形で、都心まで公共交通機関で30分と利便、環境とも良いところである。

建替え計画とその後の事業経過

本事業は昭和40年以前に建設され老朽、狭小化した住宅1,850戸を15年計画で建替え、市営住宅約1,670戸、中堅所得層向けの特定公共賃貸住宅約170戸、公社賃貸住宅および分譲住宅約200戸を供給しようとするものである（当初計画より若干の戸数変更あり）。

しかし計画が示された当初、住民からは①家賃が上がる②14階建ての高層住宅はよくない③豊かな緑がなくなるといった理由で反対の声が大きく上がった。市では住民説明会を重ねるとともに環境アセスメントを実施し、階数を一部見直すなどの上、平成３年度から建設工事に着手した。

その後、平成10年度からは家賃算定方式が応能応益に変わり、年金のみ等で収入の低い世帯では家賃上昇が抑えられることになった。住宅の階数についてもセンター地区（後述）を除き最高６階までとし、平成13年度着工ベースで市営住宅は77%の進捗である。



基本計画図

まちづくりの特色

千種台の構想は昭和61年度にたてられた。当時は迫りくる高齢化社会への備えが要請される時代であった。そのため千種台では高齢化社会のモデルタウンとして、多世代がふれあいながら安心して暮らせるまちを目標とし、また70haにおよぶ公共用地をいかし単なる建替えにとどまらない総合的なまちづくりをめざして事業を行っている。

高齢化対応の施策

- 家族構成やライフサイクルの変化に応じ、高齢者専用住宅や身体障害者用住宅、特定公共賃貸住宅、分譲住宅を含む多様な住宅を供給する。本市初のシルバーハウジングプロジェクトである希望



次期建替団地（金児荘）

ヶ丘シルバー住宅はじめ高齢者専用住宅３か所67戸を既に供給している。地区内にディサービスセンター併設の特別養護老人ホームを誘致し、そこからライフサポートアドバイザーを派遣している。

- 住宅内部のバリアフリー化として、段差解消、半埋め込み浴槽、玄関扉の引戸化、玄関・便所・浴室への手すり設置、非常用ブザーや自動火災感知器の設置等を行っている。また高齢者が外出しやすいよう、全棟にエレベーターを設置し、スロープによる段差解消、歩道の拡幅、足に負担の少ない柔らか舗装の採用等を行っている。

総合的なまちづくりの具体方策

- 地下鉄新駅の開設（平成15年度予定）にともない、直近にあった中学校を１ブロック東方に移転させ、跡地に駅前広場を整備する。また公社と市との間で土地を交換し既存の公社店舗を移転集約しつつ、駅前に「センター地区」として商業と住宅との複合施設を建設する。オープンスペースを広くとり地域中心として活性化、若返りをはかる。
- 茶屋ヶ坂公園と鹿子公園を結ぶ「緑の散策路」の整備をはじめ、建替えにより住宅用地から土地をうみ出して、歩道の拡幅、コミュニティ道路、まちかど広場（交差点の角のポケットパーク）の整備を行い、それらをつないで日常的な散策や健康づくり、憩の場をつくる。

住民参加のまちづくり

- 千種台では住民との長期間の協議の後に事業化にいたった経緯があり、「○○荘建設委員会」という住民参加の方法が形づくられてきた。建替団地ごとに住民代表を組織し、市から建替えに関わる様々な情報を知らせ、住民からの要望や意見を聞くものである。たとえば「はざま荘」では以前から住民組織で老人食事会をおこなっていたので、集会所の台所を多人数でも使えるような形に変更し、土に親しめる場が欲しいという声を受け、水栓の管理等を自治会で行う前提で共用花壇を設けた。

さいごに、緑について

千種台では斜面に市内では貴重な雑木林が残り、従前の接地型住宅で住民の方が育てた花木が豊かな緑を形成していた。計画時から緑の保全は大きな命題であったが、近年は「高齢化」と並び「環境特に『緑』」がまちづくりのテーマになってきている。

斜面緑地を残すことは当初から計画されていたが、団地内の樹木については高低差のある地形で、住宅規模・形態も大きく変わるためほとんど伐採していた。しかし多方面からご批判をいただき、最近では限界はあるものの団地の配置計画であらかじめ樹木を避けるとか宅盤の高さを変えないよう配慮するようになってきた。

一方、近隣住宅からは日影・虫害のため伐採要望があり、また、高齢化の進む団地住民からは維持管理がしきれないという声も強く、どうバランスをとるべきかたいへん苦慮している。

今後は団地内の新植や拡幅される歩道や広場への植採はもとより、擁壁等への垂直緑化など新しい手法を取り入れつつ緑を増やす努力をしていく考えである。



建替前の住宅（東希望荘）



「緑の散策路」と特別養護老人ホーム

神戸市違反対策室－この１年の動き－

南出和延
神戸市住宅局建築指導部違反対策室長

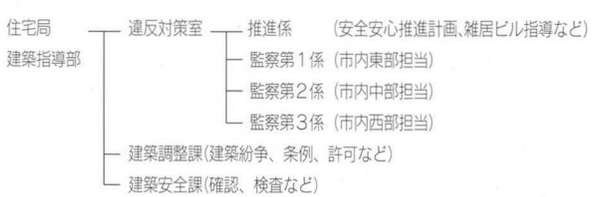
背景

阪神・淡路大震災では多くの尊い命が失われたが、その多くは建物の倒壊による圧死であった。これらの建物の中には違反・欠陥住宅が多数含まれていたと思われ、これを教訓に二度と惨事を繰り返さないよう、神戸市では建物の適法性・安全性の向上を目指してきた。平成11年度からは建築基準法改正を受けた中間検査制度の早期導入や、神戸市建築物安全安心推進計画の策定及び同推進協議会の発足などに取り組んできたが、13年度には住宅局内に「違反対策室」を新設し、市内の違反建築物対策に、より積極的に取り組んでいる。

体制及び業務

従来、神戸市の違反対策行政は市民からの通報に対応する形での指導であり、市内を東西に分けての２班体制であったが、確認検査業務の民間移行を進めることにより、特定行政庁が本来行うべき違反建築対策に重点を置いていく。違反対策室では３班体制に人員を増強して現地パトロールや指導に当たっている。また東京新宿のビル火災を受けて、小規模雑居ビルに対する防災面からの違反指導にも取り組んでいる。このほか、違反防止や市民啓発などの安全安心推進計画の各種施策も実施している。

違反対策室組織図



通常は午前中に現地パトロールを行い、違反を発見した場合はその場で、あるいは市役所に呼び出して是正指導を行う。是正しない悪質な違反者に対しては、建築基準法第９条に基づく工事停止・是正措置などの行政命令を行い、併せて電気・ガス・水道の供給保留を各事業者に要請する。特に悪質な事例に対しては所轄警察署長に告発することもある。

平成13年度の取り組み

市内の建築物の安全性・適法性の確保を目指して、平成11年度からの５ヵ年計画で「神戸市建築物安全安心推進計画」を策定し、関係団体と連携して、工事監理の徹底・的確な検査の実施・違反防止・市民啓発などに取り組んでいる。違反対策室が設置された13年度は、下記の施策をはじめ様々な取り組みを積極的に実施している。

①自主パトロールの強化

12年度までの通報対応型の指導から、自主パトロールによる違反の早期発見・早期是正へと対応をシフトしている。この結果、パトロール件数は12年度の562件から13年度は12月までで1,308件と大幅に増加し、反面、違反率は12年度の37%から13年度は10%と著しく減少した。

②違反建築110番の設置

自主パトロールとともに通報体制も強化すべく、通報専用電話「違反建築110番」を設置した。電話番号は（078）322−1824（イハンツイホウ）で、パンフレットや市広報紙に掲載するなどして周知し、違反情報の収集に努めている。

③完了検査合格プレートの交付



完了検査合格プレート

13年度完了検査合格の建物より、検査済証とともに「合格プレート」を交付している。このプレートを玄関先などの見やすい箇所に取り付けてもらうことにより、建物が安全性を確保し、適法に建築されていることの証明となる。違反防止の市民啓発を図るとともに、将来中古住宅の売買でも適法性の証として判断の目安となることも期待している。

④違反建築追放シンポジウムの開催

13年５月19日に自治体で初めて、市民や建築業界など240名を集めて開催。元ＮＨＫ解説委員の伊藤和明氏による講演、神戸で活躍する大学教授・建築士・建設業者・弁護士・市民・行政によるパネルディスカッションを行った。そして最後に市民・事業者・行政の三者が互いに協働して違反建築をなくし、「日本で最も安全なすまいのまち“神戸”」を目指す「違反建築追放宣言」を行い、違反を許さないという神戸の姿勢を表明した。

このほか、悪質な違反者に対しては行政命令を発し、建築主・施工者・建築場所等が市公報に掲載されるが、この公報を市役所内で掲示している。また、神戸市が12年度に設立したすまいの総合拠点「すまいるネット」では、過去の施工履歴などの一定要件をクリアした優良建築業者名簿を市民に公開して悪質業者の排除を図っている。さらに、神戸市内の金融機関に対して住宅資金融資時に検査済証を要件化するよう要請したり、検査受検通知を建築主及び工事監理者に送付するなど、違反防止に向けた取り組みを行った結果、平成10年度には40%台であった完了検査済証交付率が、12年度確認分については約60%にまで上昇した。



違反建築追放シンポジウム

今後の展開

安全安心推進計画では、平成15年度までに完了検査済証交付率を75%にまで高める計画である。目標達成に向けて、今後は引き続きパトロールや違反建築110番のPRなど、違反の早期発見・早期是正

に努めるとともに、登記等他制度との連携による検査率の向上を図る。また、建築知識や適法手続きの普及啓発にも力を入れ、違反の未然防止に向けて取り組むほか、雑居ビルなど既存建築物の防災面における違反指導のための体制強化を図り、神戸を「日本で最も安全なすまいのまち」にしていきたい。

神戸市の違反・完了検査状況

年度	H10	H11	H12	H13	H14	H15
現地調査件数	532	550	562	1,308		
違反件数	281	235	207	126		
法第９条命令件数	10	13	28	5		
告発件数	0	0	1	0		
確認件数	7,153	7,425	6,504	4,366		
完了検査率（目標）		50%	55%	60%	65%	75%
〃　（実績）	44%	53%	60%			
監察担当職員数	8	8	9	14		

※13年度は４～12月件数
※完了検査率＝当該年度に確認したもののうち、完了検査に合格した件数

違反建築追放宣言

日本で最も安全なすまいのまち“神戸”をめざして

先の阪神・淡路大震災により、建物の倒壊、焼失、ライフラインの断絶など甚大な被害に見舞われ、神戸市内だけでも、４，５００名を超える尊い人命が失われました。

震災を教訓に、建築確認の民間開放や中間検査制度が導入されるなど、建築基準法の大改正が行われ、また、既存建築物の耐震性を高め、安全性を確保するため、耐震改修促進法が制定されました。さらに、震災を契機にクローズアップされた、建築物の適法性の確保を目的とした、建築物安全安心推進計画の全国的な取組みが進められています。

被災地である神戸市でも、平成１１年１１月、関係機関及び関係団体が連携して、いち早く「神戸市建築物安全安心推進計画」を策定し、市民が安全で安心できるすまい、まちづくりに努めているところです。

建築物の安全性、適法性を確保する取組みを進めていくため、

1．　市民は、より確かなものを見分ける賢い消費者であるとともに、地域住民としてまちに住むためのルールを守る。
2．　事業者は、常に的確な設計、施工、監理にあたるとともに、市民に対し専門的な情報はもとより、法制度に関する知識や意識の高揚の役割を担う。
3．　行政は、十分な情報公開と情報提供に努めるとともに、既存建築物の防災指導はもとより、違反建築を防止するための積極的な指導を行う。

ここに、市民、事業者、行政が、それぞれの責務を果たし、協働し、相互に連携することにより違反建築を追放し、『日本で最も安全なすまいのまち“神戸”』をめざすことを宣言します。

平成１３年５月１９日

違反建築追放シンポジウム参加者
神戸市建築物安全安心推進協議会
神　戸　市

（リーフレットより）

神戸市建築物安全安心推進計画

建築物の安全性・適法性を確保するため、国・都道府県・特定行政庁・関係団体が連携して、工事監理業務の適正化、的確な検査の実施、違反防止などを推進していくための各種施策の取り組みが全国的に展開されている。

神戸市においては、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、市内の建築物のより一層の安全性・適法性の確保を図るため、市独自に実施計画を策定している（平成11年度より５カ年計画で実施）。

主な推進項目は次のとおり。

①工事監理業務の適正化とその徹底

欠陥住宅や施工不良住宅防止のため、関係団体と連携して工事監理業務の適正化を図る。

- 床面積が100㎡以上の木造建築物などの確認申請時において、工事監理者選定の徹底を図っている。
- 工事監理業務の重要性について、市民にPRしていく。

②中間検査及び完了検査の的確な実施

安全なすまいづくりのため的確な検査（中間検査・完了検査）を実施し、完了検査率の向上を図る。

- 確認のおりた建築主に対し、中間検査や完了検査を受けるよう、通知文を送付している。
- 中間検査対象の建築物を、順次拡大していく。（現行は木造３階建て住宅・木造２階建て建売住宅や、一定規模以上の集合住宅・劇場・店舗などの特殊建築物）

③違反建築物対策の総合的な推進等

違反建築の早期発見・早期是正に努めるとともに、違反防止の推進を図る。

- 建築工事現場へのパトロールを実施し、違反建築の早期発見・未然防止を図る。
- 悪質な違反者に対しては、行政命令を行うとともに、エネルギー事業者と連携して電気・ガス・水道の供給保留を行う。

④消費者に対する積極的な情報提供、普及啓発

パンフレットの配布等により、建築手続きや工事監理の重要性などの啓発を図る。

⑤安全で安心なすまい・まちづくりのためのその他の取り組み

- 「すまいるネット」による、すまいに関する総合的な情報提供や相談業務の実施。
- 小規模雑居ビルに対する防災パトロールの実施。

神戸市建築物安全安心推進協議会

安全安心推進計画を推進していくため、神戸市と関係機関・関係団体が連携して、「神戸市建築物安全安心推進協議会」を設立し、各種施策を実施している。

【推進協議会の会員】

- 建築関係団体（６団体）
- 金融関係（１機関）
- 消費者団体（３団体）
- 神戸市（５局、９部署）
- 指定確認検査機関（９機関）
- エネルギー事業者（２社）
- 兵庫県（３部署）

（みなみで　かずのぶ）

CFRP板による構造物の補修・補強工法

木村耕三
㈱大林組技術研究所主席研究員・工博

CFRP板による補修・補強工法の概要

軽量で耐久性に優れ、高強度の炭素繊維に工場でエポキシ樹脂を含浸・硬化させた板状の炭素繊維強化プラスチック（CFRP：Carbon Fiber Reinforced Plastics）を粘性の高い接着剤で、既存構造物の表面に貼り付けて補修・補強する工法（工法名「トレカラミネート工法」）を大林組、東レ、日本シーカの3社で開発・実用化した。なお、本工法は㈶建築保全センターから「建築物等の保全技術審査証明」を取得している。

本工法の主な特長

(1) CFRP板は厚さが1～2㎜と薄く、軽量（比重は鉄の1/4）であるため、貼り付けによって、階高が低くなるなど使用空間への影響や、補修・補強による構造物の重量増加がほとんどない。

(2) 軽量で可撓性（曲げやすい）があるため、長尺のCFRP板を直径1m前後に巻き取って運搬できるほか（図1）、大がかりな重機を用いずに人力で施工する（貼り付ける）ことができる（図2）。



図1　使用材料（CFRP板＆接着剤）



図2
CFRP板の貼り付け状況
（スラブの開口補強）

(3) 軽量なCFRP板を粘性の高い（ペースト状）エポキシ系接着剤で貼り付けるため、スラブや梁の下端での上向き作業において接着剤の液垂れがなく、液垂れに対する周辺の養生も低減できる。また、鋼板接着工法で必要な補強材を支持するためのアンカーや支保工等を必要としないため、現場での施工の合理化・省力化が図れる。

(4) CFRP板は、可撓性を有しているため、設備配管等が交錯するスラブ下においても、設備配管の移設／復旧を行わずに施工可能であるほか、地下など狭い場所での施工性にも優れている（図3）。

(5) CFRP板は単位幅当たりの引張強さが大きい（炭素繊維の引張強度は鉄の10倍）ため、鋼板接着工法等に比べて補強材を貼り付ける面積が少なくなり、その結果、下地処理（サンダー掛け）面積の低減と、これに伴う粉塵、廃棄物等の発生量が少なくなる（"環境に優しい補修・補強工法"といえる）。

(6) 炭素繊維は耐薬品性、耐食性（錆ない）に優れているため、工場などの過酷な環境下にある構造物の補強工法として優れている。

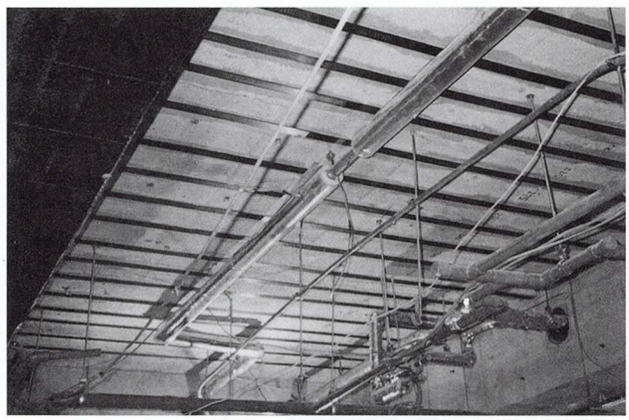


図3　スラブ下端の補強状況

本工法による施工手順

本工法による一般的な施工手順は図4に示す通りである。

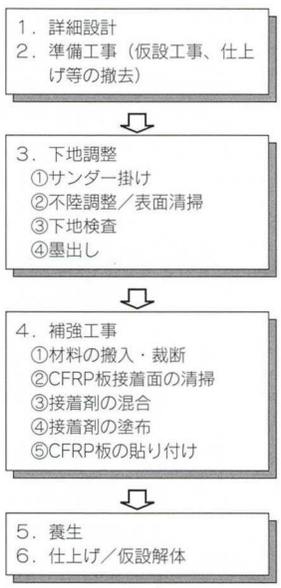


図4　施工手順

施工実績と今後の展開

本工法は、1996年にゴルフ場の橋梁床版補強で実用化して以来、鉄筋コンクリート構造物の梁、スラブの補修・補強だけでなく、大阪城天守閣（スラブの開口補強：図2）をはじめとする歴史的建造物（木造の建造物、レンガ造の灯台）の補強などにも幅広く採用されてきており、2001年12月現在で80件（使用したCFRP板の延べ長さ約45,000m）を超える施工実績がある（表1）。

表1　主な施工実績

物件名	所在地	用途（目的）	使用量	施工年
大阪城天守閣	大阪府	スラブ開口補強	380m	1996. 12
YSビル	神奈川県	梁及びスラブ補強	380m	1998. 02
旧金森洋物店	北海道	木造梁補強	100m	1999. 05
旧小坂鉱山事務所	秋田県	木造梁補強	170m	1999. 07
東レ工場	愛知県	スラブ補強	1,780m	2000. 02
K社工場	大阪府	スラブ補強	3,750m	2000. 06
尻屋崎灯台	青森県	灯台耐震補強	2,450m	2000. 10
K立体倉庫	神奈川県	スラブ及び梁補強	14,000m	2001. 02
東レ工場	静岡県	煙突耐震補強	4,000m	2001. 07
S高等学校	千葉県	スラブ補強	2,800m	2001. 08

1）旧金森洋物店：北海道指定有形文化財
2）旧小坂鉱山事務所：秋田県小坂町指定文化財

本工法は、高齢化社会（建築物のバリアフリー化）、地球環境の維持・保全（構造物の長寿命化、屋上緑化に伴うスラブ等の補強）、高度情報化社会（設備の更新に伴う積載荷重の増加、開口補強）などの社会のニーズに対応できる補修・補強工法として今後の発展が期待される。

（きむら　こうぞう）

駅用ピットレスエレベータの開発

井澤泰之
日本エレベーター製造㈱技術部技術課課長

平成６年にハートビル法、平成12年に交通バリアフリー法が施行され、高齢者・障害者との共生というノーマライゼーション化が後押しとなって、公共交通機関である駅にエレベータの設置が望まれた。しかし、駅舎形態が様々であり、エレベータ自体の寸法的制限はもとより、フレキシブルな施工方法・期間の短縮等が要求された。そのような要求に答えるよう開発したのが駅用ピットレスエレベータである。

駅には二つの線路に挟まれる島式ホーム、中央に両線路のある相対式ホームがある。特に島式ホームでは中央部の幅が最小５ｍで、鉄道事業法による通路幅1.5ｍを確保すると、エレベータ昇降路幅は最大２ｍ以内に抑える必要がある（図１）。また、コンコース（改札）からホームに至るエレベータは、線路方向とコンコースが直交するため利用者の安全と利便性を考え直角２方向出入り口としなければならない（図２）。

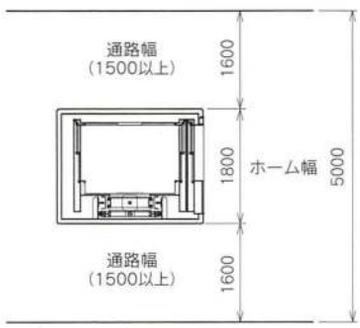
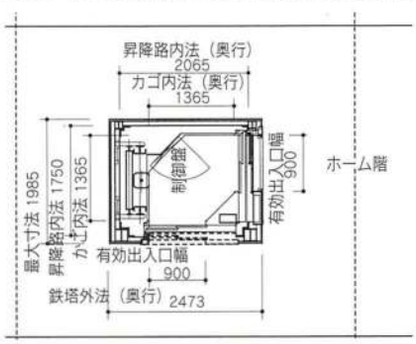


図１　島式ホームのエレベータレイアウト



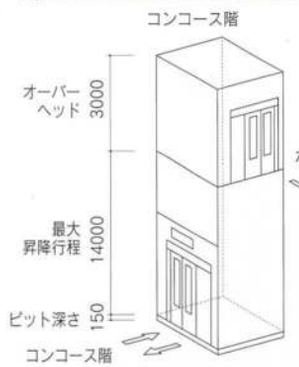


図２　コンコース階からホーム階に至るエレベータ

建物等では、中間階に設置する場合があり、その下の通路利用も可能にしなければならず、駅用ピットレスエレベータはそれらすべてを満足する従来エレベータの常識を破った新しいエレベータとして登場した。

表１に駅用ピットレスエレベータの仕様を示す。

表１　駅用ピットレスエレベータ仕様

形　式	カウンターウエイト付		カウンターウエイトなし	
	貫通型	直角型	貫通型	直角型
	SCD-R9-2SD-30(18)	SCD-R9-2SQ-30(18)	SCD-R9-2SD-18	SCD-R9-2SQ-18
定格速度（m/min）	30（18）		18	
定員（名）	9			
定格積載量（kg）	600			
電動機容量	9.5			
電動機回転数（r.p.m.）	2500		1500	
かご内法（W×Dmm）	1100×1450	1365×1365	1100×1450	1365×1365
出入口寸法（W×Hmm）	900×2000（２個所）			
必要トランス容量	20kVA			
MCB容量	100AF／75AT			
最大昇降行程（m）	14			
オーバーヘッド寸法（mm）	3000			
ピット寸法（mm）	150			
ピット下利用	可（ただし、二重スラブ対応が必要）		可	
鉄塔	半自立型組立式（特注仕様として自立型鉄塔も可能）			
ユニット工法による工期	約１週間（半自立型組立式）			

構造

駅用ピットレスエレベータは、文字通りピットが従来のエレベータに比べ極端に少ない。ピット深さはわずか150㎜で、ピットを掘らなくても出入り口のスロープ対応でエレベータ設置可能となる。これにより、建築施工の自由度と、付帯工事費の削減を飛躍的に向上させた。ピットを極小に出来たのは、スクリュー式エレベータとしたためだ。

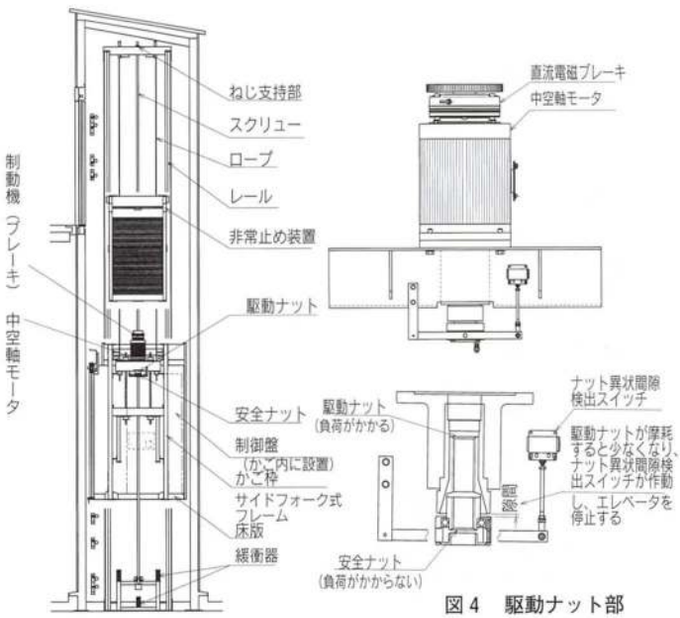


図３　スクリュー式エレベータの全体構造図（直角２方向出入り口）

図３にスクリュー式エレベータの全体構造図を示す。吊り下げ固定したスクリューにセットした駆動ナットを回転させることで昇降する方式で、駆動装置は駆動ナットを中空軸モータと直結している。駆動装置をかご横に配置、フレーム構造をサイドフォーク式とし、かご上部に駆動装置とインバータ、かご内壁面に制御盤を設けワンパッケージ化しており、機械室のないマシンルームレスエレベータの進化版となっている。制御盤の厚さは60㎜で、ロープ式マシンルームレスエレベータの100㎜厚よりさらに40㎜少ない。かご内で保守点検が可能となり、極力かご上下での保守項目を減らした。制御盤をかご内に収納したことで昇降路スペースを縮小でき、保守員の安全性も確保できた。スクリューと駆動ナットはナット側を摩損させるように設計してあり、スクリューの交換はない。その代わり駆動ナットが摩損する、これはロープ式エレベータのロープに相当する。

図４　駆動ナット部

図４に駆動ナット部を示す。万が一駆動ナットが全摩耗しても、駆動ナットと同期回転している常時無負荷で摩耗していない安全ナットが、かご荷重を保持できる機構になっている。実際には駆動ナットが全摩耗する前に駆動ナット・安全ナット間が狭くなったことを検出し、スイッチを作動させエレベータを停止させるため、かごは絶対に落下しないようになっている。また、駆動ナットは安全ナットと一体構造でモータとテーパ接続しているため、かごを最下階につき下げ、停止させれば簡単に交換可能で、ロープ式エレベータのロープ交換より短時間で作業できる。

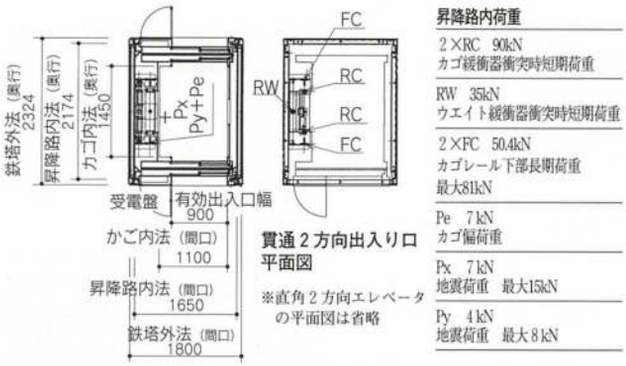


図５　ピット床に作用する荷重

図５にピット床に作用する荷重を示す。かごの荷重はかごをガイドするレールに作用させ昇降路作用荷重はかごの偏荷重・地震荷重のみのため昇降路構造を軽量化できる。

もうひとつ大きな構造上のポイントとして挙げられるのは、スクリューを台形ネジとし、セルフロックにより動力が切られても落下しないということだ。この原理でピット下を二重スラブにしなくても利用できるという従来エレベータに対し、アドバンテージを持っている。

ユニット工法

駅用ピットレスエレベータは、駆動装置をかご上部、制御盤をかご内壁面に収納しパッケージ化することで、工場内組み立てによる品質向上が計れる。トラックによる搬送高さ制限を考慮し、分割ユニットにした昇降路に予めセットしたレールと完成品のかごユニットを組み込む。現場施工はそれぞれのユニットを積み上げることでエレベータの90%が完成する。駅舎での組み立ては、現場搬入が夜間となるため約３時間で完了しなければならない。この工法によれば、約１～２日でユニット組み立て完了となる。昇降路内配線・調整を含め、約１週間で工事完了引き渡しが可能である。

昇降路は自立型と半自立型があり、半自立型は昇降路をパネル構造としており、クレーン搬入が出来ない場合でも、昇降路を１枚のユニットパネルに分割することで４～５人の作業員による手搬入が可能だ。

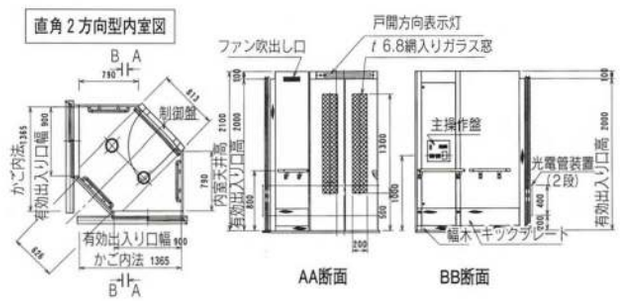
クレーン搬入、トレーラー搬入が出来ればもちろん完成済みの昇降路一体据え付けもできる。

ユニバーサルデザイン（図６）

ホール、かご内には障害者・高齢者・健常者を問わず誰にでも使いやすい位置に押ボタン・操作盤を設けており、さらに表示も分かりやすいサイズ・位置に設置している。

出入り口には２条の光電管装置と幅200㎜×高さ1300㎜の窓を設け乗降時の安全を確保するとともに、内外から確認しやすくし、かご内には車いす用キックプレート、手すりを設けている。

その他、高齢者や視覚障害者のためにエレベータの行先方向、到着階床、非常時の誘導などを音声で自動アナウンスする装置が標準



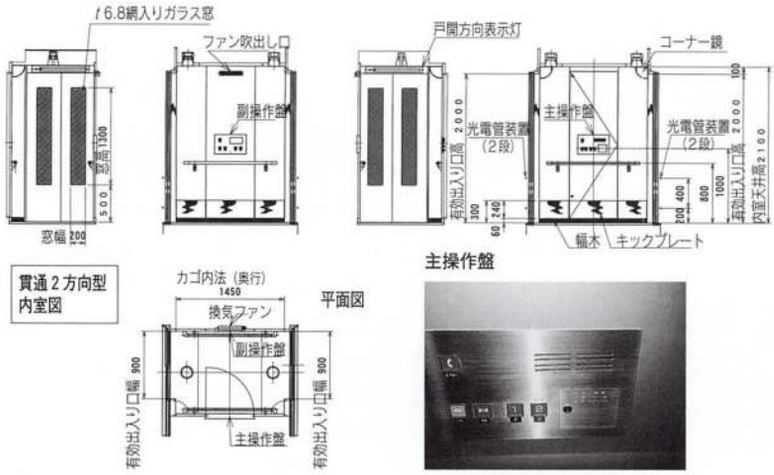


図６　ユニバーサルデザインを取り入れた意匠

装備されている。

聴覚に障害をお持ちの方には、各出入り口上部に設けた電光表示で正面または背面のどちらの出入り口が開くかの案内をするようにしている。

小段差解消としての用途

駅舎の場合、ラチ外とホームとの段差が少ない場合があり、この点でも駅用ピットレスエレベータは従来エレベータより有利となる。

たとえば、1500㎜程度の段差をロープ式エレベータで行う場合、カウンターウエイトが積めないなどの問題があり、実質的に施工不可能となってしまう。駅用ピットレスエレベータは、その点問題なく施工可能である。しかも施工が速いので、駅舎の段差解消には打ってつけのエレベータといえる。駅舎の完全段差解消率は20%程度しかなく、段差解消機では利用時安全上の注意を払うため安全性が完全でなく、駅員介添えの手間がかかるため人員削減にならない。駅用ピットレスエレベータは、あらゆる設置条件に対応できる可能性を秘めている。

施工例と今後の展開



写真１　有楽町駅の貫通２方向エレベータ

写真１にJR東日本有楽町駅に設置した施工例を示す。改札階とホーム階を結ぶ貫通２方向エレベータで、人の混雑するなかでの施工には、ピット掘削施工が省けるピットレスエレベータが施工の優位性を発揮する。

駅用ピットレスエレベータはピットが浅く、場合によってはピットを設けずにスロープで対応できるため、駅舎に限らず既存建築物、歩道橋にも設置の可能性が考えられる。今後確実視されている高齢化社会の訪れ、障害者との共生に対し、段差というバリアをなくし快適なピープルムーバーの一躍を担えるのが駅用ピットレスエレベータとなるであろう。

（いざわ　やすゆき）

「掃除のこと」
（門前から机上まで）



出版委員会副委員長
上原　正行
（竹中工務店）

（うえはら　まさゆき）
1941年兵庫県生まれ。1964年神戸大学建築学科卒業。同年竹中工務店大阪本店設計部入社。1991年設計部長。1995年神戸大学建設学科非常勤講師。

1）掃除は大切なしつけ、環境教育

村野先生は、かって「デザイン教育・設計教育で何が一番大切か？」との問いかけに、「それは簡単です。子供のときから掃除をさせなさい」と、答えられたそうだ。また、池原先生も「掃除は、大切なしつけ、環境教育なのです。生活環境の仕組み成り立ち、そして具体的な素材、ディテールも、実感できます。」と、言われたと聞く。いずれのお話も、直接うかがったわけではない。しかし、私には「附に落ちる」ことばである。

村野先生のお母さんは、小学生の彼に夏、門前の水打ちをさせてから登校させたとのこと。両隣、お向かい、全てに水を打たないと本当に美しいという感じがしなかった。だから毎日打ち水を続け、近所のひとびとからも可愛がられた――このことが建築家になれる資質のひとつになったと述懐されている。「栴檀は双葉より芳し」というが、偉い建築家は「小さい頃からチゴトッタンヤナー」と納得するのである。このあたりの話は右記の本に詳しい。



2）門前の掃除が「友好善隣」に

さて、「門前の掃除」でこういうことがあった。30数年の設計業務の中、他社との協働も多かった。その一つ、「梅田スカイビル」での想い出は、特に強い。発注者、設計、施工各複数チームのメンバーによる同窓会が今でも続いているほど一体感が得られたプロジェクトである。ところで「新梅田シティー」全域が、更地でスタート出来たわけではない。

住民の方との確執も続き、最初は、いわゆる「虫食い」状況で着工している。当時、作業所で協力会社のかたがたや、新社員等の教育指導に当たっていた、森　行政さんは「立退き」反対に対してどう対応していいのか悩んでいた。―とにかく計画案が巨大すぎて理解してもらえない。―話を聞いていただくにはどうしたらいいのか？―彼の考え抜いた先に「友好善隣」と言う四文字があった。仮囲いの中だけ、きれいになっておれば良いのではない――と。

地元の皆さんに、理解していただくには「挨拶」と「掃除」を実行しよう！　作業所に配属された新社員を毎朝7時に集めて敷地周辺、（ご近所、歩道も含めて）掃き清める事を、率先垂範したのである。台風のときには、倒れた煙突、壁のはがれたところを補修するため、相手のお住まいへ真っ先に向かった。その結果、「継続は力なり」の言葉どうり、今まで口も聞いてもらえなかった相手から信用を得ることになった、と言うお話。「出来すぎてるなあ」と、思われるでしょうか？　このことは社内の研修会でも披露され共感を呼んだ。どんな時代になろうとも、誠意ある行為の積み重ねが「良い仕事」を遺すのだと、私は信じている。

3）「ためして、ガッテン！」からヒント

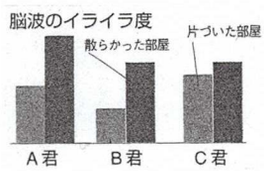


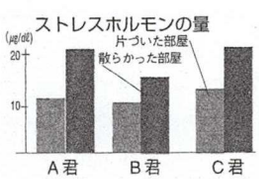
ところで、このスナップは設計現場の事例である。製図版、ドラフターがテーブルの脇に追いやられて久しいが、それにしても……である。私事で恐縮だが、私の「愚図の慌て」なる性格が続いているように、わが愚妻は「片づけ＝大嫌い」症候が顕著である。「白雪姫のこびとさん、来てくれへんかなあ」と、何時もいっている。

こういった乱雑さを打開するヒントはないものかと探してたら、NHK番組の、「ためして、ガッテン！」に出会った。平成12年5月17日放映分が――「片づけ方」ラクラクすっきり片づけるコツは？――であった。TVをみて、まさに「目から鱗」。これは「参考になる」と、直感した次第。

結論―1は、「散らかった部屋は体に悪い。片づいた部屋で仕事をするより脳波のイライラ度は増大し、ストレスホルモンの量が増える」……設計部員には、「汚くても身体に悪いわけじゃない」と広言してはばからないひとも大勢いる。しかし、実験の結果やはり体に悪い、と判明。グラフを参考にして欲しい。







結論―2は「ラクラク片づける鉄則は―出したら直ぐ戻す」

いろいろなものが散らかると、もとに戻す前の分類作業が必要になったりする。さらに、ものがたくさんあるため、あった場所を思い出しにくい。このように、する事が多いと作業が雑になりやすい。

こまめに片づけるほうが、結局、時間も手間もかからず、消費エネルギーも少なくなったという実験データである。

作業・手紙を書く　・スクラップ帳作り　・勉強　・服選び
・名札をつける　・ポスター作り　・身じたく　・旅行の荷造り

	作業時間と片づけ時間	消費エネルギー
A：作業1回ごとに片づける	15分	31.5kcal
B：作業を半分終えたらいったん片づけ、最後にまた片づける	21分	56.3kcal
C：作業をすべて終えてから片づける	27分	76.9kcal

……建築現場では「整理、整頓」が声高に叫ばれる。新入社員は、少なくとも4か月は作業所に配属されて、このことを徹底して叩きこまれるはず。ところが設計部に配属されると環境に染まるのか、不思議ではある。この資料を参考にしてもらい、節約された時間を「ものづくり」に振り向けて欲しいと思うのである。

研究を最前線で追う

3 環境情報を都市づくりに

都市環境・設備計画研究室
神戸大学工学部建設学科

私たちの研究室は、建築・都市環境工学、設備システム、都市環境計画と呼ばれる分野を専門としている。短く言えば、“みどり”と“エネルギー”の視点から建物や街をエコロジカルに計画するために、人工衛星データを使った環境計画、震災や自然環境を考慮した環境設備の研究を行っている。具体的には、都市の熱環境制御、緑地の環境効果、リモートセンシング手法の環境計画への応用、都市インフラの計画、地域冷暖房計画、災害時設備バックアップ・システム（太陽光発電システム）などに関する研究を行っている。

都市の熱環境

都市の気温が島状に高くなる現象をヒートアイランドと呼んでいるが、最近の都市は高温化がますます顕著になり、特に、夏の夜の寝苦しさを表す熱帯夜日数は増加して、都市の夏季熱環境の悪化は著しいものとなっている。緑被に覆われていた自然の地表面が建物や駐車場などの舗装面に置きかわって蒸発面積がほとんどなくなり、建物も木造からコンクリートが多くなって熱容量が大きくなったために、最低気温はますます下がらないことになる。加えて、自動車や工場、建物など、生産活動や生活行為に伴って大量のエネルギーを消費し、その結果、大量の熱を排出している。都市は経済活動や文化交流には便利な反面、環境の浄化やエネルギーのバランスに大切な役割を果たしている自然環境をほとんど消滅させ、自らの環境を悪化させて人間の健康に大きな影響を与えている。

みどりの効果と都市環境

これに対して、人間が健全に生活していけるような自然環境との調和を保つためには、どのくらいのみどりが都市には必要なのか、人間の生活や生産活動に伴う熱はどのくらい環境に影響しているのか、という課題が生じてくる。このような課題に対して、私たちの研究室では人工衛星や航空機を使って観測したリモートセンシングデータにより地表の被覆状況や熱環境を調査したり、コンピュータを駆使した数値モデルの手法を用いて対策を検討したりしている。また、都市を緑化する方法の一つとして注目されている屋上緑化についても、測定や計算を行ってその効果の検討を行っている。

都市、建築のエネルギー計画

省エネルギー、環境汚染や火災の防止、都市環境整備などの視点から、冷暖房を地域ぐるみで行うのが地域冷暖房システムである。都市には使われずに大気や海に捨てられる多くの熱がある。例えばゴミ焼却施設や工場の廃熱、下水処理場および海水、河川水の熱利用などが考えられ、さらには太陽や風などのまだ使われていない自然エネルギーがあり、これらを未利用エネルギーとか地域エネルギーと呼んでいる。これらの施設の立地、設備システムの計画方法に関する研究も行っている。併せて、住宅やオフィスなどで実際にどれぐらいのエネルギーが使用されているのかを知るために実態調査を行い、エネルギー消費量の実情を探るとともに、省エネルギー意識が人々にどの程度浸透しているのかについても調査している。

環境情報を活かした都市づくりークリマアトラスの研究

都市の熱環境に大きく影響を与える要素はみどりであり、これは空間の余裕や豊かなデザインのように生活環境全体の善しあしにかかわっている。もちろん量的な議論とともにデザインなどの質的な議論も重要である。このように生態学的な視点からその土地土地の気候環境に対応した地区計画や建築計画を行うには、より詳細な気候環境の把握が必要であり、何よりも重要なのは都市住民自身がそのことに関心をもち、その重要性を認識することである。特に都市計画者や建築設計者がその土地のもっている自然環境の可能性を容易に把握できるような、専門家との情報伝達が必要である。それにはドイツの各都市で作成されているクリマアトラスのような手法が有効であると考えている。



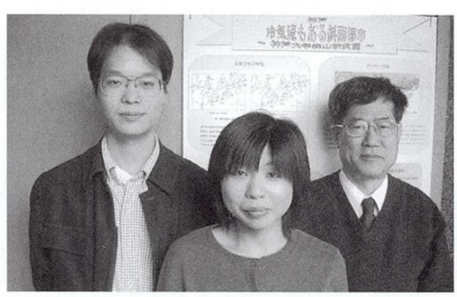
神戸地域のクリマトープ図

私たちの研究室でも、神戸、大阪、京都などの関西の都市を対象としてクリマアトラスの作成とその利用について研究を行っている。神戸のクリマアトラスの作成事例を示す。クリマトープ図と呼んでいるもので、地表付近の熱環境を表している。みどりの多い六甲山などでは森林気候と呼ばれる良好な熱環境であるのに対し、三ノ宮付近では都心気候と呼ばれる特殊な熱環境が形成されていることを示している。2001年３月には神戸市内の数箇所を対象地区として、環境工学の専門家と建築家、行政担当者が参加するワークショップを開催し、気候情報を活かした建築、都市計画について議論をした。これらの詳細は研究室のホームページに掲載しているので、ぜひ一度訪問してみて下さい。

●研究室のひととき

今年の夏には現在建設中の神戸大学大学院総合研究棟に引っ越しする予定です。新棟では屋上の一部に実験スペースが設けられ、屋上緑化、高反射性塗料、保水性材料などが都市空間と室内の熱環境に与える影響について長期観測を行う予定にしています。

連絡先
神戸市灘区六甲台町1-1
TEL：078-803-6057 or 6062
http://www.arch.kobe-u.ac.jp/~ta1/index.html


左より竹林英樹助手、千田美保技官、森山正和教授

●研究スタッフ

森山正和／1947年生まれ
・専攻：建築・都市環境工学
・著書：共著に「新建築学体系８巻自然環境」など
竹林英樹／1973年生まれ
・専攻：建築・都市環境工学
・著書：共著に「都市環境のクリマアトラス」
千田美保／1977年生まれ
・専攻：建築・都市環境工学

[お知らせ] information

ATC関西学生卒業作品展Vol.7

企画段階から学生が意見を交換しあいながらつくり上げていく卒業作品展「創っ展ーTSUKUTTENー」は、約300人の参加者を予定して開催される。
昨年に引き続き、「ATC関西学生卒業作品展2002賞」では出品作品の中から優れた作品も顕彰する予定。

■「創っ展ーTSUKUTTENー」（入場無料）
会　場　ATC・ITM棟12階特設会場
　　大阪市住之江区南港北2-1-10
会　期　2002年3月20日(水)～24日(日)10：00～18：00
主　催　アジア太平洋トレードセンター㈱
後　援　大阪府、大阪市、㈳日本建築協会ほか6団体
参加校　大阪大学、大阪市立大学、大阪工業大学、大阪産業大学、大阪芸術大学、近畿大学、京都精華大学、神戸大学、滋賀県立大学、神戸芸術工科大学、摂南大学、奈良女子大学、和歌山大学、三重大学、大阪工業大学短期大学部、京都嵯峨芸術大学短期大学部の16大学
　　アートカレッジ神戸、大阪ヒューマンアカデミー、京都芸術デザイン専門学校、京都国際建築技術専門学校、中央実務専門学校、兵庫科学技術専門学校の6専門学校

■ATC関西学生卒業作品展2002賞ー公開講評会ー
日　時　2002年3月20日(水)11：00～17：00
会　場　ATC・ITM棟9階セミナールーム（200席）
審査員　池上俊郎（建築家）淺石優（日本設計）飯田吉秋（インダストリアル）西堀晋（プロダクト）山崎晶（インテリア）榊原悠（アート）山田崇雄（アート）

■記念講演会（入場無料）
会　場　ATC・ITM棟9階セミナールーム
定　員　200人（先着順・予約不要）
講　師　●間宮吉彦（インテリアデザイナー）
　　2002年3月21日(木)15：00～16：30
　　●西堀　晋（プロダクトデザイナー）
　　2002年3月22日(金)15：00～16：30
　　●難波和彦（建築家・大阪市立大学教授）
　　2002年3月23日(土)15：00～16：30

TO BE OR NOT TO BE


Self Portrait as a Tree

イギリスの女性アーティスト、サム・テイラー・ウッドの日本で初めての個展。
1998年から撮り始めたシリーズ「Soliloquy」を中心に、写真約10点を展示中。
会期　2002年1月9日(水)～3月17日(日)
　　11：00～19：00（日・祭日は18：00まで）
　　火曜日休み、入場無料
会場　SHISEIDO GALLERY　TEL 03-3572-3901
　　東京都中央区銀座8-8-3　東京銀座資生堂ビル

京都建築学生之会合同卒業設計展

京都建築学生之会は、京都で建築を志す学生の交流と、「建築」を媒介としてより一層多くの人たちとコミュニケーションを図ることを目標として、1989年発足以来、活動を続けている。
合同卒業設計展archi-eggは1996、1997年の2年間は中断したが、1998年以降は毎年、学生有志の創造性、提案、夢を社会へ発信してきた。

■展覧会「archi-egg」（入場無料）
会　期　2002年3月14日(木)～17日(日)
　　10：00～19：00　会期中無休
会　場　京都駅ビル　東広場　スカイウェイ
　　ホテルグランビア前テラス
出　品　京都建築学生之会を構成する京都大学・京都工芸繊維大学・京都府立大学・京都精華大学・京都造形芸術大学・立命館大学の学生有志制作の設計図面・スケッチ・模型・CG・写真で表現した卒業設計作品

■シンポジウム「建築の可能性」
日　時　2002年3月16日(土)19：00～
会　場　キャンパスプラザ（京都駅西側）
ゲスト　阿部仁史、小嶋一浩、藤本壮介ほか

■学生討論会「学生討論○と×」
日　時　2002年3月17日(日)19：00～
会　場　キャンパスプラザ（京都駅西側）
参加者　京都建築学生之会、K-architects（近畿圏建築系学生集団）ほか全国建築系学生

詳しくは、http://www.archi.kyoto-u.ac.jp/archi-egg/で。

「点線」～東京デザインセンター新人賞の進行形展～

建築、プロダクト、テキスタイル、インテリア、ヴィジュアルなど様々なデザイン分野の学生に、社会とつながる発表の場を提供してきた東京デザインセンター。
過去8年間に21大学、約3000人の学生が「卒業制作展月間」に作品を出展している。この作品の中から、審査員（委員長：小林康夫、委員：芦原太郎、小嶋一浩、三宅理一氏ら1～8回まで14委員）により「東京デザインセンター新人賞」を選定してきた。
今春、東京デザインセンターでは、この賞を通過し社会へ進出したデザイナーたちのその後にスポットを当てた展覧会を開き、当時と今の作品を同時に発表する。
会期　2002年4月1日(月)～9日(火)11：00～17：00
会場　東京デザインセンター地階・ガレリアホール
　　品川区東五反田5-25-19　TEL 03-3445-1121

32人の現代作家が競う「東日本の美ー山」

国内32人の現代作家（安達時彦／阿部幸洋／有元容子／伊藤深游木／井上秀樹／今成建史／大瀧隆夫／大谷善男／大場再生／岡野博／川口起美雄／川崎麻児／北久美子／絹谷幸二／櫻井孝美／佐藤泰生／鴨剛／柴田長俊／島村信之／諏訪敦／高橋秀年／舘野弘／玉川信一／中村輝行／藤井勉／山羽斌士／山家利治／横山貞二／吉岡正人／若月公平／和田義郎／渡部満）に、東京ステーションギャラリーは新たに50号サイズで東日本の山々を描くことを依頼し、今春、これらの新作と既存作品を60余点展示している。
会期　2002年2月9日(水)～3月24日(日)
　　10：00～19：00（土日祝日は18：00まで）


渡部　満《散策する奈緒子ー八甲田遠望》2001年　油彩

休館日は月曜日
会場　東京ステーションギャラリー
　　JR東京駅・丸の内中央口下車・赤煉瓦駅舎
入場　一般700円、大高生500円、中小生300円

神戸東灘、豊雲記念館の春期一般公開

いけばな作家・小原豊雲氏がその創作活動の糧としてこよなく愛した東南アジア地域の民族資料、中南米の出土遺物などを常設展示している豊雲記念館は、春と秋に記念館建物内とそのコレクションを一般公開してきた。コレクションの中でも、ペルー・アンデス文化の紀元前～インカ帝国までの多彩な土器、染織品は日本では珍しく、世界的な評価を得ている。
普段は非公開の「豊雲記念館」が、今年は下記のとおり公開される。期間中無休。詳しくは、㈶小原流総務経理課（TEL 078-811-0871）へ。
会　期　2002年3月30日(土)～4月14日(日)―春期―
　　2002年10月19日(土)～11月4日(月)―秋期―
時　間　10：00～16：00（入館は15：30まで）
所在地　豊雲記念館
　　神戸市東灘区住吉山手4-12-70
　　最寄駅／阪急御影駅下車北へ300m、JR住吉駅下車北へ2㎞、阪神御影駅下車北へ2㎞
清家清氏の設計による「小原流盛花記念センター」3棟のうち、今回公開されるのは「豊雲記念館」のみ。「小原流家元会館」は非公開。
ちなみに「豊雲記念館」の内部は、本号の表紙を飾っている。

「素材とかたちの科学＝建築とE．トロハ展」

IASS（国際シェル・空間構造学会）の提唱者で、初代会長エドゥアルド・トロハ・ミレット（1899～1961）が大切にした「素材とかたちのデザイン＝建築」を日本の子供や若者に伝えていこうという展覧会が、名古屋を皮切りに、１年間で全国９都市を巡回する。

E．トロハは20世紀初めの60数年で構造と建設形態を発達させたスペインのエンジニアであり、代表作としてアルヘシラスの市場（1933年）、サルスエラの競馬場（1935年）、ラス・コルツ・サッカー競技場（1943年）、モロッコのフェダーラ（1956年）とシディ・ベルヌーシ（1961年）の給水塔などが残されている。

展覧会は、E．トロハの業績をパネル約150点、模型約15点で示し、トロハの影響を受けた各地の建築を紹介。そして限定した量の「紙と石膏」でスパン30cmの「かたち」をデザインし、自分の体重を支えるという一般の人々参加型チャレンジ展の三部構成からなる。

会期　2002年３月９日（土）～３月23日（土）
11：00～17：00　土・日は10：00～17：00

会場　ATC・ITM棟４階にあるWTCギャラリー
大阪市住之江区南港北1-14-16

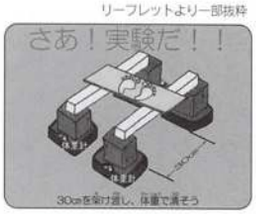
主催　IASS組織委員会／トロハ展実行委員会

監修　川口衛（国際シェル・空間構造学会会長）

詳細は㈱TIS & PARTNERS（TEL 03-3402-9225）内の同事務局へ。

紙と石膏による「チャレンジ展」での実験日は３月９日、10日、16日、17日、23日の土曜、日曜日。11時、13時30分、15時30分の１日３回各１時間程度。参加希望者は大阪市立大学工学部建築構造学C棟406（平日10時～17時、３月15日まで）、またはWTCギャラリー（ATC／ITM棟４階、11時～17時、３月17日まで）の窓口に申し込まれたい。申し込み時に「実験日を決定」し「材料を配付」する。材料費無料。

リーフレットより一部抜粋



「芸術の館」（兵庫県立美術館）４月に開館記念展

昭和45年以来築き上げてきた兵庫県立近代美術館のコレクション（小磯良平や金山平三ら郷土ゆかりの美術家の作品、吉原治良や白髪一雄などの具体美術協会の前衛美術、ロダンの彫刻など）7000点を引き継ぎ、新しく村上華岳の日本画、小出楢重「ピジャマを着たる女」、コンスタンティン・ブランクーシの彫刻「新生」、ジョージ・シーガルの彫刻、横尾忠則の現代美術を収蔵品に加えて、兵庫県立美術館（「芸術の館」）が、神戸市中央区脇浜海岸通に誕生する。

４月４日～７日の開館記念式典では、当美術館設計者安藤忠雄氏、安藤氏設計の国内外の美術館長、兵庫県知事、木村重信氏、高階秀爾氏らが出席し、会議、記念てい談、特別講演会を行う予定。

４月６日（土）から開館記念展第一弾として「松方・大原・山村コレクションなどでたどる『美術館の夢』」が開催され、７月から「美術の力ー時代を拓く７作家ー」、９月には「ゴッホ展」が予定されている。

■松方・大原・山村コレクションなどでたどる「美術館の夢」

会　期　2002年４月６日（土）～６月23日（日）
休館日月曜日（ただし４月29日、５月６日は開館、４月30日、５月７日は休館）
開館時間は２月現在未定

会　場　兵庫県立美術館・企画展示室とギャラリー
神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
阪神岩屋駅より徒歩８分、JR灘駅徒歩10分
TEL 078-262-0901

観覧料　一般1300円、大高生900円、中小生500円
兵庫県内在住の中小生は「ココロンカード」の提示により無料

●第１章／「美術館」誕生
――日本最初の美術館から画期的な現代美術展まで、美術館設立に向けて集められたコレクション。また実現しなかった美術館構想（CGによる映像や模型）。

●第２章／国が集める美術と在野の「美術館」
――明治末から大正期、国が最初に集め始めた近代日本美術の名品。

●第３章／西洋美術への情熱
――大正から昭和へ。川崎造船初代社長・松方幸次郎の元コレクションの名作。クールベ、コロー、マネ、モネ、ドガ、トゥールーズ＝ロートレック、ピカソなど。また、倉敷紡績社長・大原孫三郎のコレクション―ミレー、シャヴァンヌ、ルノワール、ボナール、マティスーなど名品９点。

●第４章／現代美術と美術館
――第２次大戦後の現代美術と美術館の対立関係を考える。無審査・自由出品の現代美術展、日本アンデパンダン展の雰囲気を再現。また、1960年代、新潟長岡に日本で最初の現代美術館「長岡現代美術館」がオープン。今は幻となったこの美術館を藤田嗣治、斎藤義重、加山又造、ダリ、ウォーホル、ローゼンクイスト、ステラなど大光コレクションの名品とともに紹介。


白髪一雄「超現代三番叟」1957年

さらに、現代美術の大コレクター山村徳太郎による、白髪一雄、元永定正らの作品なども展示。

本展の招待券10枚を希望者１人１枚プレゼント。希望者は、日本建築協会（TEL 06-6348-0635）へ。

「向井潤吉の絵画と写真」展


「遅れる春の丘より」（長野県北安曇郡）1986年ごろ

草屋根の民家をモチーフに、昭和63年までの43年間にわたり全国各地を巡り民家を描き続けた向井潤吉。明治38年京都に生まれ、昭和８年に東京都世田谷区弦巻にアトリエを構え生活の拠点とし、平成７年に生涯を閉じた。この住まい兼アトリエは今、世田谷美術館分館・向井潤吉アトリエ館として公開されている。

向井潤吉の生誕100年を記念して世田谷美術館で開催される「向井潤吉の絵画と写真ー絵画が語る風景、レンズが見た風景ー」展では、世田谷美術館所蔵の油彩、素描、そして民家や風景をモチーフとする向井自ら撮影した写真を展示する。この写真は初公開となる。

会期　2002年３月９日（土）～５月12日（日）
10：00～18：00　休館日月曜（祝日のとき翌日）

会場　世田谷美術館１階・企画室　世田谷区砧公園1-2
東急田園都市線「用賀」駅下車徒歩17分
03-5777-8600

観覧料　一般800円、大高生600円
中小生／65歳以上400円

展示　油彩約60点（民家、町並みを題材とする）
水彩約50点（民家および人物など）
写真パネル約80点（昭和36～63年撮影）

この展覧会は、2002年６月22日（土）～８月18日（日）には、神戸市立小磯記念美術館を巡回する予定。

本展の招待券10枚のみ、希望者に先着順１人１枚プレゼント。日本建築協会（TEL 06-6348-0635、FAX 06-6348-0634）へ。

そごうのファサード保存を要望

村野藤吾の設計したインターナショナルスタイルの建物、そごう百貨店大阪店（昭和10年竣工）の建て替え計画で、仄聞するところでは設計段階の話も出ているという。

大阪ミナミに残る大丸百貨店とそごう百貨店が連続する御堂筋側の都市景観を残すための要望書を、明治建築研究会（代表・柴田正己氏）がそごう百貨店、大阪市長、大阪府知事、文化庁長官あてに提出した。

明治建築研究会では、大阪市民に親しまれたこの歴史建築を取り壊すのではなく、ファサードは保存し改善改修によってその価値を高めながら活用再生することを提案している。

日本建築協会

月間の動き

【平成14年 1 月分】

編集委員会

第10回編集委員会
16日　6時～8時30分・於本会会議室
出席者　宮田委員長ほか6名
議　事　(1) 2月号「再生・リサイクル―循環型社会をめざして」特集経過報告
(2) 3月号「愛知・名古屋―21世紀・大都市の再生と活性化の動き」特集経過報告
(3) 4月号「生活環境の安全・安心―part 2―」特集報告
(4) 2月号表紙写真案検討
(5) 14年度特集企画及び分担
(6) 14年度収支予算案検討
(7) 第2回読者と選ぶ「建築と社会賞」の件
(8) 収支状況報告

第3回計画分科会―計画系―
15日　7時～9時30分・於本会会議室
出席者　吉村委員ほか4名
議　事　4月号「生活環境の安全・安心―part 2―」(仮題) 特集の企画

第10回法令分科会
16日　2時～4時・於本会会議室
出席者　中島幹事ほか2名
議　事　(1)「法令コーナー」の企画
(2) 6月号法令特集の企画

第5回計画分科会―建築計画系―
17日　7時～8時30分・於本会会議室
出席者　管野幹事ほか5名
議　事　9月号特集のテーマ案について検討

第10回構造分科会
18日　6時～7時45分・於本会会議室
出席者　木下幹事ほか7名
議　事　(1)「構造の頁」の企画
(2) 10月号構造特集の企画

第10回設備分科会
22日　6時～7時45分・於本会会議室
出席者　近藤国夫幹事ほか5名
議　事　(1)「研究最前線」の企画
(2)「設備の頁」の企画
(3) 8月号設備特集の企画

第10回広告企画小委員会
23日　4時～5時30分・於本会会議室
出席者　宮田委員長ほか9名
議　事　(1) 2月号、3月号特集経過報告
(2) 独自特集企画
(3) 収支状況報告

第4回計画分科会―インテリア・住宅系―
24日　6時30分～8時30分・於本会会議室
出席者　西田幹事ほか6名
議　事　7月号特集について

第10回作品作風小委員会
24日　7時～8時30分・於本会会議室
出席者　赤木副委員長ほか4名
議　事　(1) 作品の選定
(2) 作品の掲載状況並びに掲載予定の報告
(3)「gallery」掲載報告・予定

事業委員会

第6回事業委員会
15日　6時～8時15分・於本会会議室
出席者　伊藤副委員長ほか10名
議　事　(1) 各小委員会からの報告と検討
(2) 14年度事業計画案について

第6回若い会員の集い小委員会
8日　7時～9時20分・於本会会議室
出席者　杉本副委員長ほか4名
議　事　(1) 実施報告と今後の企画について
(2)「30's EYE出版」について

第6回情報小委員会
9日　6時～7時30分・於本会会議室
出席者　天野副委員長ほか8名
議　事　実施報告と今後の予定について

第6回見学会小委員会
10日　6時～7時15分・於本会会議室
出席者　伊藤幹事ほか8名
議　事　実施報告と今後の予定について

出版委員会

第9回出版委員会
17日　6時～7時15分・於本会会議室
出席者　山田委員長ほか7名
議　事　(1)＜プロのノウハウ＞と特装本の経過報告
(2) 今後のテーマと執筆者選定
(3)＜プロのノウハウ＞講座（第25回）の企画
(4) 14年度の事業計画案について

第7回結露のトラブルと解決策小委員会（仮称）
10日　6時～8時15分・於本会会議室
出席者　中川主査ほか6名
議　事　(1) 結露のトラブルと解決に関して
(2) 今後の作業予定等について

教育委員会

第1回講習会小委員会
11日　6時～6時40分・於本会会議室
出席者　藤井副委員長ほか6名
議　事　建築工事実務講習会開催について

第3回工高生教育小委員会
22日　6時～7時40分・於本会会議室
出席者　和田副委員長ほか10名
議　事　(1) 次年度工高生デザインコンクール募集規定原案の検討
(2) 今後の作業予定について

建築クラブ

第356回建築クラブ新年宴会
8日　6時～7時30分・於大阪全日空ホテル
参加者　27名

入会者(敬称略)

〔個人会員1名〕　浅井　純 (鴻池組)

---

information

くらしの中のペイントをみつけよう―PAINT SHOW 2002―

一般の人にペイントの魅力を伝えることを目的とした「PAINT SHOW」は㈳日本塗料工業会、日本塗料商業組合、㈳日本塗装工業会、日本塗料協会で構成される実行委員会が主催し、4年に一度開かれている。
3回目の今回は「生活彩典／くらしをとりまくペイントのすべて」をテーマに、色彩によるライフスタイルの提案や、知られざるペイントの機能・技術の紹介、来場者参加型のワークショップ、ジミー大西氏と子供たちによるアート・コラボレートイベントなどが行われる。

会　期　2002年4月4日(木)・5日(金)・6日(土)
10：00～17：00
会　場　東京ビッグサイト／東館1・2・3ホール
東京都江東区有明3-21-1
入場料　当日券1000円、12歳以下は無料
構　成　●テーマゾーン――リフォーム講座、ペイント実験室、ペイント基礎講座、ライブペインティング、Jimmy's PAINTING WORLD 等
●アプローチゾーン――ペイント製品や技術をパネルと実物で紹介
●セミナースペース――専門家向けのテーマセミナー、国内外出展約150社による最新製品や技術のプレゼンテーション

Jimmy's PAINTING WORLD



鮮やかな色づかいが国内外で高い評価を得ているジミー大西さんが、バーカッション音楽に合わせて作品を制作する。
タレントから画家に転身したジミー大西さんの、独特の画風の作品、オブジェも数多く展示。

西日本トータルリビングショー

西日本地域で最大規模の住宅産業見本市として定着してきた「西日本トータルリビングショー」は今年21回目を数える。主催は、㈶西日本産業貿易見本市協会。「みんなの住まい計画」のテーマのもとに、輸入住宅建材、住宅設備機器、各種建築資材、インテリア家具・小物、エクステリア、住宅情報などが出展される。

会　期　2002年3月14日(木)～17日(日)10:00～17:00
会　場　西日本総合展示場・新館
北九州市小倉北区浅野3-8-1
入場料　200円
会期中、記念セミナー、インテリア教室、コミュニティ・ビジネスセミナー、リフォームコーナー、ガーデニングコーナーなどの特別企画も開催。詳しくはホームページを。http://www.nishiten.or.jp/tlshow/

空調・衛生・クリーンルーム設備
（設計・施工）

朝日工業社

本社・本店　東京都港区浜松町1-25-7　電話03(3432)5711
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話06(6302)2270
支　　店　北海道/東北/北関東/横浜/名古屋/中国/九州

商品は空気です。

熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03—3344—1851(大代)　大阪本社☎06—6448—3603(代)
大阪支社　☎06—6448—5851(代)　名古屋支店　☎052—211—1535(代)　中国支店　☎082—247—5541
九州支店　☎092—431—2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)6441-8231
東京本社　〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目15番10号　電話(03)3261-8231
支　　社　名古屋・福岡
支　　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

より快適な水環境をめざして
給排水衛生設備，冷暖房設備，消火設備の設計，施工

株式会社 西原衛生工業所 大阪本店

大阪本店　〒531-0071 大阪市北区中津六丁目8番4号
TEL 06-6458-3628(代表)
本　　社　〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目6番18号
TEL 03-3452-7441(代)
支　　店　札幌・東北・新潟・東関東・横浜・名古屋・九州

空気調和設備　産業設備
給排水設備　水処理施設
電気設備　環境施設

三機工業株式会社

取締役社長　宅　清光
常務取締役関西支店長　本木　満

関西支店　大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル　電話 06(6350)8100
本　　社　東京都千代田区有楽町1—4—1　電話 03(3502)6103
支　　店　北海道・東北・関東・千葉・横浜・北陸・名古屋・京都・神戸・四国・中国・九州

人と都市の快適な環境をつくります

営業種目 設計・施工・監理
●電気設備
受変電・幹線
動力・制御装置
電話、放送、インターホン
防犯、防災
中央監視制御
システム計装
●空調・給排水・衛生設備
空気調和
工場配管
水処理
コージェネレーション
クリーンルーム
●プラント
プラント計装
システムエンジニアリング
●情報通信設備
情報通信ネットワーク
情報処理
通信システム
放送システム
●電力流通設備
受変電
架空送配電
地中送配電

まちに集いあうものづくりカンパニーをめざす。
住友電設株式会社　大阪本社 〒550-0011 大阪市西区阿波座2-1-4 ☎(06)6537-3400
東京本社 〒105-0014 東京都港区芝2-2-17 ☎(03)3454-7311

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話(6352)1131(代)
本　　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2—22　電話(3667)3431(大代)
支　　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

CHOYO

人がいる多彩なフィールドで、
新しい限界に挑戦しています。

電気設備設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本貴士

本　　社　〒530-0005 大阪市北区中之島三丁目2-4(朝日ビル)
TEL 06(6385)1361(代)　FAX 06(6385)1050

空気調和・衛生設備・設計施工

株式会社 三晃空調

本　　社　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話06-6363-1671
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話03-3344-7911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話06-6363-1371
支　　店　仙台・横浜・名古屋・京都・神戸・広島・福岡

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
関　西　支　社

常務取締役支社長　髙橋幸久

大阪市中央区高麗橋4丁目3番7号　電話大阪(6202)0325～9番
本　　社　東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支　　社　北海道・東北・丸ノ内・新宿・神奈川・東関東・北関東・中部・九州

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む

株式会社精研

本　　社　大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル1・2階)
〒542-0066 電話 大阪 (06) 6768—5031代表
メンテナンス　電話　大阪 (06) 6768—1651代表
東京支社　東京都文京区小石川1丁目12番14号(日本生命小石川ビル7階)
〒112-0002　電話 (03) 5689—2351代表

電気設備設計施工

株式会社 三興社

代表取締役社長　上田正雄

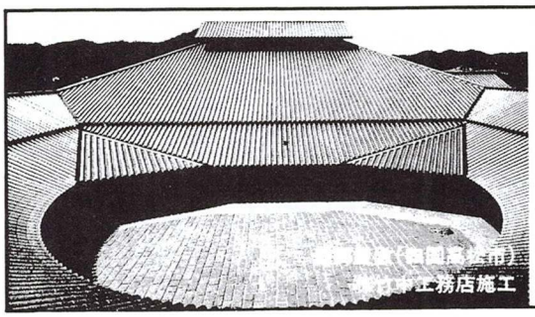
本　　社　大阪市中央区北浜3—6—13（日土地淀屋橋ビル）
電　話　06（6205）3671（代）
支　　店　東京都中央区日本橋茅場町2丁目17番3号
電　話　03（3666）1478（代）
営業所　堺・泉州・泉南・滋賀

OKUJU
スペース クリエイター
建築に革命をもたらした技術がある
「大規模天井無足場工法」
内外装創作パネル・システム天井・間仕切
株式会社 オクジュー
本社
大阪市北区西天満5丁目3番7号 〒530—0047
TEL(06)6312—4131 FAX(06)6312-7998
東京・九州・横浜・名古屋・南九州・京都

学校建築のトータルアドバイザー
二葉工業株式会社
黒板・掲示板・家具
電動黒板装置・サイン・スクリーン
〒547-0001 大阪市平野区加美北3—4—5
TEL06(6792)5858 FAX06(6792)2810

＊奉仕感謝の店
タイル及び規格石一式施工
株式会社 川岸窯業商店
本社 大阪市西区西本町1の13の33
TEL.06—6532—0641(代表)
FAX.06—6535—5181
天理営業所 天理市丹波市新町49

●情報処理●企画・制作●編集●画像処理●印刷・製本
人と技術をクリエイティヴで結びます
日本データネット株式会社
本社 〒530-0043 大阪市北区天満1-1-10 TEL.06-6352-7502 FAX.06-6355-2714
制作部 〒530-0043 大阪市北区天満1-9-19 TEL.06-6352-0943 FAX.06-6355-5533
印刷工場 〒530-0043 大阪市北区天満2-5-15 TEL./FAX.06-6352-1551


あらゆる屋根工事の相談は、
ナニワ瓦株式会社
〒556-0024
大阪市浪速区塩草一丁目二番三号
☎ 六五六一～七四五四
六五六一～七四一六
ファックス 六五六一～七四五四

Digital Pri-Press
AOBA PRINTING CO.,LTD.,
代表取締役社長 依藤孝行
青葉印刷株式会社
〒534-0027 大阪市都島区中野町2丁目10番11号
Phone.06-6351-5428 Fax.06-6351-5299

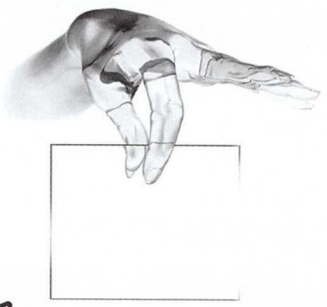
デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA（膨張性混和材） コンクリートのひびわれ防止に
●デンカタスコン（グラウト用無収縮材） 鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
●デンカキューテックス（止水・補修用急硬セメント） コンクリート躯体の漏水補修に
●デンカES（土質安定用急硬材） 地盤補強用薬注入
●デンカΣ1000（製品用超高度混和材） コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・網野（07727）2—2220
舞鶴（0773）76—0133
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）6332—6861
TEL 東京（03）3272—8501
小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）6443—6181
光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）6252—6000
東郷化成株式会社
TEL 滋賀・守山（0775）83—2381
TEL 大阪（06）6877—1581

AGC
ASAHI GLASS COMPANY



くすみが消えた。21世紀、ガラス美白宣言。

新・高透過ガラス誕生。



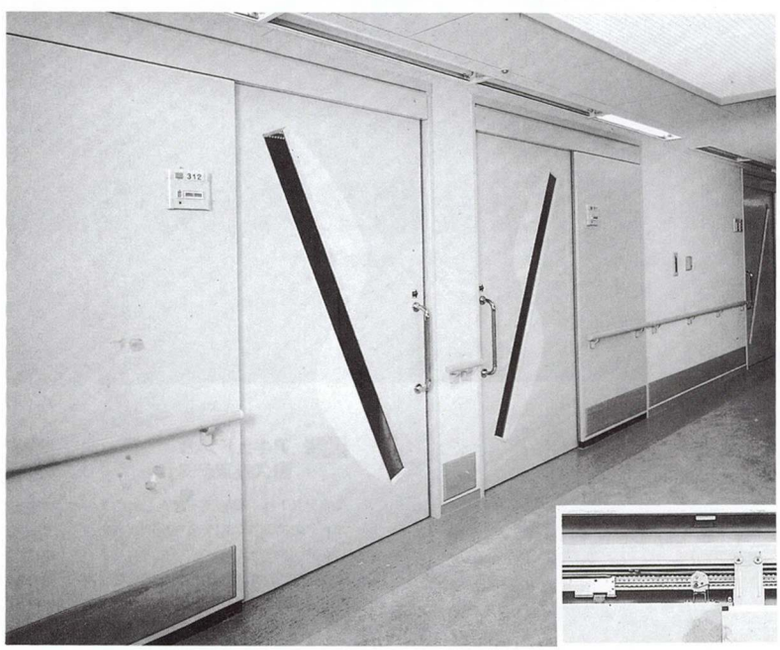
Claritia

Super Vision Glass ・・・・・・ クラリティア

限りなく美しい無垢の透明感を、開口部からファサードやショップ、ミラーへ。多くの建築家がこだわりつづけていた板ガラスのくすみ、ガラス色を消した新・高透過ガラス誕生。

旭硝子株式会社 硝子・建材事業本部
カスタマーセンター TEL 03(5610)0253(9:00～17:00／土日・祝定休)
http://www.asahiglassplaza.net/kenchiku/

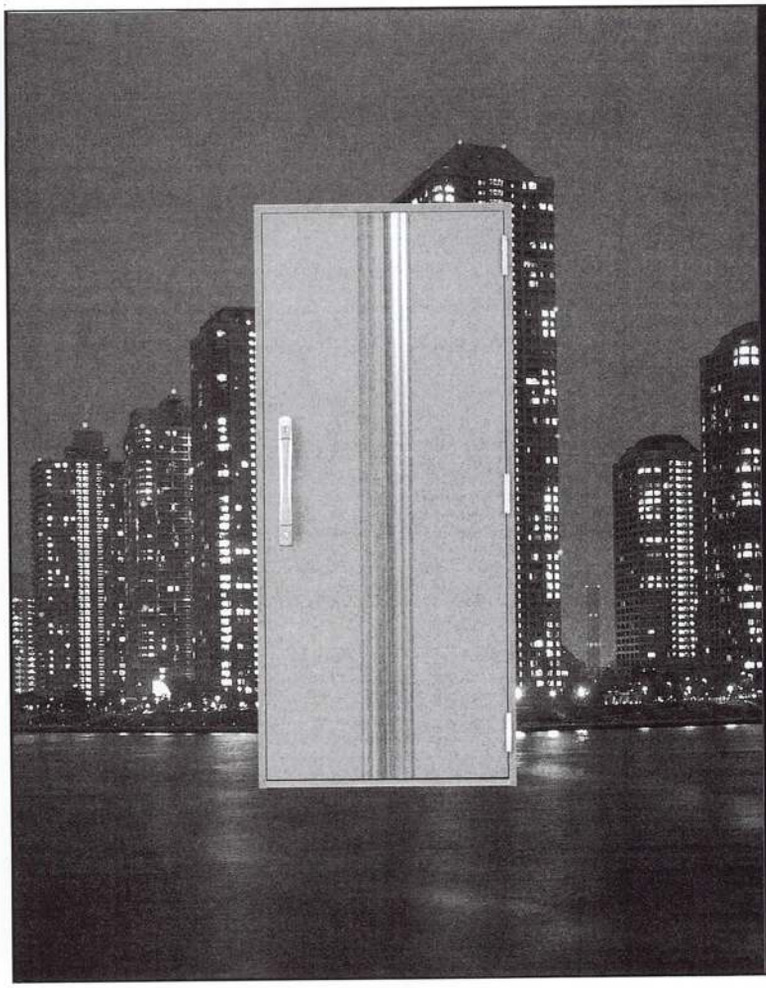
いつまでも静かで滑らか、抜群の耐久性を誇る
アキュドアユニット



くろがねのアキュドアユニットはヘルスケア施設専用の吊り下げ式引戸のパイオニア、床にレールなどの障害物がなく、高精度のリニアボールベアリング式の独自のレール機構は施設の耐用年数に匹敵する300万回の開閉テストをクリア、いつまでも軽くて静か、その耐久性を実証しています。
昭和52年に発売以来、医療施設や高齢者施設に最適な多くのメリットをもつ横引戸として、数多くの施設でご採用いただいていることがその信頼性を物語っています。

くろがね

株式会社くろがね工作所
●東　京／〒108-0014 東京都港区芝5丁目29-20（三田全日空ビル） ☎03(3455)2171
●大　阪／〒550-0013 大阪市西区新町1丁目4-26（四つ橋中央ビル） ☎06(6538)1060
●名古屋／〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目27-14（朝日生命栄ビル） ☎052(251)6221



三和シャッター

ドアにまでこだわりのあるマンションは、
きっといいマンションに違いない。

間取りや広さだけでなく、住まいの安心を守る玄関ドアにまでこだわってこそ本当の意味でいい住まいと呼べるのではないでしょうか。三和の「トレドール サントル」はデザイン性はもちろん操作性や防犯性、防火性など細部にいたるまでとことんこだわり抜いたマンションドア。美しいフォルムは進化する都市空間においても見事に溶け込み、住まう人の多様なご要望に高いレベルでお応えします。

三和のマンションドア

トレドール サントル

三和シヤッター工業株式会社

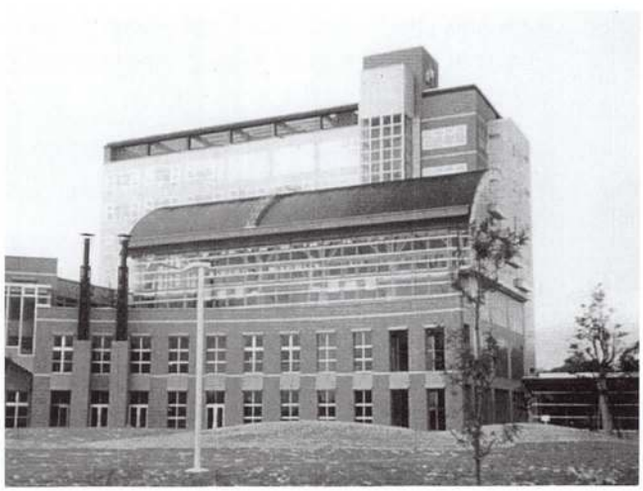
本社 〒163-0478 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル52階 ☎03-3346-3011(代表)
三和のホームページ http://www.sanwa-ss.co.jp

ビル建材カンパニー

中部ビル建材支店 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-6-13 ☎052-582-3050

自然の恵みを可能な限り利用して、屋根自体が発電する新システム

屋根材一体型太陽光発電システムルーフ



■50年にわたって長尺金属屋根施工に携わってきた屋根メーカーの視点から、アモルファス太陽電池を屋根材にしました。

■太陽光発電機能を持った屋根材とご理解ください。
従って屋根機能（水密性、耐風強度、耐候性）も万全です。

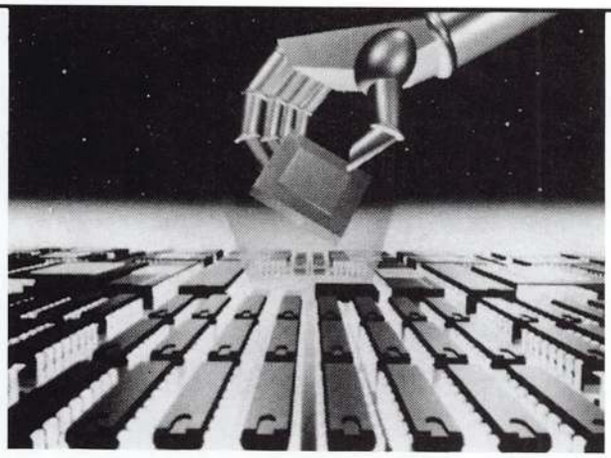
■表面はフッ素樹脂フィルムを採用し、保護ガラスを使用していないので、反射公害もなく周辺の景観にも調和します。

■防火・耐火認定も取得済です。

■太陽光発電システムも理解している屋根メーカーです。
太陽電池の周辺屋根工事もご遠慮なくご相談下さい。

三晃金属工業株式会社

名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル4F TEL 052(582)0311(代)・FAX 052(582)3282
本　　社 〒108-0023 東京都港区芝浦4-13-23 MS芝浦ビル11F TEL 03(5446)5608・FAX 03(5446)5631



業務内容
- 工場設備・ビル設備の販売及び据付
- 産業用電機・電子機器の販売
- 家電製品及び住宅用設備機器の販売
- 情報通信機器、制御システムの開発・製造
- 洗浄装置、検査装置の開発・製造
- 空調設備、クリーンルーム等の設計施工・保守
- 電気工事、通信工事の設計施工・保守

東朋テクノロジー株式会社

取締役社長 富田英之

本　社／〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目10番22号　TEL(052)251-7211(代)
工　場／〒492-8074 稲沢市下津下町東五丁目1番地　TEL(0587)24-1211(代)
事業所／豊田・名古屋南・大垣・江南・上海駐在員事務所/上海東朋電子技術有限公司

三協アルミ



那智勝浦町下里中学校　所在地／和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字下里480　建築主／那智勝浦町
設計／株式会社 富松建築設計事務所　施工／丸満組・那智建設 J.V.　竣工／平成12年3月（敬称略）

アルミ形材屋根一体型　目隠しルーバー一体型

太陽光発電システム

弊社では太陽光発電システムを建築の一部とし、意匠性と性能を両立させる商品設計に取り組んでおり、太陽電池付のアルミ形材屋根および目隠しルーバーを開発いたしました．中低層建築に対応するものとしてご案内いたします．

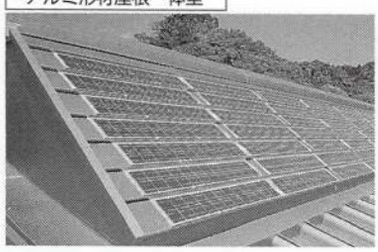
中低層建築に対応できる
太陽電池付アルミ屋根材・目隠しルーバー材です

- 目隠しルーバー一体型は、ルーバー材の意匠性をもたせています．太陽電池は、単結晶・多結晶に対応できます．
- アルミ形材屋根一体型は、アルミ形材の屋根材に太陽電池を組み込んでおり、従来の金属屋根材としての意匠性をもたせています．太陽電池は、アモルファスと単結晶シリコンの長所をあわせもち、夏場の温度上昇による効率低下も少なく、高い出力が得られます．

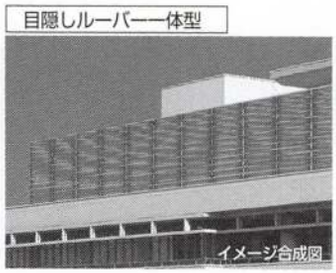
軽量化と施工性に配慮しています

- 太陽電池付アルミ屋根材……15.2kg／㎡
  屋根一体型は雨仕舞いや耐風圧性、施工性に優れたアルミ押出形材の屋根材と太陽電池を一体化、直接屋根下地材に取り付けできます．
- 太陽電池付ルーバー材
  太陽電池とルーバーを一体化することにより、すっきりした外観が得られます．また、太陽電池なしルーバーとの併用が可能です．

アルミ形材屋根一体型



目隠しルーバー一体型



イメージ合成図

三協アルミニウム工業株式会社
名古屋ビル建材支店/〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-9-18 TEL.052-588-2055
http://www.sankyoalumi.co.jp/

※ 2001年5月15日現在（当社調べ）

生活者みんなの声から生まれた
日本初※ノン・レールサッシ。

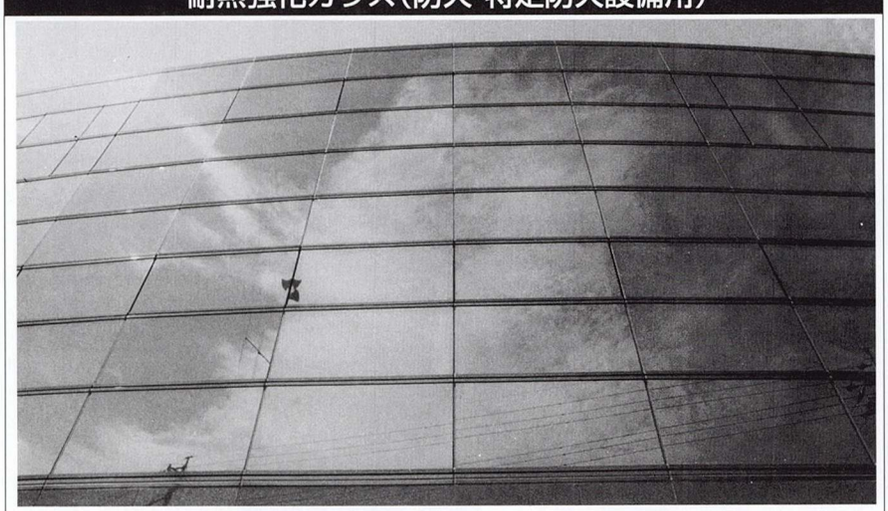


ユニバーサルデザインサッシ
ウォーキング 新発売

立山アルミニウム工業株式会社
本　　社/〒933-8602 富山県高岡市早川550〈ビル建材事業部〉　TEL(0766)20-3321
名古屋支店/〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-26-14シノダビル4F　TEL(052)933-3302
立山アルミ ホームページ　http://www.tateyama.co.jp/

Fire And Safety Rated Glass
パイロクリア®

耐熱強化ガラス（防火・特定防火設備用）



特許出願中
高強度で安全なワイヤレス防火ガラス

特　長

●高強度で安全
超強化処理を施した耐熱強化ガラス

●多彩なカラーバリエーション
28色のカラーで建物に豊かな表情をつくりだします。

●ワイヤレス
網のないクリアな視界が得られます。

●ワイドなサイズ
最大寸法は3000×2000㎜（透明タイプ8ミリ）とワイドです。

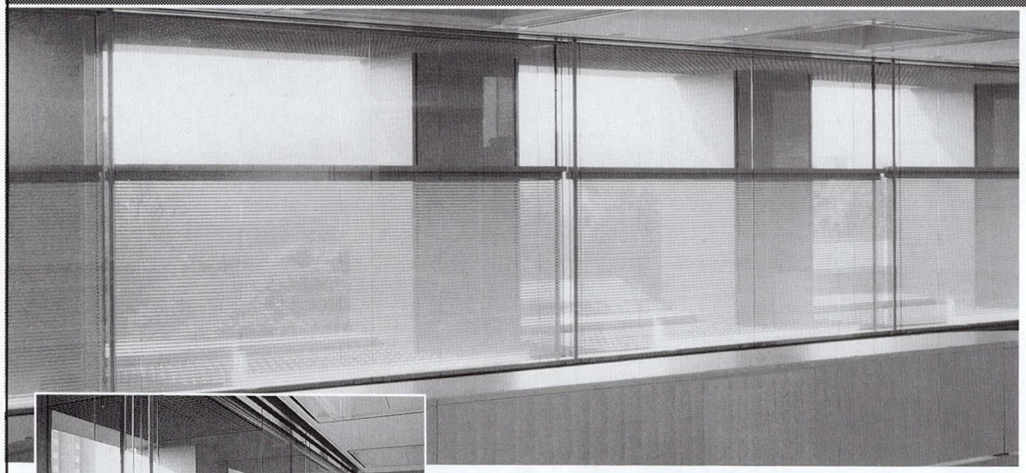
用　途

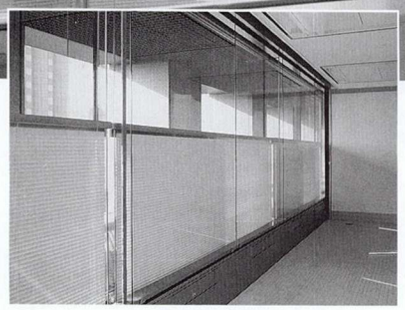
■防火設備用ガラス
通則認定サッシとの組み合わせまたは個別認定の取得

■特定防火設備用ガラス
個別認定の取得（8ミリ厚使用）

⊙日本板硝子株式会社
札 幌 011-241-7171/仙 台 022-712-5871/東 京 03-5443-0132/名古屋 052-962-7089/大 阪 06-6222-7534/広 島 082-263-3571
福 岡 092-451-5592/高 松 087-879-1641　ホームページ URL:http://www.nsg.co.jp/archi/index.html

上昇します。オフィスの快適指数。
クライマー式電動ブラインド（特殊仕様）





逆転の発想で、
効果的な光のコントロール。

通常のブラインドとは逆に、下から上へ閉じる特殊仕様ブラインドです。窓の下部を遮蔽することによって、時間で日射角度が変化する自然光を効果的にコントロール。上部は開放的な空間をつくる眺望スペースとして、また照明負担を軽減し省エネルギー効果を高める採光スペースとして、効果を発揮。オフィス環境の快適を確実にアップいたします。

- 下から上へ昇るクライマー式
- スラットの昇降・開閉が自在
- 上部の開放で楽しめる眺望
- 上部からの採光で省エネ効果

クライマー式
電動ブラインド

株式会社ニチベイ

本社/〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-4
中部支店/〒454-0022 名古屋市中川区露橋1-16-19　TEL.052-354-7011
ニチベイホームページ・アドレスhttp://www.nichi-bei.co.jp

●世界のロックメーカー

リモコンキーのボタンを押すだけで、楽楽（らくらく）施解錠！

電池式なので配線不要、取付けも簡単です。

楽楽（らくらく）Key

- ■錠の施解錠は扉に近づいて（1m以内）リモコンキーのボタンを押すだけ、音で確認もできます。
- ■リモコンキーの登録と抹消は錠本体の制御部で簡単に行え、鍵違い数は約2億6千万通りです。
- ■錠本体に電源・制御部・アンテナを一体化、安価にリモコンキーシステムが利用できます。
- ■電源配線工事が不要で取付けも簡単です。
- ■リモコン錠、リモコンキーの電池寿命は約1年、電池交換はドライバー1本で簡単にできます。

＊その他、エントランスの自動ドア、宅配BOX、駐車場ゲートなどリモコンキーとの連動も可能です。



MIWA

美和ロック株式会社
名古屋支店／名古屋市千種区千種3丁目37番13号 TEL.052(731)0555(代) 〒464-0858
東京本社／東京都港区芝3丁目1番12号 TEL.03(3452)5551(代) 〒105-8510
美和ロックについてはホームページでもご案内しています。http://www.miwa-lock.co.jp/

空冷ヒートポンプ式
熱回収外気処理空調機

KIMUKOH 熱回収外調機

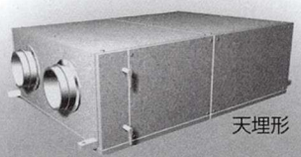
新冷媒 R-407C

ビルの呼吸器 ベストブレス

COP大幅向上
局所排気50%可

——処理風量350m³/h～15000m³/h——

- 「ベストブレス」は、外気処理と熱回収をヒートポンプ方式で同時に行うという本格派の熱回収外調機で、室温調節用の室内機と連携し、快適で健康的な室内空気環境を創造します。
- 排気熱を回収するため、COPが大幅に向上し省エネに大きく貢献、室内機の負荷を助けランニングコストを節減します。
- 全機能を一体に集約し冷媒配管の必要が無く、しかもコンパクトで低騒音のため、廊下、ホールなどの天井内や機械室、屋外などに設置し易くなりました。
また、熱源組込みでの性能アップにより室内機の台数を削減でき、設備全体のイニシャルコストを安くします。
- 機種により給気風量の25%、OAバイパス方式により50%まで能力に影響なく局所排気可能。室内の正圧・負圧にも対応します。
- 運転は室内排気を通風するため冬期の着霜や夏期のオーバーヒートが少なく、空冷ヒートポンプ式が弱いとされていた寒冷地でも心配なく使用できます。


天埋形


床置屋外形

木村工機株式会社
本社／〒541-0059 大阪市中央区博労町4丁目2番15号ヨドコウ第2ビル
TEL06(6243)1200(代)・FAX06(6243)1202
http://www.kimukoh.co.jp/

東京営業本部 03(3273)8821(代)
本社営業部 06(6243)1201(代)
名古屋支店 052(211)5048(代)
福岡支店 092(441)4357(代)
仙台支店 022(261)1561(代)
札幌営業所 011(207)3535(代)
新潟営業所 025(244)7771(代)
長野営業所 026(222)6467(代)
金沢営業所 076(233)5230(代)
広島営業所 082(262)5039(代)
八尾事業本部 0729(23)0621(代)
八尾製作所 0729(23)0621(代)
河芸製作所 059(245)6500(代)
企画センター 06(6764)6161(代)

MITSUBISHI
Changes for the Better

RYODEN
技術の差が、信頼の差です。

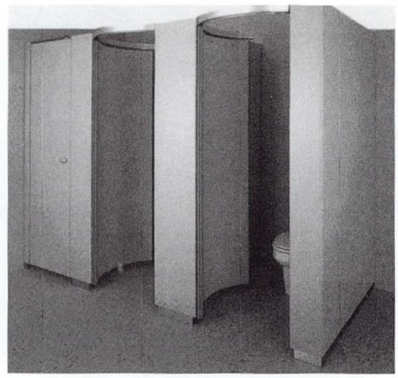
リョーデンリフト 小荷物専用昇降機
三菱エレベーター・エスカレーター
三菱日立ホームエレベーター

三菱電機グループ
菱電エレベータ施設株式会社

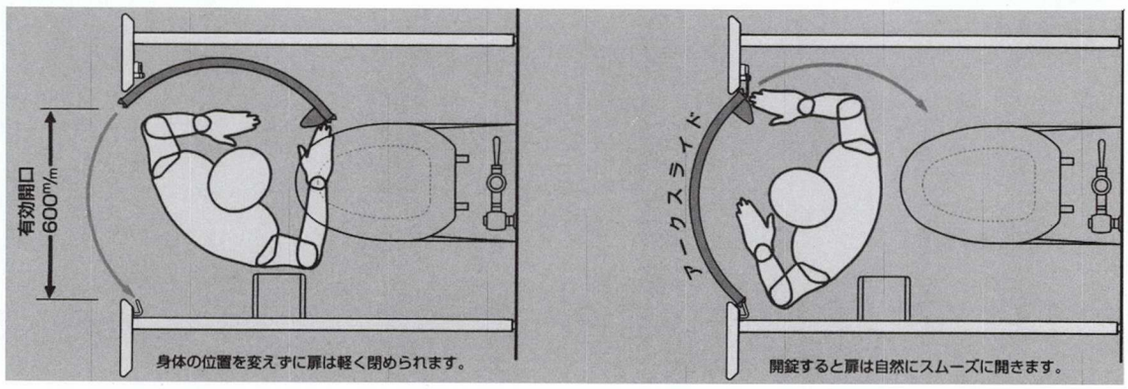
名古屋支店 名古屋市中村区名駅3-16-22（名古屋ダイヤビル3F） TEL 052-571-8191
営業所 岐阜・三重・静岡

画期的な扉の開閉(アークスライド)方式を採用した

トイレブース ウェイブレット



スペースの限られたトイレブースでは、扉の間口寸法が小さい内開き扉が主流ですが、扉の開閉の為に、どうしても使う人の動作が大きくなりますし、外開き扉では、急に扉を開けると通路にいる人と接触する危険があります。そのような問題を解決するために、扉のあるべきカタチと、動きを追及して生まれた（アークスライド）の扉開閉方式。扉は使う人のまわりをとり巻くように動きますので、開け閉めが大変ラクでスムーズに行えます。
操作性と安全性に優れたウェイブレット。やさしく、快適なトイレ空間が構成できます。



よい品は結局おトクです
オカムラ 株式会社 岡村製作所 名古屋支店 〒450-6020 名古屋市中村区名駅1-1-4 JRセントラルタワーズ20階 TEL 052-551-3180

お問い合わせ・ご相談は◎お客様サービスセンターへ
フリーダイヤル☎0120-81-9060 月曜～金曜(祝祭日を除く) 9：00AM～6：00PM

膜構造建築が創る21世紀のコミュニティ空間



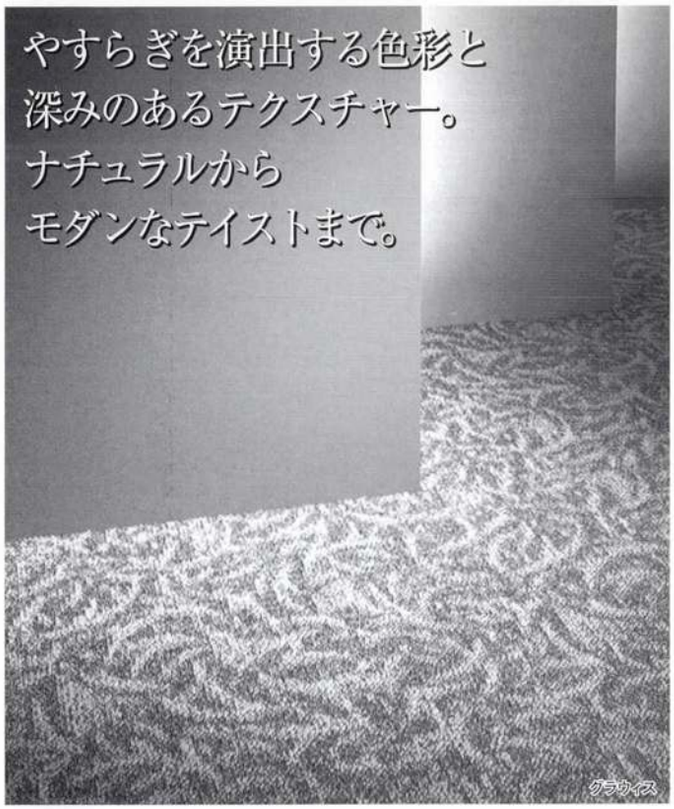
ジャスコ名古屋みなと店と120の専門店〈ベイシティ〉 設計：NTTファシリティーズ 施工：株式会社 大林組

世界各地で 大空間構造に チャレンジする太陽工業

自然な光、自在なデザインが活きる膜構造建築。
商業施設からスポーツドーム、多目的ドームまで、
明るく開放的な全天候に対応する快適な大空間は、
世界各地で地域のランドマークになっています。

太陽工業株式会社 http://www.taiyokogyo.co.jp

名古屋市中村区名駅南2-8-11 〒450-0003 TEL.(052)541-5120
東京都目黒区東山3-22-1 〒153-0043 TEL.(03)3714-3461
大阪市淀川区木川東4-8-4 〒532-0012 TEL.(06)6306-3065
札幌・仙台・新潟・千葉・大宮・横浜・神戸・広島・高松・福岡・沖縄・シカゴ・ニューヨーク・台北・コンスタンツ(ドイツ)



グラフィックタイルカーペット

GXシリーズ

高いデザイン性と、豊富なバリエーション。
オフィスはもちろん、宿泊施設や商業施設にも彩りを添えます。

バリエーションは、グラーバ(GRAVA)、ルシェロ(RUSCELLO)、ブレッザ(BREZZA)、デセルト(DESERTO)、グラウィス(GRAVIS)、モデルノ(MODERNO)の6種類。
その他に空間構成にかかせない無地タイプ12色
のカラーパレットGX200もあります。

防炎 制電 防汚加工 業務4

品名	価格(円/m²)	組成	規格		アイテム
	材料価格 税抜き価格	パイル	パイル長	全厚(mm)	
グラーバ	8,900	BCFナイロン100%（原着ナイロンDupontアントロンルーミナ®）	H5mm/L3mm マルチレベルループパイル	8	10
ルシェロ	8,900	BCFナイロン100%（原着ナイロンDupontアントロンルーミナ®及びスペースダイ糸）	H4.5mm/L3mm テクスチャードループパイル	7.5	10
ブレッザ	9,800	BCFナイロン100%（原着ナイロンDupontアントロンルーミナ®）	H4.5mm/L3.5mm テクスチャードループパイル（チップシェア仕上げ）	8	8
デセルト	9,800	BCFナイロン100%（原着ナイロンDupontアントロンルーミナ®）	H4.5mm/L3mm テクスチャードループパイル	7.5	4
グラウィス	11,500	BCFナイロン100%（原着ナイロンDupontアントロンルーミナ®及びスペースダイ糸）	H5.5mm/M4mm/L3mm テクスチャードループパイル	9	12
モデルノ	11,000	BCFナイロン100%（原着ナイロンDupontアントロンルーミナ®）	H5.5mm/L3mm カット&ループパイル	8.5	4
GX-200	8,500	BCFナイロン100%	6mm カットパイル	9	12

TOLI 東リ株式会社

〔URL〕http://www.toli.co.jp

名古屋第1営業所 TEL.052(733)3471　名古屋第2営業所 TEL.052(733)3472　名古屋開発グループ TEL.052(733)3532　名古屋ショールーム TEL.052(745)1691
静岡営業所 TEL.054(280)5272　浜松営業所 TEL.053(460)7638　金沢営業所 TEL.076(262)3100

家を、街を、地球をきれいにするタイル。
TOTOハイドロテクトタイル。

TOTO HYDROTECT

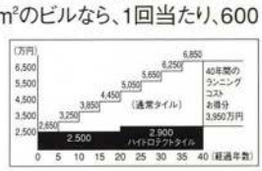


信頼の証拠。東海地区でも続々ご採用いただいています。

◎いつまでも美しく。
セルフクリーニング効果。

◎人と環境にやさしく。
NOX除去、1000m²でポプラ並木70本分の除去能力。

◎時が経つほどお得なタイル。
通常、ビル外壁の洗いは、5年に一度、洗剤での洗浄が必要と言われています。5000m²のビルなら、1回当たり、600万円のコストが発生。ハイドロテクトタイルなら、20年に一度、水洗いをするだけで十分。財布にも環境にもやさしいタイルです。



汚れを防ぎ、汚れを流す。
TOTOハイドロテクトタイル

お問い合わせ、カタログのご請求はお近くのTOTOへ

名古屋支社／〒460-0008 名古屋市中区栄2-3-1　☎(052)232-1010
大阪支社／〒530-0057 大阪市中央区久太郎町3-6-8　☎(06)6253-5600

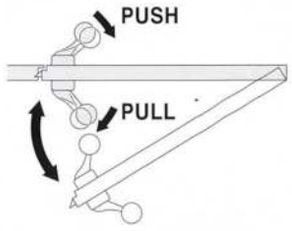
やさしさと美しさが生むカタチ。

プッシュプルハンドル

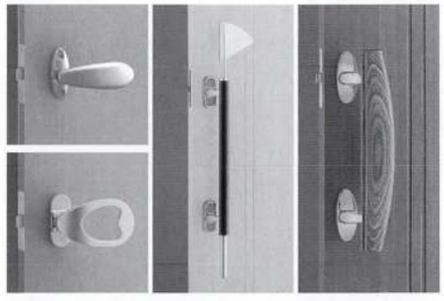




押して引いて、かる〜く開閉



荷物で手が空いていない時や
手に障害のある時、また高齢者の方など、
誰でもいつでもわずかな力でラクラク開閉。



UNION 建設環境金属製品の 株式会社ユニオン UNION CORPORATION

■本社 大阪市西区南堀江2-13-22 〒550-0015

支店・営業所

■大阪支店
大阪市西区南堀江2-13-22
〒550-0015
☎06(6532)3731
📠06(6533)2293

■東京支店
東京都江東区白河2-9-5
〒135-0021
☎03(3630)2811
📠03(3630)2816

■名古屋営業所
名古屋市中川区舟戸町3-20
〒454-0805
☎052(363)5221
📠052(363)5255

ショールーム

■アトリエユニオン/東京
東京都港区虎ノ門2-3-22
〒105-0001
☎03(3506)1717
📠03(3506)1718

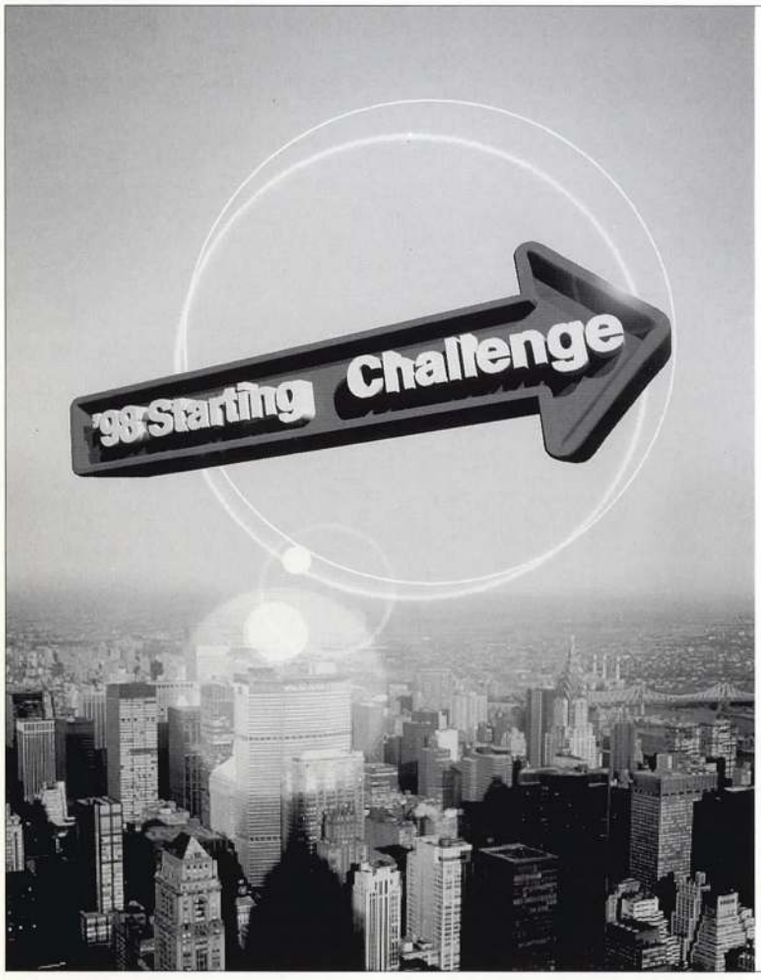
■アトリエユニオン/大阪
大阪市西区南堀江2-13-22
〒550-0015
☎06(6532)8920
📠06(6533)0224

■アトリエユニオン/名古屋
名古屋市中川区舟戸町3-20
〒454-0805
☎052(363)5221
📠052(363)5255

NEW カタログ
ご請求ください。
急送いたします。

ITEMS
●建築用ドアハンドル ●ドアストッパーエッセ ●クロセット+ユニフリード ●消火器収納ケースーアルジャン ●都市景観ピューランドスケープ ●レバーハンドル ●ケアシステムーハンドバー ●フロアシステム ●サインシステムーピクト ●キャスタル+メタルアート

http://www.artunion.co.jp/ ・・・ Web上でも全商品をご覧頂けます。CADデータもダウンロードできます。



時代が求める建材を。

2002年 エービーシー商会は、厳重な品質管理、高齢化社会への配慮、
ニーズを満たす新商品開発の3つのテーマにチャレンジし、
より大きな安心とご満足をお届けしてまいります。

ABC shokai SHOWROOM

㈱エービーシー商会
本　　社 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-12-14
TEL 03(3507)7132
名古屋営業所 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-3-26昭和ビル4F
TEL 052(251)4411
ショールームへどうぞ 東京 03(3507)7117 大阪 06(6944)4903
※AM10:00〜PM6:00（土曜・日曜・祭日・年末年始・夏休み休館）
ホームページアドレス　http://www.abc-t.co.jp

定価1,200円（●本体1,143円●消費税57円●送料共）正会員の購読料は会費に含めて徴収